

静岡県立美術館

第三者評価委員会評価報告書

平成 23 年 3 月

静岡県立美術館第三者評価委員会

目次

| | |
|--|-----|
| はじめに | 1 |
| I 平成 21 年度「静岡県立美術館自己評価報告書」（一次評価） | 5 |
| 第 1 章 館長の自己評価 | 9 |
| 第 2 章 達成目標等に対する評価 | 11 |
| 第 3 章 評価指標等の状況 | 23 |
| 第 4 章 今後の取組方針 | 39 |
| 追加報告 平成 21 年度取組方針に対する結果について | 45 |
| 参考資料 平成 21 年度静岡県立美術館評価業務 報告書 | 48 |
| II 県庁の支援体制 | 113 |
| (1) 平成 21 年度実績 | 118 |
| (2) 平成 22 年度方針 | 121 |
| III 平成 22 年度「静岡県立美術館第三者評価委員会」の報告 | 123 |
| 1 平成 21 年度「静岡県立美術館自己評価結果表」に対する二次評価 | |
| (1) 館長公約に対する二次評価 | 124 |
| (2) 評価システムに対する評価 | 125 |
| 2 「県庁の支援体制」に対する一次評価 | |
| (1) 学生無料化について | 126 |
| (2) 広報戦略と空港振興・観光政策との連携について | 126 |
| 3 改善に向けた提言 | |
| (1) 今後の展覧会の企画について | 127 |
| (2) 全体広報について | 127 |
| (3) ロダン館の来館者増加策について | 128 |
| (4) 施設整備・利活用について | 128 |

【別冊参考資料】「自己評価システムの見直しについて」

静岡県立美術館と県庁文化政策課では、平成 22 年度に「自己評価システム見直しワーキンググループ」を設置し、自己評価システムの見直し作業を開始した。読者の便宜を図るために、同グループの中間報告案を参考資料として報告書に添付した。なお、最終的な見直し方針は、平成 22 年度自己評価報告書の中に内包した形で平成 23 年 6 月に県立美術館が公表する予定である。

はじめに

本委員会は、評価を通じて静岡県立美術館の自律的かつ継続的な運営改善を推進することを目的として、平成 18 年 9 月に発足しました。

本委員会の使命は三つあります。第一は、県立美術館が自ら行う自己評価（一次評価）に対して、外部の視点から二次評価することです。第二には、美術館に対する県庁（本庁）の支援体制を委員会が独自の視点に立って評価することです。第三は、美術館の運営及び評価の方法について、次年度の改善に向けた提言をすることです。

本年度の本委員会の活動としては、平成 22 年 7 月と平成 23 年 2 月に会合を開き、平成 21 年度の美術館自己評価に対する二次評価、県庁の支援体制に対する一次評価、今後の改善課題について討議しました。この報告書はその結果に基づき作成したものです。

本報告書では、読者の便宜を考え、まず最初に、美術館が自ら行った自己評価（一次評価）をⅠに掲載し、次に県庁の支援体制に関して、県庁から提出された資料をⅡに掲載しました。そして最後に、Ⅲとして本委員会の報告を掲載するという構成としています。

本報告書が県庁と県立美術館のますますの発展と充実に資することを期待します。

平成 23 年 3 月

静岡県立美術館第三者評価委員会

委員長 木下 直之

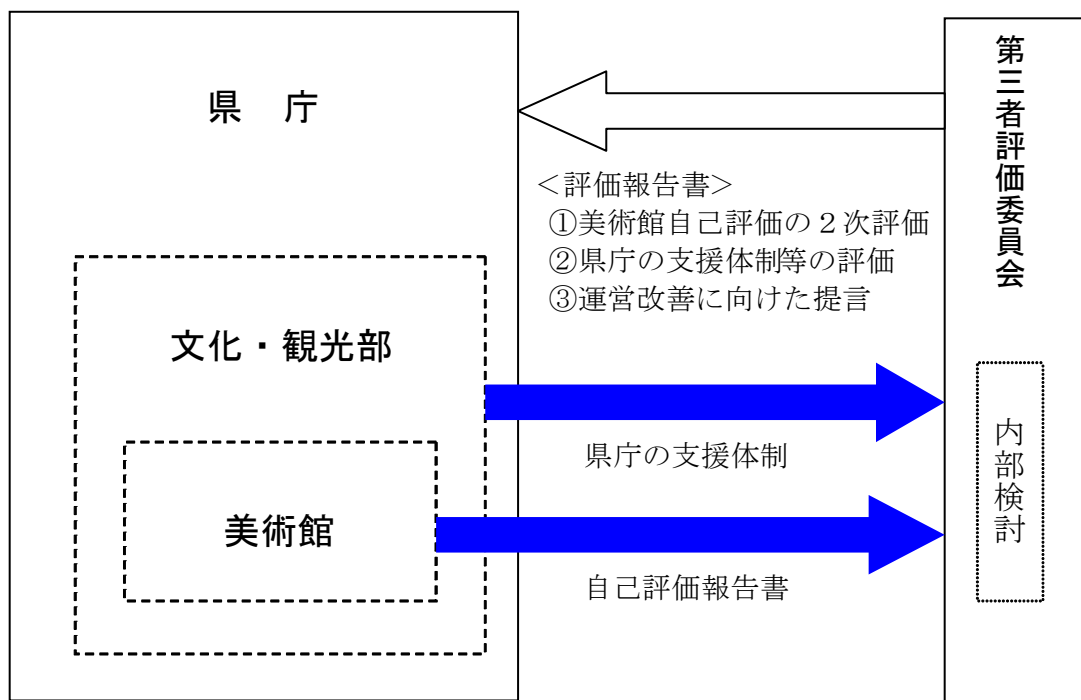
静岡県立美術館第三者評価委員会委員名簿（敬称略、五十音順）

| | 氏 名 | 役 職 等 |
|-----|--------------------|----------------------|
| 委員長 | きのした なおゆき 木下 直之 | 東京大学大学院教授 |
| 委員 | すぎもと ゆきこ 杉本 幸子 | 株式会社静岡リビング新聞社総合企画室部長 |
| 〃 | なてはた あきら 建畠 哲 | 京都市立芸術大学学長 |
| 〃 | たにがわ まみ 谷川 真美 | 静岡文化芸術大学教授 |
| 〃 | にし まさひろ 西 雅寛 | 協立電機株式会社取締役社長 |
| 〃 | むらい よしこ 村井 良子 | 有限会社プランニング・ラボ代表 |
| 〃 | やまなし としお 山梨 俊夫 | 神奈川県立近代美術館館長 |

平成 22 年度の活動

| 会議名等 | 内容等 |
|---------------|---|
| 第 1 回第三者評価委員会 | 日時：平成 22 年 7 月 28 日（水）13:15～15:45 会場：静岡県立美術館 講座室 内容：（1）平成 21 年度美術館自己評価結果について （2）県庁の支援体制について （3）平成 22 年度の方針等について |
| 第 2 回第三者評価委員会 | 日時：平成 23 年 2 月 10 日（水）13:26～15:39 会場：静岡県立美術館 講座室 内容：（1）第三者評価委員会報告書原案について （2）自己評価システム見直し案（中間報告） について |

評価システム全体図（第三者評価委員会の位置付け）



静岡県立美術館第三者評価委員会設置要綱

(設置)

第1条 静岡県立美術館（以下「美術館」という。）では、より良いサービスの提供を図るため、事業の運営等の効果について、多面的かつ客観的な測定・評価を行う自己評価活動を実施しているが、美術館の自律的かつ継続的な運営改善を推進するため、美術館の自己評価及び県庁の支援体制等を第三者の視点から評価する「静岡県立美術館第三者評価委員会」（以下「委員会」という。）を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、次に掲げる事項を所管する。

- (1) 美術館の自己評価に対する2次評価
- (2) 県庁の支援体制等に関する評価
- (3) 評価結果の報告及びそれに基づく美術館の運営改善に向けた提言
- (4) その他、この委員会の目的達成に関すること

(委員)

第3条 委員は、知事が委嘱する。

- 2 委員の人数は、10名以内とする。
- 3 委員の任期は2年とする。ただし、再任は妨げない。

(委員長)

第4条 委員会に、委員長1人を置く。

- 2 委員長は、知事が指名する。
- 3 委員長は、会務を総理し、会議の議長となる。

(会議)

第5条 委員会は、委員長が招集する。

- 2 委員会は公開とし、その傍聴に関して必要な事項は、別に定める。
- 3 委員会は、必要に応じて個別課題検討のための分科会を置くことができる。
- 4 委員会及び分科会には、委員以外の者に出席を求めることができる。

(事務局)

第6条 委員会の事務を処理するため、事務局を静岡県県民部文化政策室内に置く。

(その他)

第7条 この要綱に定めるもののほか、委員会の運営に必要な事項は、委員長が別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成18年9月21日から施行する。
- 2 この要綱の施行の日に委嘱する委員の任期は、第3条第3項の規定にかかわらず、平成20年3月31日までとする。

I

平成 21 年度

「静岡県立美術館自己評価報告書」（一次評価）

第 1 章 館長の自己評価

第 2 章 達成目標等に対する評価

第 3 章 評価指標等の状況

第 4 章 今後の取組方針

はじめに

静岡県立美術館では、美術館をとりまく環境が大きく変化する中で、時代の要請に適った公立美術館の実現を目指し、客観的な評価システムの構築とそれに基づく自律的な運営改善に取り組んできた。

平成13年度に職員によるワーキンググループを設置して評価指標に関する検討を開始し、平成15年7月には評価システムの構築に向けて、「静岡県立美術館評価委員会」（高階秀爾委員長）を設置し、本格的な検討を行った。

「静岡県立美術館評価委員会」による平成16年3月の中間報告書「ニューパブリックミュージアム（NPM）の実現をめざして」、平成17年4月の最終提言書「評価と経営の確立に向けて」の2つの提言を踏まえて、県立美術館では、戦略計画方式による自己評価システム（通称：ミュージアム・ナビ）を構築し、平成17年7月から運用を開始した。

また、平成18年9月には、美術館の自己評価に対する2次評価を行う「静岡県立美術館第三者評価委員会」を設置し、評価結果を運営改善につなげる評価の体制を整えた。これまでの自己評価報告書をはじめ、評価に関する資料はすべてホームページ等を通じて情報公開を行っている。

さらに、平成20年度には、3年間の取組を踏まえ、より適切な評価事業を進めるため、自己評価システムの見直しに取り組み、第三者評価委員会の意見も踏まえながら、平成20年度から平成22年度を計画期間とする新たな自己評価システムと、その目標等の設定を行った。

今年度は、これまでの成果を踏まえ、平成21年度取組に関する自己評価結果及び平成22年度以降の取組について報告書にとりまとめた。

報告書は、まず第1章において、館長による全体的な自己評価結果を示した上で、第2章で、4つの館長公約それぞれについて、評価指標による達成目標等の実績に基づいて自己評価を行った結果を記載している。第3章では、自己評価の基礎となった評価指標等の状況を整理し、第4章では、これらの自己評価結果を踏まえた平成22年度以降の取組方針を記載している。

皆様には、静岡県立美術館のより一層の業務改善と適切な評価システムの構築に向けた御意見・御提案をいただければ幸いです。

静岡県立美術館 自己評価システムの全体像

(平成 20 年度～平成 22 年度)

【使 命】 =美術館をめざす姿

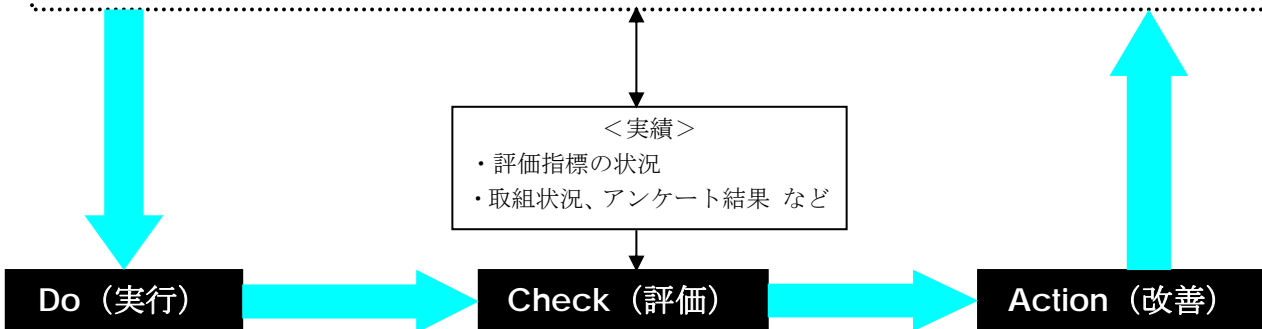
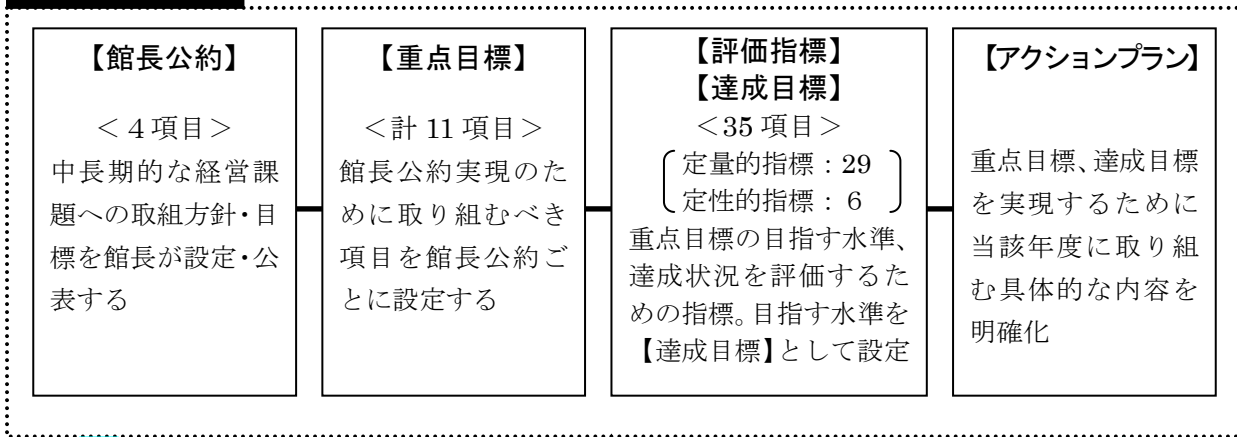
静岡県立美術館は、創造的で多様性に富んだ社会を実現していくために存在します。そのために、コレクションを基盤として人々が美術と出会い新たな価値を見出す体験の場をより多く提供するとともに、地域をパートナーと考える経営を行い、日本の新しい公立美術館となります



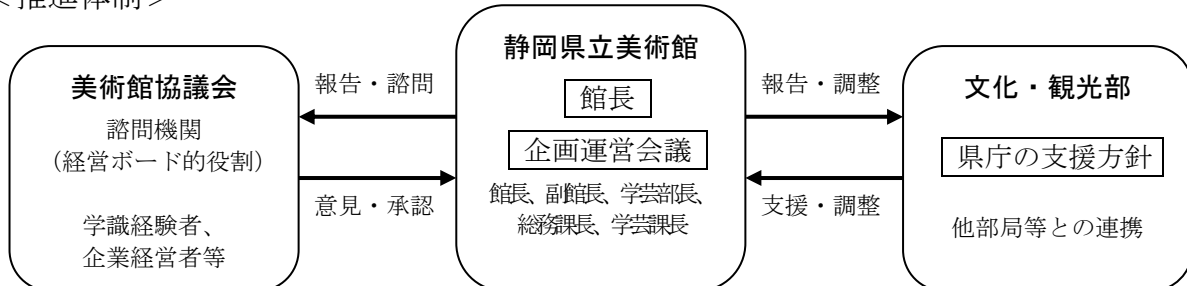
< 自己評価の流れ >

目標管理システム = P 計画 → D 実行 → C 評価 → A 改善のサイクルによる運用

Plan (計画)



< 推進体制 >



自己評価システムの体系

(平成 20 年度～平成 22 年度)

使 命

静岡県立美術館は、創造的で多様性に富んだ社会を実現していくために存在します。そのためにコレクションを基盤として人々が美術と出会い新たな価値を見出す体験の場をより多く提供するとともに、地域をパートナーと考える経営を行い、日本の新しい公立美術館となります。

| 館長公約 | 重点目標 | 評価指標 |
|--|------------------------------------|---|
| A 人々の感性を磨き、生活に変化をもたらすような魅力的な展覧会を開催します | 1 新たな視点や工夫に基づく企画展を積極的に開催します | 1 展覧会の観覧者数 |
| | 2 他の美術館・大学との連携を進め、企画力を強化します | 2 自主企画・企画参加型展覧会の回数(レベル別) |
| | 3 特徴あるコレクションを形成し、効果的に活用します | 3 作品やテーマに興味を持った人の割合 |
| B 地域や学校教育との連携を深め、質の高い教育・普及活動を展開します | 1 質の高い教育・普及プログラムを開発します | 4 展覧会における新規来館者数の割合 |
| | 2 講座・講演会等を充実します | 5 展覧会に対する外部評価(レビュー) 【定性】 |
| | 3 地域住民、企業、NPO等と連携した美術館活動を充実します | 6 調査研究の発表件数(種類別) |
| C 戦略的な広報を展開し、情報発信に努めます | 1 広報戦略を策定し、広報の質を高めます | 7 内部セミナー・研究会・研修の回数 |
| | 2 観光などとの連携や新たな広報チャンネルの開拓に取り組みます | 8 大学等と連携した取組件数 |
| | 3 ロダン館の認知度を高め、来館者を増やします | 9 インターンシップ受入人数 |
| D 施設の改修を推進し、美術館のアメニティを高めていきます | 1 館内施設を充実し、満足度を高めます | 10 調査研究に関する外部評価(レビュー) 【定性】 |
| | 2 周辺環境やアクセス環境の向上を進めます | 11 収蔵品展の観覧者数 |
| | | 12 収蔵品の公開件数(貸出し含む) |
| | | 13 作品購入件数・購入価格 |
| | | 14 作品寄贈件数・評価価格 |
| | | 15 公開または貸出した展覧会における作品の位置付け等に関する学芸員レポート 【定性】 |
| | | 16 学校教育と連携した取組数 |
| | | 17 鑑賞系プログラム数 |
| | | 18 コレクションを活用したプログラム数 |
| | | 19 教育・普及プログラムに関する美術館職員のレポート 【定性】 |
| | | 20 講演会等の開催回数 |
| | | 21 学芸員のフロアレクチャー等の数 |
| | | 22 地域住民等と連携した取組件数 |
| | | 23 館内空間を生かした催事の件数・参加者数 |
| | | 24 地域住民等と連携した取組に関する美術館職員のレポート 【定性】 |
| | | 25 美術館に関する情報が「入手しやすい」とする人の割合 |
| | | 26 ホームページのアクセス数 |
| | | 27 ホームページの満足度 |
| | | 28 取材の件数 |
| | | 29 広報手法における新たな取組状況に関する美術館職員のレポート 【定性】 |
| | | 30 ロダン館の入館者数 |
| | | 31 美術館利用者数(計) |
| | | 32 鑑賞環境に対する満足度 |
| | | 33 レストラン・カフェ利用者の満足度 |
| | | 34 ミュージアムショップ利用者の満足度 |
| | | 35 来館者のアクセス満足度 |

第1章 館長の自己評価

第1章では、館長が平成21年度の静岡県立美術館の運営全体について自己評価を行った。まず、平成21年度の館を取り巻く状況とそれに対する館の取組状況を全体として総括し、次に、平成21年度に重点的に取り組むこととした4つの館長公約に関して、総括的な自己評価を行った。

1 平成21年度事業評価結果（総括要旨）

本年度は、6月4日に富士山静岡空港が開港し、本県では就航先等を中心とした観光客誘致のための様々な取組を行った。県立美術館においても、県文化政策室等との連携により、当館の観光ルート化を図るべく、ロダン館を中心としたPR活動を行い、観光ルート化モデル事業「夕暮れロダンツアー」を実施した。またリニューアルのための長期休館を行い、展示室及び県民ギャラリー等の改修工事を実施した。

こうした状況の中で、平成21年度は、以下に示す通り、4つの館長公約を掲げ、重点的に事業に取り組んだところである。

全体的な成果として、美術館利用者数が、目標の250,200人には及ばなかったが、221,185人に達したことが挙げられる。内訳を見ると、展覧会の来館者数(企画展等)が、目標の145,000人には及ばず、119,416人とどまったが、一方で収蔵品展は、目標の15,000人を超え18,042人に達し、コレクションの鑑賞機会が増える結果となった。

個別に見ると、館長公約A【人々の感性を磨き、生活に変化をもたらすような魅力的な展覧会を開催します】については、コレクションに関する学芸員の調査・研究の成果を示すことができた。具体的には、静岡ゆかりの現代作家の全貌を紹介する企画展「静岡の美術IX 柳澤紀子展」や開館以来収集に努めてきた狩野派コレクションに新出作品を加えて一堂に展示する「狩野派の世界2009」展を開催したことで、本県に優れた芸術的土壌が存在することを改めて示すことができた。

つぎに館長公約B【地域や学校教育との連携を深め、質の高い教育・普及活動を展開します】については、コレクションを活用した鑑賞プログラムを学校等と連携して実施したことで、子供たちの美術作品に対する理解を深めることができた。

館長公約C【戦略的な広報を展開し、情報発信に努めます】については、既存メディアによる広報は、過去3年間、ある一定の成果を上げてきているものの数値は安定しており、新たな広報メディアの開拓とメディアの特性に応じた広報戦略の策定が必要である。

最後に館長公約D【施設の改修を推進し、美術館のアメニティを高めていきます】については、リニューアルのための長期休館中に、県民ギャラリーの床面をフローリングに替える工事などを行い、アメニティ向上を図るとともに、レストランの業者を公募しメニューを刷新することで、サービスの改善を図ったところである。

2 館長公約に対する評価

(1) 館長公約A

【人々の感性を磨き、生活に変化をもたらすような魅力的な展覧会を開催します】

- ・ 静岡ゆかりの作家・作品の調査・研究に基づいた「静岡の美術IX 柳澤紀子展」及び「狩野派の世界 2009」を開催し、前者においてはロダン館でのコラボレーションを行い、後者では新出作品を加えて狩野派の世界に広がりを持たせるなど、学芸員による調査・研究の成果を示すことができた。
- ・ 収蔵品展の観覧者数は、目標の 15,000 人を超え、18,042 人に達した。またリニューアル工事の休館期間を利用して県内での移動美術展を実施し、コレクションの鑑賞機会をより多く提供できたことは大きな成果である。【新規】

(2) 館長公約B

【地域や学校教育との連携を深め、質の高い教育・普及活動を展開します】

- ・ コレクション（レプリカを含む）を活用したプログラムが、学校における対話型鑑賞、美術館教室、体験型事業にも広がったことで、生徒たちの作品への理解が深まるなど、教育・普及事業に更なる充実が見られた。【新規】
- ・ リニューアル工事の休館期間を利用して、学芸員が学校への出張授業を実施する回数を増やすなど、学校連携に重点的に取組んだ。
- ・ 谷田地区 4 機関の連携に、SPAC 及びグランシップも参画し、名称を「ムセイオン静岡」に改称するなど、地域連携を大きく進展させることができた。【新規】

(3) 館長公約C

【戦略的な広報を展開し、情報発信に努めます】

- ・ 新聞・テレビ及びホームページ等の既存メディアによる広報は、一定の効果を上げたものの、平成 18 年度から 20 年度の 3 年間は、数値に大きな変化は見られず安定しており、今後は新たな広報メディアの開拓とメディアの特性に応じた広報戦略を検討する必要がある。
- ・ 県文化政策室等と連携し、ロダン館観光ルート化に向けたモデル事業「夕暮れロダンツアー」を実施し、ロダン館のPRに取組んだ。【新規】

(4) 館長公約D

【施設の改修を推進し、美術館のアメニティを高めていきます】

- ・ 県民ギャラリーの床面をフローリングに替え、また本館展示室及び県民ギャラリーの壁面をガラスクロスに替えることで、利用者のアメニティ向上を図った。【新規】
- ・ レストラン及びカフェの委託業者を公募し、メニューを刷新することで、サービスの改善を図った。【新規】
- ・ 美術館周辺の道路を舗装改修し、また新たな道路標識を設置するなど、アクセスの向上に努めた。【新規】

※【新規】は、今年度からの新たな取組。

第2章 達成目標等に対する評価

第2章では、平成21年度当初に掲げた4つの館長公約それぞれについて、評価指標の実績に基づいて自己評価を行った結果を記載した。

自己評価システムでは、4つの館長公約を実現するために取り組むべき項目を具体化した「重点目標」を設定した上で、重点目標それぞれについて、達成状況を評価するための評価指標（＝「達成目標」）を設定している。

したがって、以下では、重点目標を単位に、達成目標の実績、定性的評価指標の状況を記載した上で、その重点目標の達成状況全体に対する自己評価を記載した。

1 館長公約Aの達成状況

【館長公約A】

人々の感性を磨き、生活に変化をもたらすような魅力的な展覧会を開催します

(1) 新たな視点や工夫に基づく自主企画展を積極的に開催します

(達成目標の実績)

| 評価指標 | | H18 | H19 | H20 | H21 目標 | H21 実績 |
|------|----------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 1 | 展覧会の来館者数(人) | 222,608 | 184,535 | 190,669 | 145,000 | 119,416 |
| 2 | 自主企画・企画参加型展覧会の回数(回) | 4 | 3 | 4 | 2 | 2 |
| 3 | 作品やテーマに興味を持った人の割合(%) | 86.8 | 87.5 | 86.0 | 88.0 | 80.9 |
| 4 | 展覧会における新規来館者の割合(%) | 22.7 | 19.7 | 17.3 | 20.0 | 21.4 |

(定性的指標の状況)

| 評価指標 5 | 展覧会に対する外部評価(レビュー) |
|--------|--|
| 主な状況 | <p>【柳澤紀子展】 <自主企画展> これまで展覧会を重ねてきた「静岡の美術」IXとして作家の選択も時宜を得たものであり、こうした展覧会を県立美術館として企画していただけることを望んでいる。 版画というものが広いロダン館の展示室で耐えることができるのか、いささか心配したが、杞憂に過ぎなかったようである。 (金原委員)</p> <p>郷土出身で独自の活躍をしているアーティストとしての紹介としては意義を有していると思うが、作家自身の力量に関しては、残念ながら、それに値する作家であるかどうかについて、疑念がある。 (潮江委員)</p> |
| | <p>【特集 狩野派の世界 2009 展】 <自主企画展> 作品を通観して、足利幕府の絵所を占めた狩野派が、信長、秀吉以降はその嫡流が絵所的な任をまっとうし、お抱え絵師として伝統的なものを担いつづけたとの感を深くした。こうしたベースがあって江戸の絵画が大きく花咲くものとなったのである。宋元的要素をいかに払拭するか、和画化するかを作品によって啓蒙的に、かつ学術的に展示して、評価できる。 (金原委員)</p> |

| | |
|--|--|
| | <p>展覧会全体についての総括的な視点がややあいまいなような気がするのだが。展示された作品の充実度については評価したい。また館蔵品の活用についても文句なしと思う。 (榊原委員)</p> |
|--|--|

(その他参考指標)

・展覧会の開催状況

(単位：人)

| 展 覧 会 名 | | 期 間 | 観覧者見込み | 観覧者実績 |
|-------------------------|------------------|--------------------|---------|---------|
| 企 画 展 | よみがえる黄金文明展 | 4/11～ 5/15 (31 日間) | 50,000 | 35,740 |
| | ◎静岡の美術IX 柳澤紀子展 | 5/26～ 7/5 (36 日間) | 8,000 | 6,079 |
| | パウル・クレー 東洋への夢展 | 7/14～ 8/30 (42 日間) | 30,000 | 19,878 |
| | ◎特集狩野派の世界 2009 展 | 9/10～10/18 (35 日間) | 15,000 | 12,809 |
| 第24回国民文化祭 美術展(洋画・彫刻・造形) | | 10/24～11/8 (14 日間) | 12,000 | 9,244 |
| 収蔵品展 | | 年 間 | 15,000 | 18,042 |
| 静岡県立美術館・浜松市美術館合同企画展 | | 4/18～5/17 (27 日間) | 6,000 | 8,460 |
| 静岡県立美術館所蔵名品展<佐野美術館> | | 1/5～2/14 (36 日間) | 5,500 | 4,624 |
| 静岡県立美術館所蔵名品展<掛川市二の丸美術館> | | 2/20～3/28 (32 日間) | 3,500 | 4,540 |
| 合 計 | | | 145,000 | 119,416 |

◎は自主企画展

・自主企画展等の個別分析

(単位：%)

| 区 分 | | よみがえる黄金文明展 | 柳澤紀子展 | パウル・クレー展 | 狩野派の世界展 |
|-------------------|-----|------------|-------|----------|---------|
| 観覧者の性別 | 男 性 | 42.3 | 38.1 | 34.8 | 48.1 |
| | 女 性 | 57.7 | 61.9 | 65.2 | 51.9 |
| 観覧者満足度 | | 79.7 | 63.3 | 50.6 | 66.7 |
| リピート観覧者 | | 88.9 | 76.9 | 79.3 | 69.4 |
| 新規観覧者 | | 11.1 | 23.1 | 20.7 | 30.6 |
| 新規観覧者満足度 | | 82.2 | 75.8 | 59.4 | 67.3 |
| 作品やテーマに興味を持った人の割合 | | 70.6 | 35.9 | 28.9 | 45.7 |
| 地域別観覧者数 | 中 部 | 61.4 | 54.1 | 53.4 | 48.9 |
| | 西 部 | 13.1 | 15.2 | 16.6 | 15.7 |
| | 東 部 | 20.2 | 16.3 | 16.6 | 14.0 |
| | 県 外 | 5.3 | 14.5 | 13.4 | 21.3 |

<分析と評価>

- ・平成21年度は、11月以降改修工事で休館のため、開館日数は通常より大幅に減少した。その中で、展覧会総観覧者数は、119,416人で、目標の145,000人を下回る結果となった。
- ・自主企画展は「静岡の美術IX 柳澤紀子展」、「狩野派の世界2009」の2事業であったが、ともに内容面では成果をあげた。「柳澤紀子展」は、静岡ゆかりの作家を取り上げた当館独自の企画展で、現代作家の全貌を紹介した全国初の本格的展覧会でもある。ロダン館での展示を試み、ロダン作品とのコラボレーションを行うなど当館ならではの工夫も行った。「狩野派の世界

2009」は、当館所蔵作品を中心に、関連作品を借用展示した展覧会で、狩野派における当館コレクションの位置付けや意義を見出すことができた。また新規来館者・県外来館者の割合が高く、当館コレクションの魅力を新たにアピールできた。

- ・浜松市美術館、佐野美術館、掛川市二の丸美術館とそれぞれ連携した移動美術展では、当館のコレクションと相互の企画力を活かし、テーマを設けた展覧会を実施することができた。
- ・作品やテーマに興味を持った人の割合（80.9%）は目標（88.0%）を下回ったが、高水準を維持した。新規来館者の割合（21.4%）は、目標値（20.0%）を上回り、近年でも高い数値を示した。特に自主企画展で数値が高く、「柳澤紀子展」23.1%、「狩野派の世界展」30.6%と、独自テーマが未来館者の興味を喚起したと考えられる。一方、巡回展（「よみがえる黄金文明展」及び「パウル・クレー展」）では、リピート率が高く、美術館の固定ファンにアピールはできたが、新たな来館者層の開拓には至らなかった。

(2) 他の美術館・大学との連携を進め、企画力を強化します

(達成目標の実績)

| 評価指標 | | H18 | H19 | H20 | H21 目標 | H21 実績 |
|------|---------------------|-----|-----|-----|--------|--------|
| 6 | 調査研究の発表件数（種類別）（回） | 172 | ※10 | 14 | 10 | 11 |
| 7 | 内部セミナー・研究会・研修の回数（回） | 11 | 12 | 12 | 14 | 14 |
| 8 | 大学等と連携した取組件数（件） | 3 | 3 | 5 | 5 | 4 |
| 9 | インターンシップの受入人数（人） | - | - | 4 | 4 | 2 |

(定性的指標の状況)

| 評価指標 10 | 調査研究に関する外部評価（レビュー） |
|---------|---|
| 主な状況 | <p>①研究紀要 飯田真「武蔵野図屏風」</p> <p>《武蔵野図屏風》は、名所絵の一つの発展形態であり、日本美術に流れている装飾性を十分に発揮している作品である。実際にはその色彩の素晴らしさが退色によって失われているところも否めないが、その初期の作品として、作者、制作年代をもっと絞り込む必要がある。そうした研究、調査というものの先鞭をつけたところが良い。</p> <p style="text-align: right;">(金原委員)</p> <p>美術館の所蔵品を、その館の学芸員が論文によってきっちりと位置づける試みは不可欠の仕事であり、今回の武蔵野図屏風についての論考はその点で評価されるべきだろう。</p> <p style="text-align: right;">(榊原委員)</p> |
| | <p>②研究紀要 村上敬「商工省工芸指導所研究序説」</p> <p>日本美術においては、近年西欧美術の概念による仕切りへの反省ないし批判が現れている。その一側面としては「かざり」とか「調度」といった生活に密着した道具や器物としての「もの」の役割を考えなおすことが行われている。「工芸」とはまさにそういう問題の中心でもある。村上氏は近代における「工芸」の一拠点である工芸指導所を調査・研究の対象として選んだことに、その着眼点に評価に値するものがあると思った。その研究の出発点としての概念の整理など、まずは適切な論文だと思う。</p> <p style="text-align: right;">(坂本委員)</p> |
| | <p>本稿は、商工省工芸指導所を主題とする一巻の本の序となるべき位置にあるもので、今後の調査研究が期待される。ただし、今後の展開として、同指導所に関わった人々に関する調査研究を行う、としながらも、タウト、剣持勇の名を上げながら、誰を最初とするかが絞られていない点がやや気になる。</p> |

| | |
|--|---|
| | <p>研究の出発点に「<彫刻>と<工芸>」展があったのを踏まえるならば、今後、この調査研究と展覧会企画が関連を持っていくよう期待する。それは、美術館学芸員こそができることなのではないだろうか。</p> <p style="text-align: right;">(山梨委員)</p> <p>③研究紀要 川谷承子「画廊とコレクター」</p> <p>北川民次の大作が静岡県美にもたらされたのも、実川氏の力が大きかったと聞いている。そのように現代美術の収集にあって大きな活動をした人物の最初のドキュメントとなるものである。</p> <p>作品論や作家論とは異なる視野が開けてくるところが良いので、この記録の厚みを加えて一本にまとめられることを望む。</p> <p style="text-align: right;">(金原委員)</p> <p>今の若い世代の問題意識で、新たな着眼点で着手したばかりの研究であり、今後の成果に期待したい。</p> <p style="text-align: right;">(潮江委員)</p> |
|--|---|

<分析と評価>

- ・学芸員による月例研究会の他、他館学芸員を客員講師として招いた研究会を2回実施した。コレクション及び寄託品に関連した充実した内容であり、今後の作品収集や展覧会開催に向けての連携の基礎固めとしても有益であった。
- ・インターンは寄託品の整理・調査において実績を残したが、受入人数が2名に留まったことには課題を残した。活動期間や条件等で互いに有益な実施方法を再検討する必要がある。

(3) 特徴あるコレクションを形成し、効果的に活用します

(達成目標の実績)

| 評価指標 | | H18 | H19 | H20 | H21目標 | H21実績 |
|------|--------------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------------------|
| 11 | 収蔵品展の観覧者数(人) | 13,265 | 18,196 | 17,850 | 15,000 | 18,042 |
| 12 | 収蔵品の公開件数(貸出し含む)(件) | 557 | 465 | 446 | 400 | 496 |
| 13 | 作品購入件数・購入価格(件・千円) | 4 6,388 | 2 29,896 | 3 12,757 | 3 20,000 | 3 133,350 (113,400) |
| 14 | 作品寄贈件数・評価価格(件・千円) | 10 46,200 | 23 26,435 | 47 69,625 | 10 10,000 | 20 22,950 |

13()は、基金対応額

(定性的指標の状況)

| | |
|---------|---|
| 評価指標 15 | 公開または貸し出した展覧会における作品の位置付け等に関する学芸員レポート |
| 主な状況 | <p>(西洋画・ロダン・彫刻)</p> <p>名古屋ポストン美術館および東京国立近代美術館で開催された2つの「ゴーギャン」展に、ゴーギャンの油彩画《家畜番の少女》および彫刻《オヴィリ》を出品した。同展は、それぞれの館がもう一方の館の特別協力者となり実現した別個の展覧会で、出品作品は多少異なり、カタログも別々に出版されているが、当館は両会場に2作品を貸し出した。展覧会の規模はそれほど大きくないが、日本国内で、海外からの出品も含めて初期から晩期までの作品を集めた回顧展の開催は意義があった。そのような展覧会に、初期の代表作の一つとして当館の油彩画を、また中期の彫刻の1点として当館の収蔵品を出品したことは、当館の西洋コレクションの普及に一役買ったと思われる。</p> |

(日本画)

休館期間を利用した移動美術展において、所蔵日本画を活用したテーマ展示を行った。佐野美術館「物語のある絵画～静岡県立美術館&佐野美術館コレクションによる」(1/5～2/14)は、当館所蔵品を主体としながら佐野美術館所蔵の能面等を組み合わせ、文学と深い関連を持つ日本美術のあり様を示した。また、掛川市二の丸美術館「静岡県立美術館コレクション 日本画にみる風景—富士を愛でる 山水から風景画へ—」(2/20～3/28)では収集方針の柱である山水・風景面を取り上げた。当館日本画コレクションによってテーマ立てによる展覧会が成立することを示すものであり、継続的な収集活動に基づくコレクションの充実を端的に表すものといえる。

また、当館日本画コレクションを特徴づける狩野派作品については、栃木県立博物館「狩野派—四〇〇年の栄華—」(10/10～11/23)に所蔵品5点寄託品1点を出品し、重要な位置を占めた。画壇における狩野派の意義や、永徳・探幽らいわゆる巨匠以外の狩野派絵師の再検証・掘り起こしが進む中、当館の一群の狩野派コレクションは今後も重要性を増すものと考えられる。

(日本洋画)

日本洋画作品についても数件の貸出があったが、とりわけ19世紀後半から20世紀初頭にかけての政治的転換期を扱った展覧会への出品要請が目立った。

20世紀初頭の台湾風景を描いた石川欽一郎の一連の水彩画は「近代の東アジアイメージ——日本近代美術はどうアジアを描いてきたか」(豊田市美術館)に出品されたが、「内地」と「外地」(この場合は台湾)を往還して外地での美術教育にも大きな役割を果たした画家の視線のありようを、画家の個人史的視点にとどまらず、東アジア史の中に投影する意義を狙った展覧会でありそれを実現せしめた作品の一つであったといえる。

また、幕末から明治期にかけて徳川家にきわめて近い位置で活動した画家・川村清雄の作品のうち、《巨岩海浜図》《静物写生》の2点は、「大・開港展——徳川将軍家と幕末明治の美術」(横浜美術館)、「山岡鉄舟と明治の群像」(駿府博物館)の2展覧会に出品された。いずれも、明治維新以後、忘れられがちになった近世以来の文化的血脈を表現・人脈の両面において体現する存在であったこの特異な画家の仕事を、かたや日本外交史、かたや地方史の舞台で位置づけようとする意欲的な展覧会であり、川村作品もよくその負託に応えたといえることができる。

昨今、近代史の読みなおしの作業の進展に伴い、美術館の世界においても、視覚文化としての絵画的表象の意義を真摯に考察する意義深い展覧会が増えている。そのような脱名品主義的な近代美術展の流れの中にあっても、当館の近代日本洋画作品が一定の価値を持っていることが評価されたと自負するものである。

(現代美術)

「石田徹也展と静岡県ゆかりの画家」(浜松市美術館 4月18日～5月17日)に、当館所蔵の石田徹也作品21点を貸出。石田徹也の県西部での初めての大型展であり、注目された。代表作《飛べなくなった人》をはじめとする当館所蔵品は、展示構成の中心的な役割を果たした。

<分析と評価>

- ・収蔵品展の観覧者数は、本館が約5ヶ月、ロダン館が約2ヶ月とリニューアル工事のため休館していたが、対目標120%の達成率を示し、昨年度を上回る結果となった。
- ・公開件数についても、目標を上回った。ただし、平成18年度から数値はほぼ横ばいである。このことは、コレクションが充実してきたことを示すものである。
- ・作品購入件数は、基金による作品購入が加わっているため、例年と比べ額が増加している。通常の作品購入枠の予算が年々減少している中で、基金により収集方針に合致する日本画の高額作品3点が購入できたことは、特色あるコレクション形成に大きく寄与したといえる。

- ・例年同様の作品の寄贈があった。作品購入枠の予算が年々減少する中で、引き続き作品の質の確保をしつつ受け入れを進める必要がある。
- ・当館収蔵品の貸し出しについては、他館開催の意義深い展覧会への出展要請を受け、それぞれが展覧会コンセプトに対して重要な位置を占める役割を果たしたと同時に、当館コレクションの普及にも寄与した。

2 館長公約Bの達成状況

【館長公約B】

地域や学校教育との連携を深め、質の高い教育・普及活動を展開します

(1) 質の高い普及プログラムを開発します

(達成目標の実績)

| 評価指標 | | H18 | H19 | H20 | H21 目標 | H21 実績 |
|------|-----------------------|-----|-----|-----|--------|--------|
| 16 | 学校教育と連携した取組数 (件) | - | 290 | 385 | 300 | 305 |
| 17 | 鑑賞系プログラム数 (件) | - | 11 | 15 | 10 | 13 |
| 18 | コレクションを活用したプログラム数 (件) | - | 14 | 16 | 12 | 17 |

16 について 粘土教室、絵具教室、音のかけらWS、ロダン館デッサン実習、ロダン館ななふしぎ、美術館の秘密をさぐれ、(学校対応) ギャラリー・トーク、職場体験、教員研修、出張粘土教室、出張美術講座、粘土貸出し

17 について 特別講演会、美術講座、鑑賞講座、日本画をじかに見る、フロアレクチャー、ギャラリー・トーク、オリエンテーション、ロダン体操、タッチツアー、展覧会関連普及事業 (高校生ギャラリートーク、高校生による展覧会PR映像製作)、音のかけらWS、ロダン館ななふしぎ

18 について 美術講座、鑑賞講座、日本画をじかに見る、フロアレクチャー、ギャラリー・トーク、オリエンテーション、工作アトリエ、創作週間スペシャル、ロダン館デッサン会、ロダン館コンサート、ロダン体操、タッチ・ツアー、出張美術講座、展覧会関連普及事業 (高校生ギャラリートーク)、音のかけらWS、ロダン館デッサン実習、ロダン館ななふしぎ

(定性的指標の状況)

| | |
|---------|--|
| 評価指標 19 | 普及・教育プログラムに関する美術館職員のレポート |
| 主な状況 | <p>学校教育との連携は、レプリカ等を使用し、教諭と打ち合わせをした上での共同授業を展開することによって、充実した内容になってきている。</p> <p>一部の鑑賞系プログラムは、学校教育との新たな連携を試行することができた。また、コレクションを活用したプログラムには、特に力を入れた。</p> |

<分析と評価>

- ・学校教育との連携は、第1回鑑賞教育指導者研修会 (教員向け) の開催と同会で紹介したコレクションのレプリカ等の活用 (出張美術講座やレプリカのレンタル) により、教室内での対話式の鑑賞へとつながるプログラムに発展していく事例が見られたことは、大きな成果である。
- ・鑑賞系のプログラムは、対象年齢を明確にしたプログラムを用意することで、年齢に応じた内容にすることができた。
- ・コレクションを活用したプログラムは、美術館教室や体験系プログラムにも広げており、さらに発展させていく必要がある。

(2) 講座・講演会等を充実します

(達成目標の実績)

| 評価指標 | | H18 | H19 | H20 | H21 目標 | H21 実績 |
|------|--------------------|-----|-----|-----|--------|--------|
| 20 | 講演会等の開催回数 (回) | 214 | 211 | 240 | 180 | 173 |
| 21 | 学芸員のフロアレクチャー等の数(回) | 16 | 17 | 58 | 17 | 86 |

<分析と評価>

- ・開催回数は、目標には及ばなかったが、リニューアル工事の休館期間を考慮に入れると、概ね妥当な数値である。
- ・内容については、企画展、収蔵品展のテーマに合わせ館内で開催されたものと、学校や移動美術展会場に出張して行ったものとに大別することができ、開催形式についても、着席して聴講するものから作品鑑賞に重点を置いた参加型の講座までバリエーションに富んでいる。
- ・とりわけ本年度は、学芸員が各学校に赴き出張授業を行った回数が増えている点の特徴であり、リニューアル工事の休館期間の有効活用と近年の学校連携への重点的取組みの成果が表れている。

(3) 地域住民・企業・NPO等と連携した美術館活動を充実します

(達成目標の実績)

| 評価指標 | | H18 | H19 | H20 | H21 目標 | H21 実績 |
|------|--------------------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|
| 22 | 地域住民等と連携した取組数 (件) | 2 | 2 | 10 | 3 | 6 |
| 23 | 館内空間を生かした催事の件数・参加者数(件・人) | 92 5,914 | 90 5,400 | 101 4,054 | 60 5,500 | 34 6,506 |

(定性的指標の状況)

| 評価指標 24 | 地域住民等と連携した取組に関する美術館職員のレポート |
|---------|--|
| 主な状況 | <p>工事休館期間を利用して積年の課題であるボランティアの組織改革を行い、平成 22 年度に向けて新たに活動者を募集した。活動方針を明確化し組織をシンプルにすることで、ボランティアとのより密な連携のための基盤を整えることができた。</p> <p>谷田地区の文化機関連携は、静岡県立大学、静岡県立中央図書館、静岡県埋蔵文化財調査研究所、静岡県立美術館に加え、静岡県舞台芸術センター(S P A C)及びグランシップ(静岡県コンベンションアーツセンター)も参画して 6 機関となり、名称を「ムセイオン静岡」と改め、多分野の文化施設の連携を進めた。</p> <p>県立中央図書館や県埋蔵文化財調査研究所との県民ギャラリーを利用した共同企画展開催など、幅広い活動を行った。</p> <p>県立美術館ボランティア「草薙ツアーグループ」による美術館周辺散策ツアーや彫刻プロムナード茶畑の茶摘み会、茶会などを実施した。</p> |

<分析と評価>

- ・「ムセイオン静岡」を通じた谷田地区文化機関の連携により、展覧会開催や講演会運営など具体的な成果に結びつき、来館者に県立美術館の活動を広くアピールすることができた。
- ・地域住民を主体とする連携事業により、美術館と地域との距離を縮めることにつながった。

3 館長公約Cの達成状況

【館長公約C】

戦略的な広報を展開し、情報発信に努めます

(1) 広報戦略を策定し、広報の質を高めます

(達成目標の実績)

| 評価指標 | | H18 | H19 | H20 | H21 目標 | H21 実績 |
|------|------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 24 | 美術館に関する情報が「入手しやすい」とする人の割合(%) | 69.7 | 67.9 | 69.8 | 70.0 | 66.5 |
| 25 | ホームページへのアクセス件数(件) | 155,400 | 164,500 | 164,000 | 170,000 | 147,225 |
| 26 | ホームページの満足度(%) | 77.8 | 70.0 | 74.3 | 70.0 | 71.9 |

<分析と評価>

- ・「美術館に関する情報が「入手しやすい」とする人の割合」については、ここ数年微増と微減を繰り返すのみで、大きな変化は見られなくなってきている。また「ホームページへのアクセス件数」も一時期の激増期を終え、やはり安定化の傾向が顕著になった（今年度の減少も工事休館を反映した自然減と思われる）。「ホームページの満足度」についても、70パーセント台を推移しており、量的にも質的にもホームページ広報はおおむね安定期に入ったといえるだろう。あくまでも推測の域を出ないが、パソコンの普及が行き届いたことなどが理由として想定される。
- ・今後は、No. 24 については、例えば「広報課」の設置、No. 25 及び No. 26 については「館のホームページ」にとらわれない新広報メディアの導入などの方策を検討する必要がある。

(2) 観光などとの連携や新たな広報チャンネルの開拓に取り組みます

(達成目標の実績)

| 評価指標 | | H18 | H19 | H20 | H21 目標 | H21 実績 |
|------|----------|-----|-----|-----|--------|--------|
| 28 | 取材の件数(件) | - | - | 40 | 25 | 21 |

(定性的指標の状況)

| | |
|---------|--|
| 評価指標 29 | 広報手法における新たな取組状況に関しての美術館職員のレポート |
| 主な状況 | 文化政策室と連携し、ロダン館の効果的な誘客について会議を開催した。 旅行会社勤務経験者に意見を聴取し、ツアー売り込みの可能性を模索した。 「夕暮れロダンツアー」を実施し、ロダン館のアピールに努めた。 年間スケジュールパンフレットの中扉でロダン館の館内画像を大きく取り扱うことで、全国にロダン館の存在をPRした。 |

<分析と評価>

- ・「夕暮れロダンツアー」では、322名の誘客を実現し、実施したアンケートには「とても素晴らしい企画」との声が多く寄せられるなど、参加者の反応も上々であった。地味になりがちな常設展示にあって、ロダン館の存在感をアップする一定の成果があったと考えられる。

(3) ロダン館の認知度を高め、来館者を増やします

(達成目標の実績)

| 評価指標 | | H18 | H19 | H20 | H21 目標 | H21 実績 |
|------|--------------|---------|--------|--------|--------|--------|
| 30 | ロダン館の入館者数(人) | 105,545 | 74,290 | 81,771 | 80,000 | 45,751 |

<分析と評価>

- ・リニューアル工事のための長期休館があったため、今年度は目標者数を下回った。しかし、ロダン館での教育・普及イベントへの参加者数は昨年度よりも増加している。この要因は、充実したプログラムが来館者への魅力であるとともに、館外への広報・周知が行き渡っているためと思われる。

4 館長公約Dの達成状況

【館長公約D】

施設の改修を推進し、美術館のアメニティを高めていきます

(1) 館内施設を充実し、満足度を高めます

(達成目標の実績)

| 評価指標 | | H18 | H19 | H20 | H21目標 | H21実績 |
|------|----------------------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 31 | 美術館利用者数（内訳）（人） | 423,834 | 373,556 | 389,194 | 250,200 | 221,185 |
| 32 | 鑑賞環境に対する満足度(%) | 84.6 | 87.1 | 87.4 | 90.0 | 84.4 |
| 33 | レストラン・カフェ利用者の満足度(%) | 57.1 | 61.7 | 54.5 | 70.0 | 68.8 |
| 34 | ミュージアムショップ利用者の満足度(%) | 77.1 | 76.9 | 80.6 | 80.0 | 84.4 |

(参考指標の状況)

・利用者数の内訳

(単位：人)

| 区 分 | H21 目標 | H21 実績 |
|-----------------|---------|---------|
| 展覧会観覧者数 | 130,000 | 101,792 |
| 移動美術展 | 15,000 | 17,624 |
| 教育普及プログラム参加者数 | 18,000 | 26,325 |
| ミュージアムコンサート入場者数 | 1,500 | 1,405 |
| 県民ギャラリー入場者数 | 40,000 | 37,253 |
| 講堂入場者数 | 4,700 | 5,155 |
| レストラン利用者数 | 23,000 | 15,679 |
| ミュージアムショップ利用者数 | 13,000 | 12,236 |
| 図書閲覧室利用者数 | 5,000 | 3,716 |
| 合 計 | 250,200 | 221,185 |

<分析と評価>

- ・リニューアル工事のための長期休館があったため、利用者数は例年を下回った。
- ・県民ギャラリーについては、工事休館中に床面をフロアシートからフローリングに替える工事と移動壁の改修工事を行った。利用者の満足度向上につながるものと考えられる。
- ・レストランとカフェについては、工事休館中に委託業者の公募を行い、書類審査と試食審査により業者選定を行った。結果的には従来の委託業者と契約する結果となったが、アンケート調査の結果をふまえてメニューを変更するなど、サービス改善・向上に努めた。また工事休館中に厨房設備の更新、タイルカーペットの更新も行った。

(2) 周辺環境やアクセス環境の向上を図ります

(達成目標の実績)

| 評価指標 | | H18 | H19 | H20 | H21 目標 | H21 実績 |
|------|-----------------|------|------|------|--------|--------|
| 35 | 来館者のアクセス満足度 (%) | 78.9 | 78.1 | 76.4 | 80.0 | 78.0 |
| | | 67.3 | 80.1 | 80.7 | | 75.8 |

※ 実績の上段：公共交通機関で来所した方、下段：自家用車で来所した方

<分析と評価>

- ・「来館者のアクセス満足度」については、目標の80パーセントを僅かに下回る結果となった。
- ・具体的な対応としては、でこぼこになっていた歩道面を改修する工事及びプロムナード入口付近からタクシー乗り場にかけての車道の舗装面を改修する工事を行った。また南幹線から当館へ向かう道路の交差点付近に一ヵ所案内標識を新たに設置した。
- ・利用者からの問合せに対しては、「JR草薙駅からバスを利用するのが便利であること」を周知するべく電話での対応に配慮した。

第3章 評価指標等の状況

第3章では、第2章で記載した自己評価の基礎となった評価指標等の実績データについて整理して記載した。

1 評価指標（定量的指標）

| | 評価指標 | H16実績 | H17実績 | H18実績 | H19実績 | H20実績 | H21目標 | H21実績 |
|---------------------------------------|----------------------|-------|--------------|--------------|--------------|--------------|--------------|---------------------------|
| A 人々の感性を磨き、生活に変化をもたらすような魅力的な展覧会を開催します | | | | | | | | |
| 1 新たな視点や工夫に基づく企画展を積極的に開催します | | | | | | | | |
| 1 | 展覧会の来館者数(人) | | 129,768 | 222,608 | 184,535 | 190,669 | 145,000 | 119,416 |
| 2 | 自主企画・企画参加型展覧会の回数(回) | | 6 | 4 | 3 | 4 | 2 | 2 |
| 3 | 作品やテーマに興味を持った人の割合(%) | | - | 86.8 | 87.5 | 86.0 | 88.0 | 80.9 |
| 4 | 展覧会における新規来館者の割合(%) | | 17.2 | 22.7 | 19.7 | 17.3 | 20.0 | 21.4 |
| 2 大学・他美術館との連携・交流を進め、企画力を強化します | | | | | | | | |
| 6 | 調査研究の発表件数(種別)(回) | | 166 | 172 | ※10 | 14 | 10 | 11 |
| 7 | 内部セミナー・研究会・研修の回数(回) | | 11 | 11 | 12 | 12 | 14 | 14 |
| 8 | 大学等と連携した取組件数(件) | | 4 | 3 | 3 | 5 | 5 | 4 |
| 9 | インターンシップの受入人数(人) | | - | - | - | 4 | 4 | 2 |
| 3 特徴あるコレクションを形成し、効果的に活用します | | | | | | | | |
| 11 | 収蔵品展の観覧者数(人) | | 16,864 | 13,265 | 18,196 | 17,850 | 15,000 | 18,042 |
| 12 | 収蔵品の公開件数(貸出し含む)(件) | | 668 | 557 | 465 | 446 | 400 | 496 |
| 13 | 作品購入件数・購入価格(件・千円) | | 11 40,834 | 4 6,388 | 2 29,896 | 3 12,757 | 3 20,000 | 3 133,350 (113,400) |
| 14 | 作品寄贈件数・評価価格(件・千円) | | 3 5,300 | 10 46,200 | 23 26,435 | 47 69,625 | 10 10,000 | 20 22,950 |
| B 地域や学校教育との連携を深め、質の高い教育・普及活動を展開します | | | | | | | | |
| 1 質の高い教育・普及プログラムを開発します | | | | | | | | |
| 16 | 学校教育と連携した取組数(件) | | - | - | 290 | 385 | 300 | 305 |
| 17 | 鑑賞系プログラム数(件) | | - | - | 11 | 15 | 10 | 13 |
| 18 | コレクションを活用したプログラム数(件) | | - | - | 14 | 16 | 12 | 17 |

※ 平成19年度から対象を変更

※ 13()内は、基金対応額。

| | 評価指標 | H16実績 | H17実績 | H18実績 | H19実績 | H20実績 | H21目標 | H21実績 |
|--|------------------------------|-------|---------------|--------------|--------------|--------------|-------------|--------------|
| 2 講座・講演会等を充実します | | | | | | | | |
| 20 | 講演会等の開催回数（回） | | 283 | 214 | 211 | 240 | 180 | 173 |
| 21 | 学芸員のフロアレクチャー等の数（回） | | 31 | 16 | 17 | 58 | 17 | 86 |
| 3 地域住民、企業、NPO等と連携した美術館活動を充実します | | | | | | | | |
| 22 | 地域住民等と連携した取組数（件） | | 2 | 2 | 2 | 10 | 3 | 6 |
| 23 | 館内空間を生かした催事の件数・参加者数（件・人） | | 61 3,504 | 92 5,914 | 90 5,400 | 101 4,054 | 60 5,500 | 34 6,506 |
| C 戦略的な広報を展開し、情報発信に努めます | | | | | | | | |
| 1 広報戦略を策定し、広報の質を高めます | | | | | | | | |
| 24 | 美術館に関する情報が「入手しやすい」とする人の割合（%） | | 71.5 | 69.7 | 67.9 | 69.8 | 70.0 | 66.5 |
| 25 | ホームページへのアクセス件数（件） | | 103,500 | 155,400 | 164,500 | 164,000 | 170,000 | 147,225 |
| 26 | ホームページの満足度（%） | | 69.6 | 77.8 | 70.0 | 74.3 | 70.0 | 71.9 |
| 2 観光などとの連携や新たな広報チャンネルの開拓に取り組みます | | | | | | | | |
| 28 | 取材の件数（件） | | - | - | - | 40 | 25 | 21 |
| 3 ロダン館の認知度を高め、来館者を増やします。 | | | | | | | | |
| 30 | ロダン館の入館者数（人） | | 62,768 | 105,545 | 74,290 | 81,771 | 80,000 | 45,751 |
| D 施設の改修を推進し、美術館のアメニティを高めていきます | | | | | | | | |
| 1 館内施設を充実し、満足度を高めます | | | | | | | | |
| 31 | 美術館利用者数（内訳）（人） | | 289,763 | 423,834 | 373,556 | 389,194 | 250,200 | 221,185 |
| 32 | 鑑賞環境に対する満足度（%） | | 89.6 | 84.6 | 87.1 | 87.4 | 90.0 | 84.4 |
| 33 | レストラン・カフェ利用者の満足度（%） | | 63.2 | 57.1 | 61.7 | 54.5 | 70.0 | 68.8 |
| 34 | ミュージアムショップ利用者の満足度（%） | | 89.3 | 77.1 | 76.9 | 80.6 | 80.0 | 84.8 |
| 2 周辺環境やアクセス環境の向上を進めます | | | | | | | | |
| 35 | 来館者のアクセス満足度（%） | | ※82.4 76.0 | 78.9 67.3 | 78.1 80.1 | 76.4 80.7 | 80.0 | 78.0 75.8 |

※ 実績の上段：公共交通機関で来所した方、下段：自家用車で来所した方

2 評価指標（定性的指標）

| | |
|-------------------------|---|
| 5 | 展覧会に対する外部評価（レビュー） |
| 柳澤紀子展 <自主企画展> | <p>【柳澤紀子展】 <自主企画展></p> <p>これまで展覧会を重ねてきた「静岡の美術」IXとして作家の選択も時宜を得たものであり、こうした展覧会を県立美術館として企画していただけることを望んでいる。</p> <p>版画というものが広いロダン館の展示室で耐えることができるのか、いささか心配したが、杞憂に過ぎなかったようである。</p> <p style="text-align: right;">（金原委員）</p> <p>郷土出身で独自の活躍をしているアーティストとしての紹介としては意義を有していたと思うが、作家自身の力量に関しては、残念ながら、それに値する作家であるかどうかについて、疑念がある。</p> <p style="text-align: right;">（潮江委員）</p> |
| 狩野派の世界展 <自主企画展> | <p>作品を通観して、足利幕府の絵所を占めた狩野派が、信長、秀吉以降はその嫡流が絵所的な任をまっとうし、お抱え絵師として伝統的なものを担いつづけたとの感を深くした。こうしたベースがあって江戸の絵画が大きく花咲くものとなったのである。宋元的要素をいかに払拭するか、和画化するかを作品によって啓蒙的に、かつ学術的に展示して、評価できる。</p> <p style="text-align: right;">（金原委員）</p> <p>展覧会全体についての総括的な視点がややあいまいなような気がするのだが。展示された作品の充実度については評価したい。また館蔵品の活用についても文句なしと思う。</p> <p style="text-align: right;">（榊原委員）</p> |
| 10 | 調査研究に関する外部評価（レビュー） |
| ①研究紀要 飯田真「武蔵野図屏風」 | <p>《武蔵野図屏風》は、名所絵の一つの発展形態であり、日本美術に流れている装飾性を十分に発揮している作品である。実際にはその色彩の素晴らしさが退色によって失われているところも否めないが、その初期の作品として、作者、制作年代をもっと絞り込む必要がある。そうした研究、調査というものの先鞭をつけたところが良い。</p> <p style="text-align: right;">（金原委員）</p> <p>美術館の所蔵品を、その館の学芸員が論文によってきっちりと位置づける試みは不可欠の仕事であり、今回の武蔵野図屏風についての論考はその点で評価されるべきだろう。</p> <p style="text-align: right;">（榊原委員）</p> |
| ②研究紀要 村上敬「商工省工芸指導所研究序説」 | <p>日本美術においては、近年西欧美術の概念による仕切りへの反省ないし批判が現れている。その一側面としては「かざり」とか「調度」といった生活に密着した道具や器物としての「もの」の役割を考えなおすことが行われている。「工芸」とはまさにそういう問題の中心でもある。村上氏は近代における「工芸」の一拠点である工芸指導所を調査・研究の対象として選んだことに、その着眼点に評価に値するものがあると思った。その研究の出発点としての概念の整理など、まずは適切な論文だと思う。</p> <p style="text-align: right;">（坂本委員）</p> <p>本稿は、商工省工芸指導所を主題とする一巻の本の序となるべき位置にあるもので、今後の調査研究が期待される。ただし、今後の展開として、同指導所に関わった人々に関する調査研究を行う、としながらも、タウト、剣持勇の名を上げながら、誰を最初とするかが絞られていない点がやや気になる。</p> |

研究の出発点に「<彫刻>と<工芸>」展があったのを踏まえるならば、今後、この調査研究と展覧会企画が関連を持っていくよう期待する。それは、美術館学芸員こそができることなのではないだろうか。

(山梨委員)

③研究紀要 川谷承子「画廊とコレクター」

北川民次の大作が静岡県美にもたらされたのも、実川氏の力が大きかったと聞いている。そのように現代美術の収集にあって大きな活動をした人物の最初のドキュメントとなるものである。

作品論や作家論とは異なる視野が開けてくるところが良いので、この記録の厚みを加えて一本にまとめられることを望む。

(金原委員)

今の若い世代の問題意識で、新たな着眼点で着手したばかりの研究であり、今後の成果に期待したい。

(潮江委員)

15 公開または貸し出した展覧会における作品の位置付け等に関する学芸員レポート

(西洋画・ロダン・彫刻)

名古屋ボストン美術館および東京国立近代美術家で開催された2つの「ゴーギャン」展に、ゴーギャンの油彩画《家畜番の少女》および彫刻《オヴィリ》を出品した。同展は、それぞれの館がもう一方の館の特別協力者となり実現した別個の展覧会で、出品作品は多少異なり、カタログも別々に出版されているが、当館は両会場に2作品を貸し出した。展覧会の規模はそれほど大きくないが、日本国内で、海外からの出品も含めて初期から晩期までの作品を集めた回顧展の開催は意義があった。そのような展覧会に、初期の代表作の一つとして当館の油彩画を、また中期の彫刻の1点として当館の収蔵品を出品したことは、当館の西洋コレクションの普及に一役買ったと思われる。

(日本画)

休館期間を利用した移動美術展において、所蔵日本画を活用したテーマ展示を行った。佐野美術館「物語のある絵画～静岡県立美術館&佐野美術館コレクションによる」(1/5～2/14)は、当館所蔵品を主体としながら佐野美術館所蔵の能面等を組み合わせ、文学と深い関連を持つ日本美術のあり様を示した。また、掛川市二の丸美術館「静岡県立美術館コレクション 日本画にみる風景—富士を愛でる 山水から風景画へ—」(2/20～3/28)では収集方針の柱である山水・風景画を取り上げた。当館日本画コレクションによってテーマ立てによる展覧会が成立することを示すものであり、継続的な収集活動に基づくコレクションの充実を端的に表すものといえる。

また、当館日本画コレクションを特徴づける狩野派作品については、栃木県立博物館「狩野派—四〇〇年の栄華—」(10/10～11/23)に所蔵品5点寄託品1点を出品し、重要な位置を占めた。画壇における狩野派の意義や、永徳・探幽らいわゆる巨匠以外の狩野派絵師の再検証・掘り起こしが進む中、当館の一群の狩野派コレクションは今後も重要性を増すものと考えられる。

(日本洋画)

日本洋画作品についても数件の貸出があったが、とりわけ19世紀後半から20世紀初頭にかけての政治的転換期を扱った展覧会への出品要請が目立った。

20世紀初頭の台湾風景を描いた石川欽一郎の一連の水彩画は「近代の東アジアイメージ——日本近代美術はどうアジアを描いてきたか」(豊田市美術館)に出品されたが、「内地」と「外地」(この場合は台湾)を往還して外地での美術教育にも大きな役割を果たした画家の視線のありようを、画家の個人史的視点にとどまらず、東アジア史の中に投影する意義を狙った展覧会でありそれを実現せしめた作品の一つであったといえる。

また、幕末から明治期にかけて徳川家にきわめて近い位置で活動した画家・川村清雄の作品のうち、《巨岩海浜図》《静物写生》の2点は、「大・開港展——徳川将軍家と幕末明治の美術」(横浜美術館)、「山岡鉄舟と明治の群像」(駿府博物館)の2展覧会に出品された。いずれも、明治維新以後、忘れられがちになった近世以来の文化的血脈を表現・人脈の両面において体現する存在であったこの特異な画家の仕事を、かたや日本外交史、かたや地方史の舞台で位置づけようとする意欲的な展覧会であり、川村作品もよくその負託に応えたといえることができる。

昨今、近代史の読みなおしの作業の進展に伴い、美術館の世界においても、視覚文化としての絵画的表象の意義を真摯に考察する意義深い展覧会が増えている。そのような脱名品主義的な近代美術展の流れの中にあっても、当館の近代日本洋画作品が一定の価値を持っていることが評価されたと自負するものである。

(現代美術)

「石田徹也展と静岡県ゆかりの画家」(浜松市美術館 4月18日～5月17日)に、当館所蔵の石田徹也作品21点を貸出。石田徹也の県西部での初めての大型展であり、注目された。代表作《飛べなくなった人》をはじめとする当館所蔵品は、展示構成の中心的な役割を果たした。

19 教育・普及プログラムに関する美術館職員のレポート

学校教育との連携機会が増えたことにより、普及内容が充実した一方で、課題が顕在化してきている(課題:遠距離校との連携、出張ワークショップの要望、レプリカのレンタル方法等)。

鑑賞系プログラムの一部は、実技系プログラムとセットにすることで相互の動機付けにつながり、充実した内容になった。

実技系プログラムでは、コレクションをテーマにしたものを実施することで、プログラムの目的や到達目標が明確化し、質が高まった。

24 地域住民等と連携した取組に関する美術館職員のレポート

工事休館期間を利用して積年の課題であるボランティアの組織改革を行い、平成22年度に向けて新たに活動者を募集した。活動方針を明確化し組織をシンプルにすることで、ボランティアとのより密な連携のための基盤を整えることができた。

谷田地区の文化機関連携は、静岡県立大学、静岡県立中央図書館、静岡県埋蔵文化財調査研究所、静岡県立美術館に加え、静岡県舞台芸術センター(S P A C)及びグランシップ(静岡県コンベンションアーツセンター)も参画して6機関となり、名称を「ムセイオン静岡」と改め、多分野の文化施設の連携を進めた。

県立中央図書館や県埋蔵文化財調査研究所との県民ギャラリーを利用した共同企画展開催など、幅広い活動を行った。

県立美術館ボランティア「草薙ツアーグループ」による美術館周辺散策ツアーや彫刻プロムナード茶畑の茶摘み会、茶会などを実施した。

29 広報手法における新たな取組状況に関する美術館職員のレポート

文化政策室と連携し、ロダン館の効果的な誘客について会議を開催した。

旅行会社勤務経験者に意見を聴取し、ツアー売り込みの可能性を模索した。

「夕暮れロダンツアー」を実施し、ロダン館のアピールに努めた。

年間スケジュールパンフレットの中扉でロダン館の館内画像を大きく取り扱うことで、全国にロダン館の存在をPRした。

3 展覧会に関する自己点検評価表

- 1 よみがえる黄金文明展
ーブルガリアに眠る古代トラキアの秘宝ー
- 2 静岡の美術区 柳澤紀子展
- 3 バウル・クレー 東洋への夢展
- 4 特集 狩野派の世界 2009 展

■静岡県立美術館 自己点検評価表(展覧会)(平成21年度)

| | |
|------|--------------------------------|
| 事業名称 | 「よみがえる黄金文明～ブルガリアに眠る古代トラキアの秘宝」展 |
|------|--------------------------------|

| 企画(事前) | |
|-----------------|---|
| 目的・内容 | <ul style="list-style-type: none"> ・世界最古の黄金文明を築き上げたことで知られるトラキア王国(現ブルガリア)の文化財を、ブルガリアの国立博物館群に収蔵されている高水準の資料群で紹介する。 ・精巧で美的価値の高い金属工芸品を中心に墳墓発掘品を紹介し、親しみながら古代文化への理解を深めていただく。 |
| 期待される成果 | <ul style="list-style-type: none"> ・歴史ファンの多い中高年男性および家族連れのみならず ・美術工芸・宝飾品に関心を持つ中高年女性層のみならず |
| 指標(数値目標) | 観覧者数 50,000人、満足度 70.0% |
| 収支(予算)/観覧者数(見込) | 観覧者数 50,000人、歳出 12,750,000円、歳入 9,787,500円、特財率 77.5% |
| 広報戦略 | <ul style="list-style-type: none"> ・静岡新聞の紙面とSBSの電波を中心とした広報。本展覧会のターゲットはシニア層と家族連れをメインに想定しているため、新聞等の伝統的メディアが有効と考えられる。 ・ブルガリアのバラから抽出した香りを特殊技術で展示室に展開したり化粧品メーカーの調香師の講演会をおこなうなど、女性層を意識した来館のきっかけ作りをおこなう。 |

| | | | |
|--------|------------------------------------|-----|---------------|
| 部署 | 学芸課 | 記入日 | 企画 平成21年4月1日 |
| 担当者名 | 村上・森井 | | 総括 平成21年8月25日 |
| 実施日・場所 | 平成21年4月11日～5月15日 静岡県立美術館第1～6展示室 | | |

| | | | |
|---------------|--------------------|-------------------------------|-------------------|
| 学芸員の企画への参加の有無 | 有 ・ 無 | 学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等 | 無し |
| マスコミ等による共催の有無 | 有 (静岡新聞社・静岡放送) ・ 無 | 巡回の有無 | 有 (7館開催の第1会場) ・ 無 |

| 総括(事後) | |
|--------------------|--|
| 目的の達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・墳墓副葬品の金属工芸品などに品質の高い資料を将来することができた。 ・巡回の百貨店等では難しい大空間での照明に気を配った展示を展開することができた。そればかりが理由とは言えないかもしれないが、展示空間の工夫も当館の展示空間に対する満足度の一定部分を担っていると思われる。 |
| アンケートにみる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・来館者の男女比は当館の平均的構成で、この点では際立った特徴はみられなかった。年齢層のピークは50・60代で、シニア層中心か。 ・同伴者に「配偶者」を挙げた回答が半数を超えており(昨年度なら2番目に相当)、また「子ども」を挙げた回答も多い(回答者全体の15.9%。昨年度であれば2番目に相当)。家族連れでの来館が多かったのではないだろうか。 ・全体的な満足度はリピーター、新規来館者とも90%を超え、高めである。 |
| 指標に基づく成果 | 観覧者数 35,740人(71.5%)、満足度 79.7% 講演会2回実施 |
| 研究活動評価委員会からの意見(要約) | なし |
| 収支(決算)/観覧者数(実績) | <ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数 35,740人(目標 50,000人: 71.5%) ・歳出 12,750,000円(予算 12,750,000円: 100%) ・歳入 9,896,587円(目標 9,787,500円: 101.1%) ・特財率 77.62%(目標 77.5%) |
| 今後の改善点・課題 | <ul style="list-style-type: none"> ・自由記入欄に駐車場への苦情が目立った。スペースの狭さについてはすぐに改善するのは難しいが、「駐車場警備員の横柄さ」は館のイメージを著しく損なうものであり、早急に改善するの必要をみとめる。 ・同じく自由記入欄には本展のような歴史展・文明展への満足や期待を示すものが多かった。また、「東京」や「大都市」でみられるような展示を希求する意見もあった。以上を鑑みるに、夏休み前後に開催されている大規模歴史・文明展については一定の支持が集まっているようであり、魅力的な企画については引き続きリサーチしていく必要がある。 ・照度が足りない、という指摘も複数あった。工芸品として全体の照度を落としてスポット的に作品を引き立たせようという意図ではあったが、史料として細部までみたいという需要にも一定の配慮していく必要があると感じた。 |

■静岡県立美術館 自己点検評価表(展覧会)(平成21年度)

| | |
|---------------------|---|
| 事業名称 | 「静岡の美術Ⅸ 柳澤紀子」展 |
| 企画(事前) | |
| 目的・内容 | 静岡県出身で全国的、国際的に活躍中の画家、柳澤紀子を紹介。 ロダン彫刻とのコラボレーションも行う。 県出身、ゆかり作家の顕彰と、すぐれた現代美術の紹介。 「身体」をテーマに、ロダン彫刻の再鑑賞の機会を作り、またロダン館を再活性化させる。 |
| 期待される成果 | 現代美術を親しんでもらえる人が増加する。 県出身作家について認識してもらえる人が増加する。 ロダン彫刻を改めて見直す人が増加する。 企画展の入場者で、ロダン館へも入場する人が増加する。 |
| 指標(数値目標) | 観覧者数 8,000人、満足度 70.0% |
| 収支(予算) /観覧者数(見込) | 観覧者数 8,000人、歳出 11,008,000円、歳入 9,591,000円、特財率 87.1% |
| 広報戦略 | 地元の新聞、テレビに加えて、全国的な広報活動にも力を入れる(「NHK日曜美術館」など)。 全国の美術大学などへの広報に力を入れ、美大生への周知をはかる。 |

| | | | |
|--------|-----------------------------------|-----|---------------|
| 部署 | 学芸課 | 記入日 | 企画 平成21年4月1日 |
| 担当者名 | 堀切 | | 総括 平成21年7月30日 |
| 実施日・場所 | 平成21年5月26日～7月5日 静岡県立美術館第1～5展示室 | | |

| | | | |
|---------------|-------|-------------------------------|------------------------|
| 学芸員の企画への参加の有無 | 有 ・ 無 | 学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等 | 展覧会企画、実施。出品交渉、カタログ論文執筆 |
| マスコミ等による共催の有無 | 有 ・ 無 | 巡回の有無 | 有 ・ 無 |

| | |
|---------------------|---|
| 総括(事後) | |
| 目的の達成度 | 初期作品から最新作まで生涯にわたる作品を出品することができ、作家の全貌を紹介することができた。またこの展覧会のために作られた作品や、ロダン彫刻とのコラボレーションなどにより、現役作家ならではの精力的な制作活動を紹介し、現代美術を身近で、今日のものとして感じてもらえる契機とすることができた。 またギャラリートークやワークショップなど、作家と来館者が触れ合う機会も設けることができた。 NHK「日曜美術館」で5分間放映され、また全国紙などに多く写真入りで取り上げられた。それがロダン館での展示を報道してくれたことにより、ロダン館の全国的な広報に寄与できた。 財団法人地域創造の助成金を取ることができた。 |
| アンケートにみる特徴 | 回答率が他の企画展に比べて高く、観覧後に興味をもってくれた来館者が多かったと思われる。 新規来観者が多かったが、これは現代美術展の特徴である。 県出身作家の展覧会であるにもかかわらず、県外からの来館者が多かった。全国的に活動している作家であるため、むしろ県外での知名度のほうが高いのかもしれない。 来館のきっかけを聞く項目では、マスコミの比率が低く、全国紙、NHKなどで取り上げられたことはあまり集客にはつながらなかったと思われる。しかし、「一度来たいと思っていた」の比率は高く、ある程度関心があった潜在層の来館促進には効果があったようである。 柳澤作品とロダン彫刻とのコラボレーションに言及している自由回答が多く、その内容もおおむね好意的で、ロダン彫刻およびロダン館の再認識に寄与できた。 |
| 指標に基づく成果 | 観覧者数 6,079人(76.0%)、満足度 63.3% トークショー1回、作家によるギャラリートーク2回、ワークショップ1回 |
| 研究活動評価委員会からの意見(要約) | |
| 収支(決算) /観覧者数(実績) | ・観覧者数 6,079人(目標 8,000人: 76.0%) ・歳出 9,355,635円(予算 11,008,000円: 85.0%) ・歳入 7,593,400円(目標 9,591,000円: 79.2%) ・特財率 81.2%(目標 87.1%) |
| 今後の改善点・課題 | マスコミとの共催をしない展覧会の広報活動については、妙手を見出すことが難しく、引き続き懸案である。 ロダン館を現存作家に提供して展示することは、作家にとっても、また来館者にとっても好評であった。ロダン彫刻とのコラボレーションは作家の力量や展示デザインが問われるので難しい作業であるが、引き続き可能性を探っていきたい。 |

■静岡県立美術館 自己点検評価表(展覧会)(平成21年度)

| | |
|-----------------|--|
| 事業名称 | 「ハウル・クレー 東洋への夢」展 |
| 企画(事前) | |
| 目的・内容 | スイスに生まれ、20世紀を代表する画家ハウル・クレーの個展。クレーと日本・東洋との関わりをテーマに、浮世絵から影響を受けたと思われる作品や、東洋関連のクレーの蔵書などを展示することにより、日本では初紹介となるクレーの新たな側面に焦点を当てる。 |
| 期待される成果 | 静岡でのハウル・クレーの個展は、初めての開催となる。クレーのファンのみならず、クレーの知名度を上げる上でも、またとない機会である。20世紀を代表する抽象画家クレーの東洋へのまなざしというテーマの展覧会は、日本では初の試みであり、野心的で学級的な内容である。またこのような性格により、本展は、西洋美術のみならず東洋・日本美術のファン層にもアピールすると考えられる。本展には、当館の所蔵品も出品されている。よって、当館の20世紀西洋美術コレクションを広報する一助ともなる。 |
| 指標(数値目標) | 観覧者数 30,000人、満足度 70.0% |
| 収支(予算)/観覧者数(見込) | 観覧者数 30,000人、歳出 30,686,000円、歳入 21,710,000円、特財率 70.7% |
| 広報戦略 | 主催者・静岡第一テレビによる特別広報。静岡銀行の協賛。 |

| | | | |
|--------|------------------------------------|-----|----------------|
| 部署 | 学芸課 | 記入日 | 企画 平成21年4月1日 |
| 担当者名 | 南 | | 総括 平成21年10月19日 |
| 実施日・場所 | 平成21年7月14日～8月30日 静岡県立美術館第1～6展示室 | | |

| | | | |
|---------------|-------|-------------------------------|-------------------|
| 学芸員の企画への参加の有無 | 有 ・ 無 | 学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等 | なし |
| マスコミ等による共催の有無 | 有 ・ 無 | 巡回の有無 | 有 (3館開催の第2会場) ・ 無 |

| | |
|--------------------|---|
| 総括(事後) | |
| 目的の達成度 | <ul style="list-style-type: none"> ・当初の画家ハウル・クレーの個展であり、加えて、「クレーと東洋」というテーマに焦点を当てたことにより、当初のコンセプトと内容の実現は達成できた。 ・アンケート結果に見られる「全体的な満足度」は、「はい」(36.7%)「どちらかというとはいい」(40.1%)を総合すると76.8%になり、西洋美術以外のファン層を広げ、かつ展覧会の魅力をアピールできたと思われる。 ・観覧者総数は19,878人で、目的の3万人を大きく下回った。 ・第一テレビとの共催は、広報面を手厚くサポートしてくれたことにより、成功した。 |
| アンケートにみる特徴 | <ul style="list-style-type: none"> ・回答者の居住地をみると、静岡市内が42.2%で圧倒的な割合を占めているが、県外からの新規来館者が34%を占めるのは注目される。 ・来館回数をみると、「3-5回」(22.2%)、「10回以上」(21.5%)に次いで「初めて」が20.7%と、新規来館者の割合が比較的高い。 ・来館のきっかけは、「テレビ」が17.8%で最も高いのは、第一テレビの広報効果を物語る。次いで高いメディアは「ポスター」で16.1%。メディア以外の「誘われて」来館という回答者が最も大きい割合を占め、25.1%と四分の一の割合である。新規来館者のきっかけは、「美術館HP」が17.7%で健闘している。 ・「全体的な満足度」は、「はい」(36.7%)「どちらかというとはいい」(40.1%)を総合すると76.8%。新規来館者では87.5%に達している。 ・心地よく鑑賞できたとの回答は79.7%、スタッフ対応の適切さも75%で、高い評価と言えよう。 |
| 指標に基づく成果 | 観覧者数 19,878人(66.3%)、満足度 76.8% |
| 研究活動評価委員会からの意見(要約) | なし |
| 収支(決算)/観覧者数(実績) | <ul style="list-style-type: none"> ・観覧者数 19,878人(目標 30,000人: 66.3%) ・歳出 25,027,422円(予算 30,686,000円: 81.6%) ・歳入 10,127,400円(目標 21,710,000円: 46.6%) ・特財率 40.5%(目標 70.7%) |
| 今後の改善点・課題 | 予算規模が大きい個展を開催する場合には、世間一般の知名度など、こうしたアンケートを利用して予め認識しておくことが必要と思われる。学芸員の自主企画展の場合には、研究成果の提示などの別目的があるが、本展のような巡回展の場合には、開催した場合のリスクをある程度予測できる対策を講じる方が適切であろう。 |

■静岡県立美術館 自己点検評価表(展覧会)(平成21年度)

| | |
|---------------------|--|
| 事業名称 | 「特集 狩野派の世界2009」展 |
| 企画(事前) | |
| 目的・内容 | 静岡県とゆかりが深く、当館で体系的な収集を進めている狩野派の作品について、コレクションを中心として一堂に展示する。あわせて、新発見・近年発見作なども借用して、400年に及ぶ狩野派の絵画についてその流れを概観することにより、当館の特色あるコレクションを広くアピールする。 |
| 期待される成果 | 当館のすぐれた狩野派コレクション、あるいは作品収集の特色について広く認知される。このことは、美術館活動全般への理解を助けるものとなる。また、新発見作などの公開により、学術的な面でも成果が期待できる。 |
| 指標(数値目標) | 観覧者数 15,000人、満足度 70.0% |
| 収支(予算) /観覧者数(見込) | 観覧者数 15,000人、歳出 5,363,000円、歳入 5,894,000円、特財率 109.9% |
| 広報戦略 | マスコミの共催がないことは、考えようによってはどのマスコミにも取り上げてもらえるチャンスがあるということであり、話題性のある出品作品を提示して地元メディアや「NHK日曜美術館」などへの働きかけを積極的に展開する。また、県内の学校教諭の協力を得、学生の団体観覧を促す。 |

| | | | |
|--------|-------------------------------------|-----|----------------|
| 部署 | 学芸課 | 記入日 | 企画 平成21年4月1日 |
| 担当者名 | 福士(飯田、石上) | | 総括 平成21年11月30日 |
| 実施日・場所 | 平成21年9月10日～10月18日 静岡県立美術館第1～6展示室 | | |

| | | | |
|---------------|-------|-------------------------------|--------------------------|
| 学芸員の企画への参加の有無 | 有 ・ 無 | 学芸員の企画への参加状況 ※カタログ執筆、出品交渉等 | 作品調査・選定、出品交渉、カタログ執筆、作品借用 |
| マスコミ等による共催の有無 | 有 ・ 無 | 巡回の有無 | 有 ・ 無 |

| | |
|---------------------|--|
| 総括(事後) | |
| 目的の達成度 | 観覧者数は目標には及ばなかったが、古美術の展覧会、それも館蔵品を中心とした展覧会としてはまずまずの集客であった。また、満足度は91パーセント超と高く、この点は十分に目標値を達成することができた。アンケートの自由回答欄にも展覧会の質を評価する内容が多く、高い満足度を得るとともに、当館のコレクションを広く知っていただくという目的はある程度達成されたものと言える。研究者の来館も多く、学術的な面での成果も目標を達成することができた。 |
| アンケートにみる特徴 | 来館者全体の割合として50歳代の方が多いのには想定通りだったが、新規来館者のうち32パーセントが20歳代であったのは驚きであった。学生の団体観覧が多かったのも一因であろう。また、20パーセント以上の方が県外からの来館であったのは、全国版の新聞・雑誌等への記事既掲載が功を奏したものと考えられる。 |
| 指標に基づく成果 | 観覧者数 12,807人(85.4%)、満足度 91.3% |
| 研究活動評価委員会からの意見(要約) | 充実した展示内容であり、学術的な貢献度も高い。また、展示・キャプションは観覧者に分かりやすい工夫がされており、評価できる。数年後に再び狩野派展が開催されることを期待する。図録は既刊のものをまとめた改訂版を出すべき。(金原) 館蔵品の充実度を改めて認識させたという意味で、コレクションの活用という点では文句のつけようがない。展示作品の充実度も評価するが、展示に小テーマを設ければメリハリが効いたのではないかと。また、展覧会全体を総括した論文が図録に欲しかった。(榊原) |
| 収支(決算) /観覧者数(実績) | ・観覧者数 12,807人(目標 15,000人:85.4%) ・歳出 4,977,812円(予算 5,363,000円:92.8%) ・歳入 5,323,620円(目標 5,894,000円:90.3%) ・特財率 106.9%(目標 109.9%) |
| 今後の改善点・課題 | 県外への広報は、十分ではないながらも一定の成果をあげているが、県内での広報は、各マスコミを通じて行ったものの単発のため持続的な効果が得にくかった。マスコミと共催しない展覧会でいかに持続的な広報を展開していくかは、「広報費」が確保されない以上大変難しい問題だが、今回来館のきっかけとしてホームページを挙げた方が最も多かったのは、何かのヒントになるかもしれない。 |

4 アンケート調査結果のまとめ

(1) 企画展アンケート

- ・リピーターの割合は78.6%。おおむね8割を保持している。ここ数年はほぼ横ばい傾向で、当館の特徴として定着した感がある。その中では「よみがえる黄金文明展」のリピート率の高さ(88.9%)が目を引き。次点の「バウル・クレール展」(79.3%)と9.6ポイントもの開きがあり、いわゆる文明展のみを鑑賞するリピーターの存在を推測させる。また、それとは逆に「狩野派の世界展」の新規来館者の割合の高さ(30.6%)も目立つ。
- ・これらの結果からは、ここ10年ほど続けてきた文明展よりは「コレクションを中心とした近世美術展」にこそ新規顧客開拓の可能性があるという論理的帰結を得ることとなる。
- ・「風景の美術館としての認知度」は20台前半にとどまっている(24.8%)。この数値は来館回数が増えるほど高くなるものと推測されるのだが、今回はリピート率79.3%の「バウル・クレール展」における「風景の美術館としての認知度」が19.1%、リピート率69.4%の「狩野派の世界展」におけるそれが25.8%という逆転現象が起きているのが興味深い。いずれにせよ「風景の美術館」が館のブランドイメージとして定着しているとは言い難い。
- ・「情報の入手しやすさ」では「よみがえる黄金文明展」が最も高い(74.7%)。同展の「来館のきっかけ」としては「新聞」(56.3%)と「テレビ」(23.4%)の割合が非常に大きく、マス媒体の広報力の高さが示されたかたちとなった。
- ・「県外来館者の割合」では「よみがえる黄金文明展」の低さ(5.3%)と、「狩野派の世界展」の高さ(21.3%)が目につく。とくに後者が「情報の入手しやすさ」では最下位であったことを考え合わせると、「静岡県美でしか観ることのできないコレクションを中心とした展示」であれば、情報の伝わりにくい遠方であってもわざわざ来県して鑑賞するという層の存在を予想させる。

(2) 教育・普及プログラムアンケート

- ・プログラムの満足度は96.9%であり、極めて高い。20年度も97.8%という数値を示しており、高どまりの傾向がある。
- ・「プログラムの前後に展覧会を観覧した参加者」の割合は47.6%であり、19年度(35.8%)、20年度(41.8%)から引き続いて上昇傾向が続いている。

(3) レストラン利用者アンケート

- ・レストランの満足度は68.8%であり、19年度(61.7%)、20年度(54.5%)を大きく上回った。
- ・一方、週末の夜間営業の認知度はわずかに8.5%にとどまっている。あらためて夜間営業の告知に努めるか、費用対効果の再検討を行うべき段階にあると考えられる。

(4) ミュージアムショップ利用者アンケート

- ・ミュージアムショップ利用者の満足度は84.8%であった。20年度の80.6%から微増している。
- ・性別は女性が73.7%であり、20年度の70.5%からさらに上昇した。今後も、女性を主なターゲット

とした店舗作りをベースにしつつ、男性客のとりこみを図っていく、という方向になると考えられる。

(5) 図書閲覧室利用者アンケート

- ・21年度は長期休館期間があったということもあり、サンプル回収数は7件にとどまった。これだけでは正確な分析を試みるのは難しいが、その7件がいずれも男性であり、20回以上のハードリピーターが4件、30分以上の滞在者が5件であったということはデータの的に無視できないだろう。
- ・現状、ふらりと立ちよる場所と言うよりも、調べ物や読書のために通う場所として利用されていることが想定される。

(6) ホームページ利用者アンケート

- ・回答者にしめる女性の割合は65.9%であり、展覧会の観覧者における女性の割合(59.2%)を上回っている。「機械やITは男性のもの」という思い込みは捨てなければならないだろう。
- ・ホームページ利用者の年齢層としては30代(29.3%)が最も多い。展覧会来館者に占める成人の中では30代がもっとも少ない(11.4%—ただし10代以下はもっとも少ない)ことを考え合わせると、ホームページ広報力の強化が新規来館者の誘客に結びつく可能性を秘めていると言えるだろう。

5 「美術館カルテ」の状況

- ・平成17年7月に運用を開始した戦略目標を基礎とする体系は、平成20年度の見直しによって現在の館長公約を基礎とする体系に置き換えたが、館の全体像を把握するための基礎データの体系として有用であることから、「美術館カルテ」として、データ整理を継続する。
- ・なお、データ収集の負担から今回はデータ収集をしていない指標もある。※

| 戦略目標 戦略 | 定量的評価指標 | | 実績値 | | | | | | |
|------------|--|------------------------------|-----|---------|-----------|-----------|---------|---------|----------------------|
| | | | 単位 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 |
| 戦略目標 A | 質の高い美術体験を提供することにより、人々の感性を磨き、生活に変化をもたらします | | | | | | | | |
| 戦略 1 | 新たな視点に基づく展示を行います | | | | | | | | |
| | 1 | 展覧会の観覧者数 | 人 | 146,706 | 129,768 | 222,608 | 184,535 | 190,669 | 119,416 |
| | 2 | 展覧会のリピート率 | % | - | 82.8 | 77.3 | 80.3 | 82.7 | 78.6 |
| | 3 | 展覧会の満足度 | % | 62.8 | 65.8 | 67.7 | 71.7 | 67.4 | 86.8 |
| | 4 | 講義系の特別講演会等の回数 | 回 | 184 | 283 | 214 | 211 | 210 | 173 |
| 戦略 2 | 新たな発見を促し、創造性を体感できるプログラムを提供します | | | | | | | | |
| | 5 | 教育・普及プログラムの参加者数 | 人 | 14,554 | 21,297 | 24,263 | 32,225 | 37,781 | 26,325 |
| | 6 | 教育・普及プログラムの満足度 | % | 86.0 | 93.9 | 84.8 | 82.1 | 83.7 | 88.2 |
| | 7 | 実技系プログラムに参加した人で、展覧会も観覧した人の割合 | % | 11.1 | 37.5 | 35.6 | 35.8 | 41.8 | 47.6 |
| 戦略 3 | 豊かな美術体験のための非日常的な環境を演出します | | | | | | | | |
| | 8 | 鑑賞環境に対する満足度 | % | 87.2 | 89.6 | 84.6 | 87.1 | 87.4 | 84.4 |
| 戦略 4 | すべての美術館活動の基盤となる調査・研究活動を重視します | | | | | | | | |
| | 9 | 学芸員の調査・研究の発表件数 | 件 | 223 | 166 | 172 | *10 | 14 | 11 |
| 戦略 5 | より多くの方に展覧会をご覧いただくための広報に努めます | | | | | | | | |
| | 10 | 企画展ごとの取材等の件数 | 件 | - | - | 1,860 | *927 | 29 | 25 |
| 戦略目標 B | コレクションを充実し、活用することで、その価値を広く明らかにします | | | | | | | | |
| 戦略 1 | 社会的資産としてのコレクションを保全し、後世に伝えていきます | | | | | | | | |
| | 11 | 作品購入点数 | 点 | 67 | 11 | 4 | 2 | 3 | 3 |
| | | 作品購入価格 | 千円 | 55,769 | 40,834 | 6,388 | 29,896 | 12,757 | 133,350 (113,400) |
| | 12 | 作品寄贈の点数 | 点 | 0 | 3 | 10 | 23 | 47 | 20 |
| | | 寄贈作品の評価額 | 千円 | - | 5,300 | 46,200 | 26,435 | 69,625 | 22,950 |
| | | 作品寄託の点数 | 点 | - | 1 | 9 | 27 | 13 | 6 |
| | 13 | コレクションの資産価値(※) | 千円 | - | 1,026,600 | 1,144,600 | | ※ | ※ |

11()内は、基金対応額。

| 戦略目標 戦略 | 定量的評価指標 | | 実績値 | | | | | |
|------------|--|---|--------|--------|---------|--------|--------|--------|
| | | | 単 位 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
| No. | | | | | | | | |
| 戦略 2 | 特徴あるコレクションを形成し、効果的な活用を通じてその魅力をアピールします | | | | | | | |
| 14 | 収藏品展の入館者数 | 人 | 18,663 | 16,864 | 13,265 | 18,196 | 17,850 | 18,042 |
| 15 | 収藏品展の企画数 | 本 | 10 | 15 | 9 | 12 | 11 | 6 |
| 16 | 収藏品の公開件数 | 点 | - | 668 | 557 | 465 | 446 | 496 |
| 17 | 収藏品の移動率 | % | - | 39.7 | 32.9 | 18.5 | 32.8 | 19 |
| 18 | 他館への貸出件数 | 件 | 80 | 97 | 123 | 161 | 199 | 180 |
| 19 | 特別観覧の件数 | 件 | 87 | 76 | 79 | 85 | 84 | 78 |
| 20 | ロダン館への入館者数 | 人 | 58,733 | 62,768 | 105,545 | 74,290 | 81,771 | 45,751 |
| 21 | ロダン館を使った催事の件数 | 件 | 6 | 46 | 58 | 45 | 83 | 136 |
| | ロダン館を使った催事の観覧者数 | 人 | - | 2,336 | 3,174 | 2,700 | 3,143 | 6,423 |
| 22 | ロダン美術館としての情報発信の媒体別発信回数 | 回 | - | 57 | 14 | 57 | 12 | 13 |
| 23 | 風景の美術館としての認知度（観覧者） | % | - | 30.3 | 27.3 | 25.4 | 22.9 | 24.8 |
| | 風景の美術館としての認知度（インターネット） | % | - | 8.7 | 14.4 | - | ※ | ※ |
| 戦略 3 | コレクションについての研究活動を行います | | | | | | | |
| 24 | 収藏品に関する学芸員による調査・研究の発表件数 | 件 | - | 4 | 11 | * 2 | 2 | 5 |
| 戦略目標 C | 「ここでなければ得られない」楽しく充実した一日をすごしていただける場所となります | | | | | | | |
| 戦略 1 | 美術館へ誘（いざな）う環境を整え、安全快適に過ごしていただけるための設備や計画を整えます | | | | | | | |
| 25 | 当館に関する情報が「入手しやすい」とする方の割合 | % | - | 71.5 | 69.7 | 67.9 | 69.8 | 66.5 |
| 26 | 公共交通機関で来館した人のアクセス満足度 | % | - | 82.4 | 78.9 | 78.1 | 76.4 | 78.0 |
| 27 | 自家用車で来館した人のアクセス満足度 | % | - | 76.0 | 67.3 | 80.1 | 80.7 | 75.8 |
| 28 | ユニバーサルデザイン面での取組み数 | 件 | 1 | 2 | 2 | 3 | 2 | 2 |
| 29 | 美術館スタッフの対応に満足した人の割合 | % | 74.6 | 82.3 | 78.7 | 78.5 | 82.5 | 79.0 |

| 戦略目標 戦略 | 定量的評価指標 | | 実績値 | | | | | |
|------------|-----------------------------------|----|--------|--------|--------|--------|--------|--------|
| | | | 単 位 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 |
| No. | | | | | | | | |
| 戦略 2 | ロダン館をはじめとする館内外の空間を活かした事業展開をします | | | | | | | |
| 30 | ロダン館、エントランス等での催事件数 | 件 | 5 | 61 | 92 | 90 | 101 | 34 |
| 31 | ロダン館、エントランス等での催事の参加者数 | 人 | - | 3,504 | 5,914 | 5,400 | 4,054 | 6,506 |
| 32 | ロダン館、エントランス等での催事の満足度 | % | - | 94.8 | 93.6 | 94.6 | 92.3 | ※ |
| 戦略 3 | 「それだけのために来館したくなる」レストラン、ショップを目指します | | | | | | | |
| 33 | レストランの利用者数 | 人 | 34,213 | 35,634 | 47,770 | 43,727 | 45,211 | 15,679 |
| 34 | レストランの満足度 | % | - | 63.2 | 57.1 | 61.7 | 54.5 | 68.8 |
| 35 | ミュージアムショップの利用者数 | 人 | - | 13,106 | 23,651 | 24,542 | 19,980 | 12,236 |
| 36 | ミュージアムショップの満足度 | % | - | 89.3 | 77.1 | 76.9 | 80.6 | 84.8 |
| 戦略目標 D | 地域とともに進化する美術館となります | | | | | | | |
| 戦略 1 | 市民が参画し、地域とメリットを共にする美術館活動を展開します | | | | | | | |
| 37 | 地域住民・団体との連携を図るための意見交換会の開催回数 | 回 | - | 7 | 14 | 11 | 12 | 10 |
| 38 | ボランティアの人数 | 人 | - | 277 | 277 | 284 | 282 | 212 |
| 39 | ボランティアの満足度 | % | - | 78.8 | - | 59.7 | 54.6 | ※ |
| 40 | 友の会会員の人数 | 人 | 623 | 557 | 636 | 608 | 680 | 588 |
| 41 | 友の会会員の満足度 | % | - | 90.0 | - | - | ※ | ※ |
| 42 | 県民ギャラリーの利用団体数 | 団体 | 34 | 41 | 38 | 39 | 43 | 26 |
| | 県民ギャラリーの稼働率 | % | 88.1 | 93.4 | 97.7 | 91.3 | 98.8 | 94.5 |
| | 講堂の利用団体数 | 団体 | 68 | 78 | 88 | 71 | 80 | 38 |
| | 講堂の稼働率 | % | 27.2 | 27.4 | 29.4 | 25.2 | 31.2 | 22.3 |
| 43 | 移動美術展の開催回数 | 回 | 2 | 2 | 2 | 2 | 2 | 3 |
| | 移動美術展の入場者数 | 人 | 4,553 | 4,490 | 6,082 | 2,669 | 1,507 | 17,624 |
| 44 | 広報サポーターの人数 | 人 | 156 | 155 | 112 | 98 | 88 | 84 |

| 戦略目標 戦略 | 定量的評価指標 | | 実績値 | | | | | | |
|------------|---|---|--------|---------|---------|---------|---------|---------|------|
| | | | 単 位 | 16年度 | 17年度 | 18年度 | 19年度 | 20年度 | 21年度 |
| No. | | | | | | | | | |
| 戦略 2 | 美術に関する情報集散地を目指します | | | | | | | | |
| 45 | HPへのアクセス件数 | 件 | 98,000 | 103,500 | 155,400 | 164,500 | 164,000 | 147,225 | |
| 46 | HPの満足度 | % | - | 69.6 | 77.8 | 70.0 | 74.3 | 71.9 | |
| 47 | 図書閲覧室の利用者数 | 人 | 4377 | 4,700 | 5,090 | 5,580 | 5,070 | 3,716 | |
| 48 | 図書閲覧室の満足度 | % | - | 67.5 | 73.5 | 87.0 | 77.8 | 85.8 | |
| 戦略 3 | 新たな顧客層・支持層を開拓していきます | | | | | | | | |
| 49 | 展覧会における小中高生の割合 | % | 12.3 | 14.0 | 8.6 | 9.6 | ※ | ※ | |
| 50 | 小中高生を対象にした実技系プログラムの回数 | 回 | - | 107 | 120 | 145 | 157 | 118 | |
| 51 | 展覧会における新規来館者の割合 | % | - | 17.2 | 22.7 | 19.7 | 17.3 | 21.4 | |
| 52 | 展覧会における新規来館者の満足度 | % | - | 65.7 | 67.7 | 70.9 | 74.2 | 71.2 | |
| 53 | 地域別の利用者数の割合（東部） | } | 静岡市内 | 16.4 | 14.5 | 15.8 | 15.9 | 16.8 | |
| | 地域別の利用者数の割合（中部） | | 県内 | 63.8 | 61.3 | 57.7 | 60.0 | 54.4 | |
| | 地域別の利用者数の割合（西部） | | (市内除く) | 12.8 | 13.4 | 16.4 | 15.0 | 15.2 | |
| | 地域別の利用者数の割合（県外） | | 11.0 | 7.0 | 10.8 | 10.1 | 9.2 | 13.6 | |
| 54 | 2世代・3世代一緒に観覧に来ている割合 | % | - | 26.7 | 29.7 | 25.9 | 26.0 | 29.6 | |
| 55 | 観光ルート化を実現するための会議の開催 | 回 | - | 4 | 3 | 7 | 7 | 4 | |
| 戦略目標 E | 美術館経営を改革していきます | | | | | | | | |
| 戦略 1 | 経営に関する考えを常に社会に伝え、ガラス張りで責任の明確な経営を行います | | | | | | | | |
| 56 | 経営に関する情報の公開件数 | 件 | - | 8 | 13 | 10 | 7 | 5 | |
| 戦略 2 | 進化していく美術館について研究します | | | | | | | | |
| 57 | 経営に関する調査・研究件数 | 件 | - | 4 | 15 | 6 | 6 | 5 | |
| 戦略 3 | 美術館が社会に役立つための職員教育を徹底します | | | | | | | | |
| 58 | 職員研修の件数 | 件 | - | 18 | 10 | 21 | 11 | 9 | |
| 戦略 4 | 美術館が持つ全ての資源（人、作品、施設など）が、効果的に力を発揮できるようにします | | | | | | | | |
| 59 | 美術館協議会及び経営部会の開催回数 | 回 | 1 | 4 | 2 | 2 | 2 | 3 | |

第4章 今後の取組方針

第4章では、平成21年度の自己評価を踏まえた平成22年度以降の取組方針について記載している。

まず、平成23年度までの達成目標を設定し、年次計画的な観点に立って、平成22年度の取組に関する全体的な考え方を整理した上で、平成22年度に取り組む具体的な行動計画を記載した。

1 平成22年度以降の達成目標

| 評価指標 | 実績 | | | | 目標値 | | |
|--|----------------------|--------------|--------------|--------------|---------------------------|--------------|--------------|
| | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 | |
| A 人々の完成を磨き、生活に変化をもたらすような魅力的な展覧会を開催します | | | | | | | |
| 1 新たな視点や工夫に基づく企画展を積極的に開催します | | | | | | | |
| 1 | 展覧会の来館者数(人) | 222,608 | 184,535 | 190,669 | 119,416 | 150,000 | 150,000 |
| 2 | 自主企画・企画参加型展覧会の回数(回) | 4 | 3 | 4 | 2 | 4 | 4 |
| 3 | 作品やテーマに興味を持った人の割合(%) | 86.8 | 87.5 | 86.0 | 80.9 | 88.0 | 88.0 |
| 4 | 展覧会における新規来館者の割合(%) | 22.7 | 19.7 | 17.3 | 21.4 | 20.0 | 20.0 |
| 2 大学・他美術館との連携・交流を進め、企画力を強化します | | | | | | | |
| 6 | 調査研究の発表件数(種別)(回) | 172 | ※10 | 14 | 11 | 10 | 10 |
| 7 | 内部セミナー・研究会・研修の回数(回) | 11 | 12 | 12 | 14 | 14 | 14 |
| 8 | 大学等と連携した取組件数(件) | 3 | 3 | 5 | 4 | 5 | 5 |
| 9 | インターンシップの受入人数(人) | - | - | 4 | 2 | 4 | 4 |
| 3 特徴あるコレクションを形成し、効果的に活用します | | | | | | | |
| 11 | 収蔵品展の観覧者数(人) | 13,265 | 18,196 | 17,850 | 18,042 | 20,000 | 20,000 |
| 12 | 収蔵品の公開件数(貸出し含む)(件) | 557 | 465 | 446 | 496 | 500 | 500 |
| 13 | 作品購入件数・購入価格(件・千円) | 4 6,388 | 2 29,896 | 3 12,757 | 3 133,350 (113,400) | 3 20,000 | 3 20,000 |
| 14 | 作品寄贈件数・評価価格(件・千円) | 10 46,200 | 23 26,435 | 47 69,625 | 20 22,950 | 10 10,000 | 10 10,000 |
| B 地域や学校教育との連携を深め、質の高い教育・普及活動を展開します | | | | | | | |
| 1 質の高い教育・普及プログラムを開発します | | | | | | | |
| 16 | 学校教育と連携した取組数(件) | - | 290 | 385 | 305 | 350 | 350 |

| 評価指標 | | 実績 | | | | 目標値 | |
|------|-----------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| | | H18 | H19 | H20 | H21 | H22 | H23 |
| 17 | 鑑賞系プログラム数 (件) | - | 11 | 15 | 13 | 13 | 13 |
| 18 | コレクションを活用したプログラム数 (件) | - | 14 | 16 | 17 | 16 | 16 |

2 講座・講演会等を充実します

| | | | | | | | |
|----|--------------------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 20 | 講演会等の開催回数 (回) | 214 | 211 | 240 | 173 | 210 | 210 |
| 21 | 学芸員のフロアレクチャー等の数(回) | 16 | 17 | 58 | 86 | 20 | 20 |

3 地域住民、企業、NPO等と連携した美術館活動を充実します

| | | | | | | | |
|----|--------------------------|-------------|-------------|--------------|-------------|-------------|-------------|
| 22 | 地域住民等と連携した取組数 (件) | 2 | 2 | 10 | 6 | 4 | 4 |
| 23 | 館内空間を生かした催事の件数・参加者数(件・人) | 92 5,914 | 90 5,400 | 101 4,054 | 34 6,506 | 90 5,500 | 90 5,500 |

C 戦略的な広報を展開し、情報発信に努めます

1 広報戦略を策定し、広報の質を高めます

| | | | | | | | |
|----|-------------------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 24 | 美術館に関する情報が「入手しやすい」とする人の割合 (%) | 69.7 | 67.9 | 69.8 | 66.5 | 70.0 | 70.0 |
| 25 | ホームページへのアクセス件数(件) | 155,400 | 164,500 | 164,000 | 147,225 | 170,000 | 170,000 |
| 26 | ホームページの満足度 (%) | 77.8 | 70.0 | 74.3 | 71.9 | 70.0 | 70.0 |

2 観光などとの連携や新たな広報チャンネルの開拓に取り組みます

| | | | | | | | |
|----|-----------|---|---|----|----|----|----|
| 28 | 取材の件数 (件) | - | - | 40 | 21 | 30 | 30 |
|----|-----------|---|---|----|----|----|----|

3 ロダン館の認知度を高め、来館者を増やします

| | | | | | | | |
|----|--------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|
| 30 | ロダン館の入館者数(人) | 105,545 | 74,290 | 81,771 | 45,751 | 80,000 | 80,000 |
|----|--------------|---------|--------|--------|--------|--------|--------|

D 施設の改修を推進し、美術館のアメニティを高めていきます

1 館内施設を充実し、満足度を高めます

| | | | | | | | |
|----|-----------------------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|
| 31 | 美術館利用者数 (内訳) (人) | 423,834 | 373,556 | 389,194 | 221,185 | 400,000 | 400,000 |
| 32 | 鑑賞環境に対する満足度 (%) | 84.6 | 87.1 | 87.4 | 84.4 | 90.0 | 90.0 |
| 33 | レストラン・カフェ利用者の満足度 (%) | 57.1 | 61.7 | 54.5 | 68.8 | 70.0 | 70.0 |
| 34 | ミュージアムショップ利用者の満足度 (%) | 77.1 | 76.9 | 80.6 | 84.8 | 80.0 | 80.0 |

2 周辺環境やアクセス環境の向上を進めます

| | | | | | | | |
|----|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------|------|
| 35 | 来館者のアクセス満足度 (%) | 78.9 67.3 | 78.1 80.1 | 76.4 80.7 | 78.0 75.8 | 80.0 | 80.0 |
|----|-----------------|--------------|--------------|--------------|--------------|------|------|

※13()は、基金対応額。

2 平成 22 年度の取組方針

(1) 展覧会の充実、多様な連携

コレクションに関する学芸員の調査・研究の成果を示し、その上で人々の感性や生活に変化をもたらすことのできる特色ある展覧会を開催する。また他の美術館、大学及び学校、地域との多様な連携を推進する。

(2) 収蔵品展の充実

当館では、これまで、収蔵品を活用した展覧会を開催するなど、収蔵品を鑑賞していただく機会を提供してきた。平成 22 年度は、全館的な収蔵品企画展「出会えます。あなたの愛する風景」を開催する。

将来的に、当館が全国に対して、その価値と魅力を発信していくにあたって、学芸員の調査・研究にもとづいた収蔵品展は、極めて重要なものとなる。そこで、今年度は、収蔵品活用と収蔵品展示の在り方等について、内容の充実を図るべく検討することとする。

(3) 戦略的な広報及びロダン館の観光ルート化

これまで当館の広報は、企画展及び関連事業等に併せた個別的な広報が主であった。今後は、「静岡県立美術館」という館自体の価値と魅力を多くの人々に伝えていくための戦略的な広報が重要である。今年度は、観光ルート化モデル事業「夕暮れロダンツアー」を定期化し、ロダン館の観光ルート化に向けた戦略的な広報に取り組むこととする。

3 平成 22 年度のアクションプラン

【館長公約A】

人々の感性を磨き、生活に変化をもたらすような魅力的な展覧会を開催します

(1) 新たな視点や工夫に基づく企画展を積極的に開催します

- ・作家の知られざる水墨画の魅力を紹介する。（「伊藤若冲展」）
- ・異文化への興味を喚起しつつ、当館のアピールを行う。（「トリノ・エジプト展」）
- ・美術と科学技術における人体表現を考察し紹介する。（「ロボットと美術展」）
- ・新収蔵品を中心として、コレクションを活用した企画展を開催する。
（「出会えます。あなたの愛する風景展」）
- ・アメリカ人コレクターの目を通して日本美術の魅力を紹介する。（「帰ってきた江戸絵画展」）

<平成 22 年度企画展開催計画>

| 展 覧 会 名 | | 期 間 | 観覧者数見込(人) |
|------------------|------------------|---------------------|-----------|
| 企 画 展 | 伊藤若冲—アナザーワールド—展 | 4/10～ 5/16 (33 日間) | 21,000 |
| | トリノ・エジプト展 | 6/12～ 8/22 (62 日間) | 83,000 |
| | ロボットと美術展 | 9/18～11/7 (44 日間) | 15,000 |
| | 出会えます。あなたの愛する風景展 | 11/16～12/23 (33 日間) | 13,000 |
| | 帰ってきた江戸絵画展 | 2/5～3/27 (44 日間) | 17,000 |
| 第 5 0 回記念 静岡県芸術祭 | | 8/31～9/12 (12 日間) | 10,000 |
| 第 20 回 富嶽ビエンナーレ展 | | 1/2～1/30 (26 日間) | 14,000 |
| 収蔵品展 | | 年間 | 17,000 |
| 計 | | | 190,000 |
| 移動美術展(川根本町文化会館) | | 11/11～11/14 (4 日間) | 600 |
| 移動美術展(島田市博物館) | | 1/15～2/27 (44 日間) | 3,000 |
| 合 計 | | | 193,600 |

(2) 他の美術館・大学との連携を進め、企画力を強化します

- ・他の公立美術館と共同して調査・研究及び巡回展を実施する。（「伊藤若冲展」、「ロボットと美術展」）
- ・県文化政策課と連携して「第 5 0 回記念 静岡県芸術祭」を開催する。
- ・インターンシップを受け入れる。
- ・展覧会調査や学会出席等情報収集に努める。

(3) 特徴あるコレクションを形成し、効果的に活用します

- ・フランソワ・ブーシェ（西洋絵画）の作品を購入し、収蔵品の充実を図る。（美術博物館建設基金積立金）
- ・当館コレクションを活用した企画展を開催する。（「出会えます。あなたの愛する風景展」）
- ・エントランス名品コーナーで富士山の収蔵品を紹介する。
- ・テーマに工夫を凝らした収蔵品展を開催する。
- ・購入・寄贈候補作品に関する情報を積極的に収集し、日常的な調査に努める。

<平成 22 年度収蔵品展開催計画>

| 展覧会名 | 期 間 | 展示する収蔵作品など |
|----------------------------|-----------|---------------------------|
| New コレ しずおか〜新収蔵品と静岡ゆかりの美術 | 4/1〜5/16 | 中村宏《車窓篇 TYPE4》、静岡ゆかりの美術など |
| 富士山の絵画 2010 | 5/25〜7/19 | 山口素絢《富嶽図》など |
| 親子で楽しむ日本画 水のある風景 | 7/21〜9/12 | 吉村孝敬《李白観瀑-子猷訪戴図屏風》など |
| 大きい絵〜大画面の魅力〜 | 9/14〜11/7 | 田中敦子《1985A》など |
| 静物と人物〜近代から現代まで〜 | 11/9〜1/30 | 小出楯重《静物》など |
| イマジネーションの彼方へ〜神話・空想・物語の西洋画〜 | 2/1〜4 月上旬 | パウル・ブリル《エルミニアと羊飼いのいる風景》など |

【館長公約B】

地域や学校教育との連携を深め、質の高い教育・普及活動を展開します

(1) 質の高い教育・普及プログラムを開発します

- ・学校教育の現場との交流を図り、鑑賞系教育・普及事業をより充実させる。
- ・鑑賞との結びつきを深め、質の高い実技系教育・普及事業を実施する。

<平成 22 年度 教育・普及プログラム 主な内容>

| プログラム | 内 容 | 実施日数等 (予定) |
|--------|--|---------------|
| 創作週間 | 実技室とその設備を創作活動のため県民に開放する | 年63回 |
| 色彩アトリエ | 親子でも参加できる美術体験企画として絵画を取り上げ、さまざまな技法で共同制作、展示を行うワークショップ | 年11回 |
| 工作アトリエ | 親子でも参加できる美術体験企画として立体・彫刻を取り上げ、共同制作を行うワークショップ | 年12回 |
| 絵の具開放日 | 親子で参加し、絵の具で自由に遊ぶ体験の日 | 年8回 |
| 粘土開放日 | 親子で参加し、粘土で自由に遊ぶ体験の日 | 年12回 |
| 美術館教室 | 学校連携普及事業 来館園児・生徒を対象とした実技・鑑賞のプログラムと、学芸員が学校で行う出張美術講座など | 年140回 |

(2) 講座・講演会等を充実します

- ・企画展に合わせ、創意工夫を凝らした講演会を開催する。
- ・収蔵品展や企画展の美術講座及びフロアレクチャー等を実施する。

(3) 地域住民、企業、NPO等と連携した美術館活動を充実します

- ・地域住民、友の会等と連携した催事を充実する。
- ・「ムセイオン静岡」を定期的で開催し、市内文化施設 6 機関の連携を深めるとともに、共催による企画展（「未来にのこしたい静岡の宝」）を開催する。
- ・ボランティアによる地域連携活動を支援し推進する。
- ・NPOとの連携についての可能性を模索する。

【館長公約C】

戦略的な広報を展開し、情報発信に努めます

(1) 広報戦略を策定し、広報の質を高めます

- ・企画展毎に総務課・学芸課のチームづくりを推進し、マーケティングによる効果的な広報に努める。
- ・富士山静岡空港の就航先等と連携した広報を展開する。

(2) 観光などとの連携や新たな広報チャンネルの開拓に取り組みます

- ・県文化・観光部を中心として、観光諸団体との連携を進める。
- ・企画展及びイベントの内容に応じて効果的な告知先を検討・変更する。

(3) ロダン館の認知度を高め、来館者を増やします

- ・県文化・観光部と連携し、ロダン館の観光ルート化に向けた取組を行う。
- ・観光ルート化モデル事業「夕暮れロダンツアー」を定期化し、ロダン館の観光ルート化に取り組む。

【館長公約D】

施設の改修を推進し、美術館のアメニティを高めていきます

(1) 館内施設を充実し、満足度を高めます

- ・レストラン・カフェのメニューの刷新及び更なるサービス改善に努める。

(2) 周辺環境やアクセス環境の向上を進めます

- ・美術館の将来構想や周辺環境の整備について検討する。

平成 21 年度
取組方針に対する結果について

- (注) 「平成 21 年度取組方針に対する結果について」は、平成 22 年度第 2 回静岡県立美術館第三者評価委員会（平成 23 年 2 月 10 日開催）の際に委員の指摘を受け、自己評価報告書の追加報告として作成された。（平成 21 年度取組方針については、41 ページ参照）

平成 21 年度取組方針に対する結果

1 収蔵品展の充実

開館以来収集に努めてきた狩野派コレクションに新出作品を加えて、一堂に展示する「狩野派の世界 2009」展を開催し、狩野派の先祖が伊豆地方出身であること、狩野派が駿 府の絵画制作を担当していたことなどを紹介したことで、本県に優れた芸術的土壌が存在することを改めて示すことができた。同展は、12,809 人(見込:15,000 人)の観覧者にご覧いただいた。

また年間を通じた収蔵品展【別表 1】においても、担当学芸員が様々な工夫をこらしたことで、18,042 人(見込:15,000 人)に観覧いただき、多くの来館者にコレクションの鑑賞機会を提供することができた。

【別表 1 平成 21 年度 収蔵品展】

| 展覧会名 | 期 間 | 展示する収蔵作品など |
|-----------------------|-----------|----------------------------|
| 新収蔵品展 | 3/31～5/15 | 狩野探信守道《井手玉川・大堰川図屏風》ほか |
| 石田徹也展と静岡県ゆかりの画家 | 3/31～5/17 | |
| 体で感じるアート | 5/26～7/5 | 草間彌生《水上の蛍》ほか |
| クレーの時代の日本洋画 | 7/7～9/6 | 長谷川潔《南仏風景》ほか |
| ランドスケープ・ペインティング [西洋編] | 9/8～11/8 | クロード・ロラン《笛を吹く人物のいる牧歌的風景》ほか |

2 展覧会企画と戦略的広報

当館の自主企画展としては、「静岡の美術Ⅸ 柳澤紀子展」を開催した。柳澤紀子の全貌を紹介した全国初の本格的展覧会とすることができた。またロダン館での展示を試み、ロダン作品とのコラボレーションを行うなど当館ならではの工夫も行った。

年間の展覧会全体を通じての「作品やテーマに興味を持った人の割合」は、80.9%と高く、また「展覧会における新規来館者の割合」は、21.4%と目標(20.0%)を達成した。

戦略的広報については、展覧会ごとに学芸課・総務課によりチームを作り、マーケティングによる戦略的広報に努めたが、静岡県立美術館を全国的に PR する方策を講じるには至らなかった。

【別表 2 平成 21 年度 展覧会】

| 展 覧 会 名 | | 期 間 |
|----------------------------|----------------|--------------------|
| 企 画 展 | よみがえる黄金文明展 | 4/11～ 5/15 (31 日間) |
| | 静岡の美術Ⅸ 柳澤紀子展 | 5/26～ 7/5 (36 日間) |
| | バウル・クレーー東洋への夢展 | 7/14～8/30 (42 日間) |
| | 特集 狩野派の世界展 | 9/10～10/18 (35 日間) |
| 第 24 回国民文化祭 美術展 (洋画・彫刻・造形) | | 10/24～11/8 (14 日間) |
| 収蔵品展 | | 年 間 |
| 静岡県立美術館・浜松市美術館合同企画展 | | 4/18～5/17 |
| 移動美術展(佐野美) | | 1/5～2/14 |
| 移動美術展(掛川) | | 2/20～3/28 |

3 ボランティアの組織改革への取組

開館以来、活動を継続してきたボランティア活動であるが、近年、活動がやや停滞し、またボランティアのモチベーションも下がりつつあった。平成 18 年度以降グループ活

動強化などのボランティア改革を行ってきたが、本年はその集大成として、工事休館期間を利用した抜本的な組織改革と再募集を行った。

再募集にあたって、ボランティアの活動方針を<来館者サービスの充実、美術館運営支援、地域連携の推進>と定め、これに沿って6つのグループ活動を設定した。また、新たに任期制（3年間）を導入して活動の活性化を促す仕組みを取り入れるとともに、活動頻度を従来よりも高く設定することで、美術館活動への理解を深め、かつ経験の蓄積を効率的にし、活動の質の向上を図ることとした。

面接選考と研修を経て118名が新ボランティアとして登録し、平成22年4月から活動を始める。

来館者に対するサービスの向上等、評価指標への反映については、今後その結果を分析する必要がある。

<ボランティア活動人数の推移>

| | | | | | |
|----------|---------|----------|---------|----------|---------|
| 昭和 61 年度 | — 350 名 | 平成元年度 | — 317 名 | 平成 18 年度 | — 278 名 |
| 平成 19 年度 | — 241 名 | 平成 20 年度 | — 227 名 | 平成 21 年度 | — 211 名 |
| 平成 22 年度 | — 118 名 | | | | |

平成 21 年度

静岡県立美術館評価業務 報告書

- 1 評価業務の概要
- 2 「美術館カルテ」に関する現状値
- 3 展覧会アンケートの結果
- 4 その他アンケートの結果

(注) 「平成 21 年度静岡県立美術館評価業務 報告書」は、平成 22 年度第 1 回静岡県立美術館第三者評価委員会（平成 22 年 7 月 28 日開催）の資料として作成・公表された。

1 評価業務の概要

本業務は、静岡県立美術館評価委員会による提言『評価と経営の確立に向けて』（平成 17 年 3 月）に示された目標管理システム「美術館カルテ」の運用における評価指標測定の一部となるものである。

本業務では、(1) および (2) において、評価指標測定のために実施されるアンケート調査の回収データを集計・分析している。

また、(3) において、評価指標や自由記載意見をもとに今後検討を進める際の補足とするため、グループ・インタビューを実施している。

(1) 展覧会のアンケート調査

- 1) よみがえる黄金文明展
ーブルガリアに眠る古代トラキアの秘宝ー
4月11日（土）～5月15日（金）
- 2) 静岡の美術 IX 柳澤紀子展
5月26日（火）～7月5日（日）
- 3) パウル・クレー 東洋への夢
7月14日（火）～8月30日（日）
- 4) 特集 狩野派の世界 2009
9月10日（木）～10月18日（日）

(2) その他のアンケート調査

- 1) 教育・普及プログラム
 - ・粘土開放日
 - ・絵の具開放日
 - ・工作アトリエ
 - ・色彩アトリエスペシャル
 - ・実技講座
 - ・版画入門
 - ・ロダン館デッサンスペシャル
 - ・創作週間スペシャル
- 2) レストラン
- 3) ミュージアム・ショップ
- 4) 図書閲覧室
- 5) 県立美術館ホームページ

(3) グループ・インタビュー

静岡市内美術館の学芸員に対するグループ・インタビュー

2 「美術館カルテ」に関する現状値

「美術館カルテ」の指標について、平成21年度アンケート調査の測定結果集計は以下のとおりとなる。

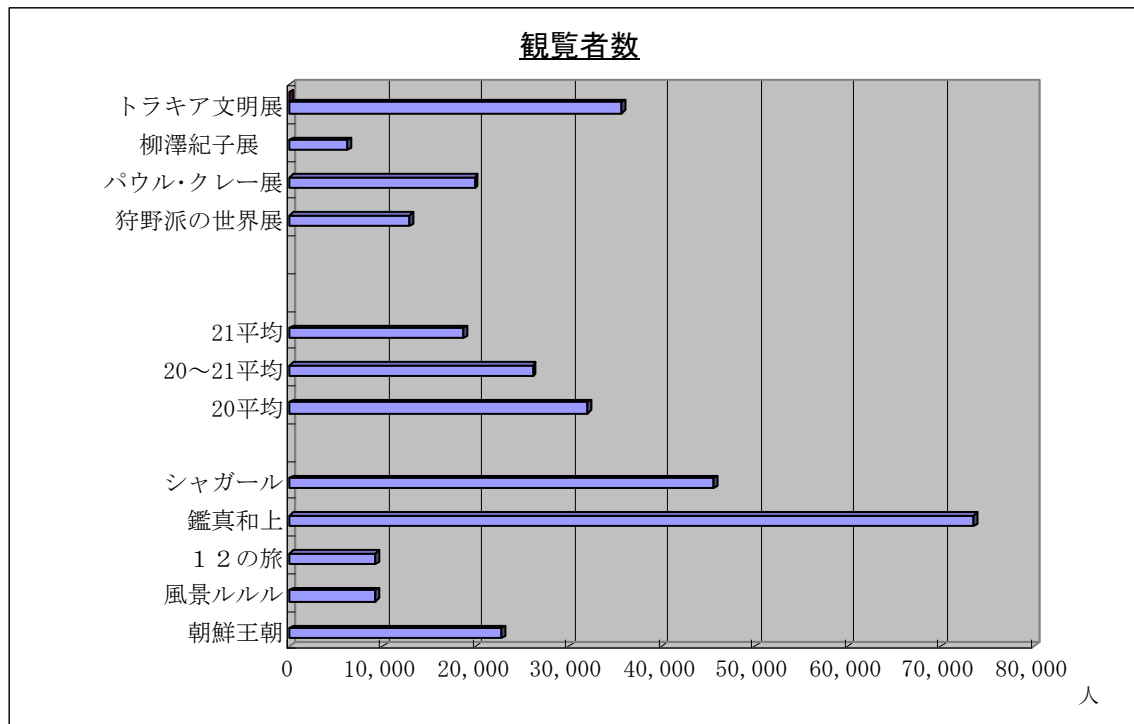
「美術館カルテ」に関する現状値

| | H20実績 (%) | 今回測定値 | 展覧会 | | | |
|---------------------|--------------|-------|-------|-------|---------|--------|
| | | | トラキア | 柳澤紀子 | パウル・クレー | 狩野派の世界 |
| A | | | | | | |
| 展覧会のリピート率% | 82.7 | 78.6% | 88.9% | 76.9% | 79.3% | 69.4% |
| 展覧会の満足度% | 67.4 | 65.1% | 79.7% | 63.3% | 50.6% | 66.7% |
| 同 新指標 | 89.9 | 86.8% | 93.5% | 85.4% | 76.8% | 91.3% |
| 教育・普及プログラムの満足度% | 83.7 | 88.2% | | | | |
| 同 新指標 | 97.8 | 96.9% | | | | |
| 実技プログラム参加者の展覧会観覧割合% | 41.8 | 47.6% | | | | |
| 鑑賞環境に対する満足度% | 87.4 | 84.4% | 82.8% | 87.6% | 79.7% | 87.6% |
| B | | | | | | |
| 風景の美術館としての認知度% | 22.9 | 24.8% | 26.6% | 27.5% | 19.1% | 25.8% |
| C | | | | | | |
| 情報が「入手しやすい」とする方の割合% | 69.8 | 66.5% | 74.7% | 61.5% | 70.8% | 58.8% |
| 公共交通機関のアクセス満足度% | 76.4 | 78.0% | 83.8% | 75.4% | 74.1% | 78.9% |
| 自家用車のアクセス満足度% | 80.7 | 75.8% | 78.6% | 74.4% | 81.5% | 68.7% |
| スタッフの対応に満足した人の割合% | 82.5 | 79.0% | 77.3% | 83.9% | 75.0% | 79.9% |
| ロダン館、エントランスの催事の満足度% | 92.3 | - | | | | |
| レストランの満足度% | 54.5 | 68.8% | | | | |
| ミュージアムショップの満足度% | 80.6 | 84.8% | | | | |
| D | | | | | | |
| ボランティアの満足度% | 54.6 | - | | | | |
| 友の会会員の満足度% | - | - | | | | |
| HPの満足度% | 74.3 | 71.9% | | | | |
| 図書閲覧室の満足度% | 77.8 | 85.8% | | | | |
| 展覧会における新規観覧者の割合% | 17.3 | 21.4% | 11.1% | 23.1% | 20.7% | 30.6% |
| 展覧会における新規観覧者の満足度% | 74.2 | 71.2% | 82.2% | 75.8% | 59.4% | 67.3% |
| 同 新指標 | 91.9 | 92.8% | 93.3% | 95.6% | 87.5% | 94.6% |
| 地域別の利用者数の割合 東部 | 15.9 | 16.8% | 20.2% | 16.3% | 16.6% | 14.0% |
| 中部 | 60.0 | 54.4% | 61.4% | 54.1% | 53.4% | 48.9% |
| 西部 | 15.0 | 15.2% | 13.1% | 15.2% | 16.6% | 15.7% |
| 県外 | 9.2 | 13.6% | 5.3% | 14.5% | 13.4% | 21.3% |
| 2世代・3世代一緒に観覧に来た割合% | 26.0 | 29.6% | 32.2% | 18.2% | 41.2% | 26.7% |

3 展覧会アンケートの結果

(1) 調査票の回収状況

| | 観覧者数(A) | 回収数(B) | 回収率 |
|----------|---------|--------|------|
| トラキア文明展 | 35,740 | 414 | 1.2% |
| 柳澤紀子展 | 6,129 | 296 | 4.8% |
| パウル・クレー展 | 19,878 | 476 | 2.4% |
| 狩野派の世界展 | 12,809 | 188 | 1.5% |
| | | | |
| 21平均 | 18,639 | 344 | 1.8% |
| 20～21平均 | 26,126 | 378 | 1.4% |
| 20平均 | 32,116 | 405 | 1.3% |
| | | | |
| シャガール | 45,568 | 522 | 1.1% |
| 鑑真和上 | 73,639 | 562 | 0.8% |
| 1 2の旅 | 9,262 | 255 | 2.8% |
| 風景ルルル | 9,302 | 311 | 3.3% |
| 朝鮮王朝 | 22,807 | 375 | 1.6% |



(2) 観覧者（回答者）の属性

1) 性別

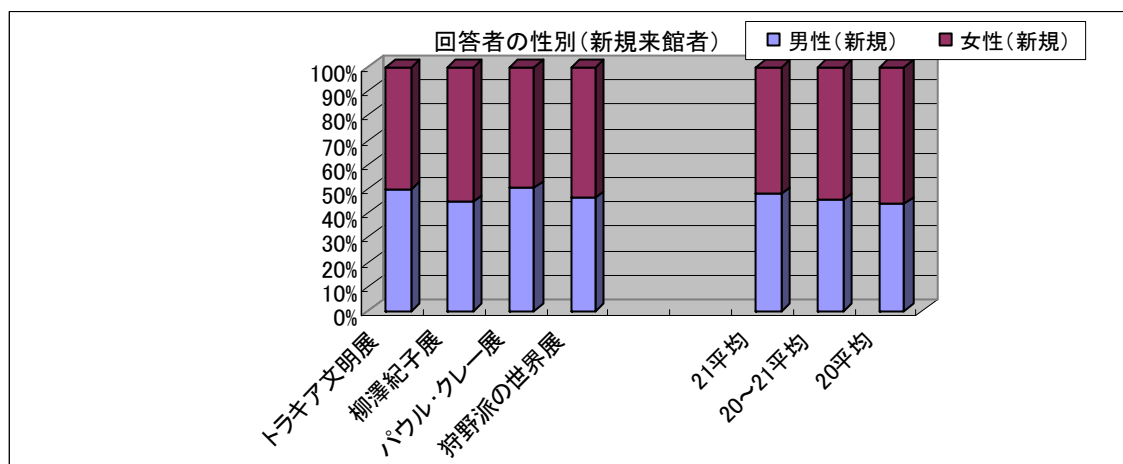
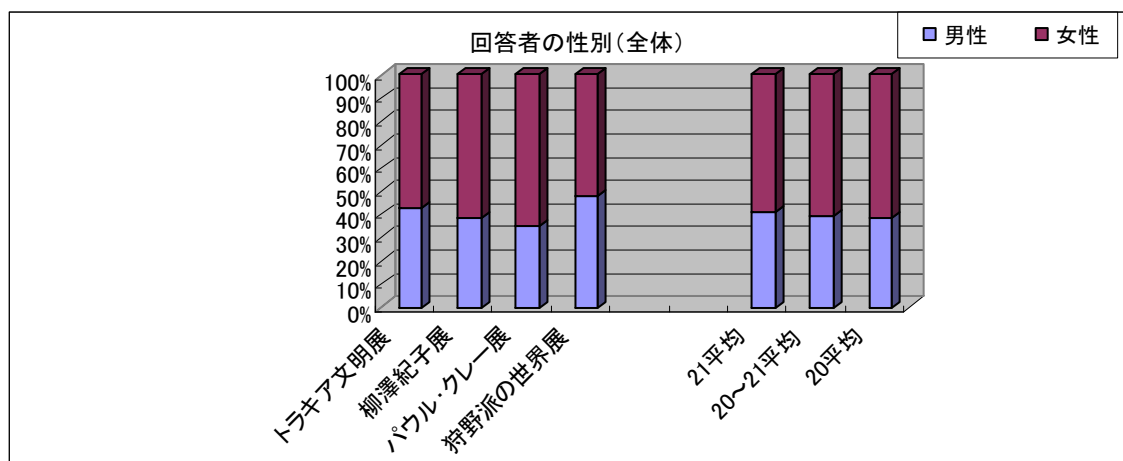
回答者の性別（全体）

| | 男性 | 女性 |
|-----------|-------|-------|
| トラキア文明展 | 42.3% | 57.7% |
| 柳澤紀子展 | 38.1% | 61.9% |
| パウル・クレール展 | 34.8% | 65.2% |
| 狩野派の世界展 | 48.1% | 51.9% |
| | | |
| 21平均 | 40.8% | 59.2% |
| 20～21平均 | 39.4% | 60.6% |
| 20平均 | 38.2% | 61.8% |
| | | |
| シャガール | 34.4% | 65.6% |
| 鑑真和上 | 44.5% | 55.5% |
| 12の旅 | 36.1% | 63.9% |
| 風景ルルル | 35.3% | 64.7% |
| 朝鮮王朝 | 40.8% | 59.2% |

回答者の性別（新規来館者）

| | 男性（新規） | 女性（新規） |
|-----------|--------|--------|
| トラキア文明展 | 50.0% | 50.0% |
| 柳澤紀子展 | 44.8% | 55.2% |
| パウル・クレール展 | 50.5% | 49.5% |
| 狩野派の世界展 | 46.4% | 53.6% |
| | | |
| 21平均 | 47.9% | 52.1% |
| 20～21平均 | 45.8% | 54.2% |
| 20平均 | 44.1% | 55.9% |
| | | |
| シャガール | 56.1% | 43.9% |
| 鑑真和上 | 42.1% | 57.9% |
| 12の旅 | 36.8% | 63.2% |
| 風景ルルル | 39.7% | 60.3% |
| 朝鮮王朝 | 45.8% | 54.2% |

男女比率は、男性：女性＝41：59 となった。平成 20 年度（男性：女性＝38：62）、平成 19 年度（男性：女性＝42：58）となっており、例年通り女性の比率が高い傾向にある。展覧会別では、「パウル・クレール展」の女性比率が比較的高い。



2) 年齢層

回答者の年齢（全体）

| | 12歳以下 | 13～19歳 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代以上 | 計 |
|----------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| トラキア文明展 | 2.5% | 2.9% | 7.6% | 10.3% | 13.5% | 23.8% | 24.0% | 15.4% | 100% |
| 柳澤紀子展 | 1.4% | 9.2% | 18.4% | 11.6% | 12.9% | 19.0% | 18.7% | 8.8% | 100% |
| パウル・クレー展 | 2.8% | 9.2% | 14.9% | 16.2% | 22.6% | 20.3% | 9.4% | 4.7% | 100% |
| 狩野派の世界展 | 1.6% | 13.0% | 17.8% | 7.6% | 10.8% | 23.2% | 15.7% | 10.3% | 100% |
| | | | | | | | | | |
| 21平均 | 2.1% | 8.6% | 14.7% | 11.4% | 15.0% | 21.6% | 16.9% | 9.8% | 100% |
| 20～21平均 | 2.3% | 7.4% | 16.2% | 12.0% | 14.8% | 20.7% | 17.3% | 9.2% | 100% |
| 20平均 | 2.5% | 6.5% | 17.4% | 12.5% | 14.7% | 20.1% | 17.6% | 8.8% | 100% |
| | | | | | | | | | |
| シャガール | 2.1% | 3.9% | 13.8% | 11.5% | 17.3% | 19.3% | 20.4% | 11.7% | 100% |
| 鑑真和上 | 5.5% | 6.9% | 7.4% | 8.3% | 11.9% | 21.8% | 25.8% | 12.4% | 100% |
| 1 2の旅 | 2.8% | 8.8% | 22.3% | 14.3% | 17.9% | 16.3% | 11.2% | 6.4% | 100% |
| 風景ルルル | 0.3% | 10.5% | 37.9% | 18.0% | 10.5% | 12.1% | 6.5% | 4.2% | 100% |
| 朝鮮王朝 | 1.6% | 2.7% | 5.6% | 10.5% | 15.8% | 30.8% | 23.9% | 9.1% | 100% |

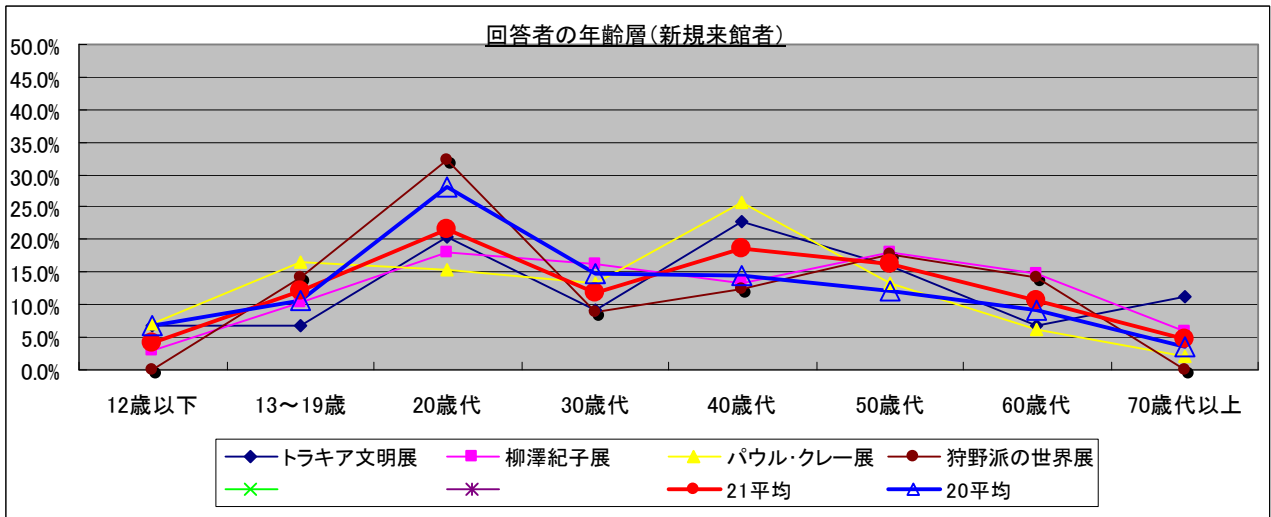
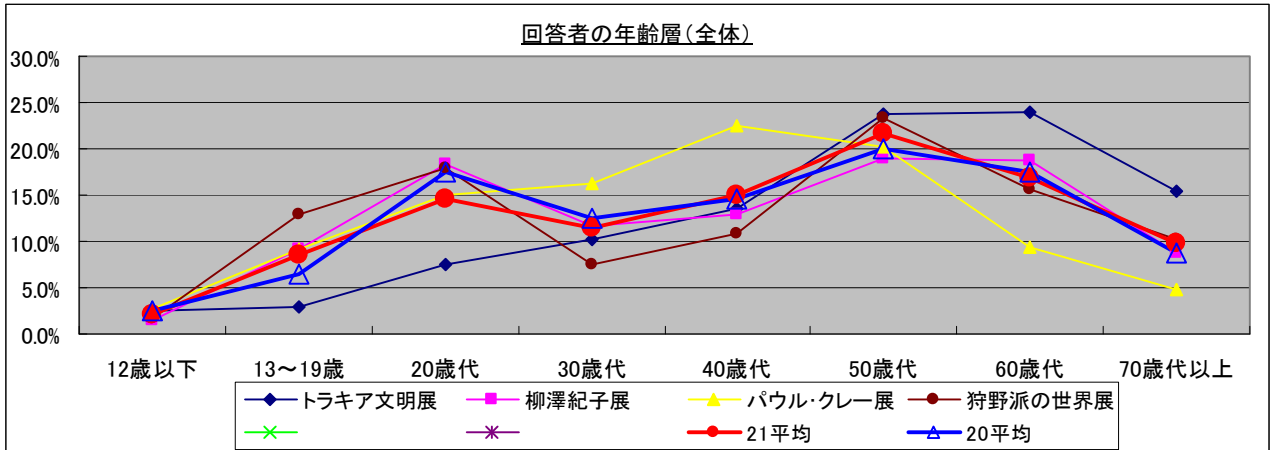
回答者の年齢（新規来館者）

| | 12歳以下 | 13～19歳 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代以上 | 計 |
|----------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|------|
| トラキア文明展 | 6.8% | 6.8% | 20.5% | 9.1% | 22.7% | 15.9% | 6.8% | 11.4% | 100% |
| 柳澤紀子展 | 3.0% | 10.4% | 17.9% | 16.4% | 13.4% | 17.9% | 14.9% | 6.0% | 100% |
| パウル・クレー展 | 7.2% | 16.5% | 15.5% | 13.4% | 25.8% | 13.4% | 6.2% | 2.1% | 100% |
| 狩野派の世界展 | 0.0% | 14.3% | 32.1% | 8.9% | 12.5% | 17.9% | 14.3% | 0.0% | 100% |
| | | | | | | | | | |
| 21平均 | 4.3% | 12.0% | 21.5% | 12.0% | 18.6% | 16.3% | 10.6% | 4.8% | 100% |
| 20～21平均 | 5.7% | 11.3% | 25.2% | 13.6% | 16.2% | 14.0% | 9.8% | 4.2% | 100% |
| 20平均 | 6.8% | 10.7% | 28.2% | 14.9% | 14.4% | 12.3% | 9.2% | 3.6% | 100% |
| | | | | | | | | | |
| シャガール | 3.5% | 12.3% | 29.8% | 15.8% | 17.5% | 10.5% | 5.3% | 5.3% | 100% |
| 鑑真和上 | 17.9% | 10.5% | 13.7% | 13.7% | 8.4% | 14.7% | 12.6% | 8.4% | 100% |
| 1 2の旅 | 7.9% | 13.2% | 34.2% | 15.8% | 13.2% | 10.5% | 5.3% | 0.0% | 100% |
| 風景ルルル | 0.0% | 14.1% | 50.0% | 19.2% | 6.4% | 2.6% | 6.4% | 1.3% | 100% |
| 朝鮮王朝 | 4.9% | 3.3% | 13.1% | 9.8% | 26.2% | 23.0% | 16.4% | 3.3% | 100% |

全体的には、40～60歳代をピークに、20歳代が続き、30歳代が低調という傾向になっている。

展覧会別では、ピークに特徴が見られ、「パウル・クレー展」が40歳代、「柳澤紀子展」「狩野派の世界展」が50歳代、「トラキア文明展」が60歳代となっている。

新規来館者では、「パウル・クレー展」の19歳以下の割合が他の展覧会と比較して高くなっており、観覧料無料化の影響が現れているといえる。



3) 居住地

回答者の居住地（全体）

| | 静岡市 | 中部（静岡除く） | 西部 | 東部 | 賀茂 | 県外 | |
|----------|-------|----------|-------|-------|------|-------|------|
| トラキア文明展 | 46.2% | 15.2% | 13.1% | 19.7% | 0.5% | 5.3% | 100% |
| 柳澤紀子展 | 45.9% | 8.1% | 15.2% | 15.9% | 0.4% | 14.5% | 100% |
| パウル・クレー展 | 42.2% | 11.2% | 16.6% | 16.4% | 0.2% | 13.4% | 100% |
| 狩野派の世界展 | 40.4% | 8.4% | 15.7% | 14.0% | 0.0% | 21.3% | 100% |
| | | | | | | | |
| 21平均 | 43.7% | 10.7% | 15.2% | 16.5% | 0.3% | 13.6% | 100% |
| 20～21平均 | 44.2% | 13.3% | 15.1% | 16.0% | 0.3% | 11.2% | 100% |
| 20平均 | 44.6% | 15.4% | 15.0% | 15.5% | 0.4% | 9.2% | 100% |
| | | | | | | | |
| シャガール | 46.9% | 18.0% | 15.8% | 16.4% | 0.0% | 3.0% | 100% |
| 鑑真和上 | 40.3% | 15.7% | 18.2% | 20.2% | 0.0% | 5.6% | 100% |
| 12の旅 | 50.8% | 17.5% | 10.6% | 14.2% | 1.2% | 5.7% | 100% |
| 風景ルルル | 43.5% | 15.0% | 15.0% | 10.9% | 0.0% | 15.6% | 100% |
| 朝鮮王朝 | 41.4% | 11.0% | 15.3% | 15.9% | 0.5% | 15.9% | 100% |

回答者の居住地（新規来館者）

| | 静岡市 | 中部（静岡除く） | 西部 | 東部 | 賀茂 | 県外 | |
|----------|-------|----------|-------|-------|------|-------|------|
| トラキア文明展 | 11.4% | 22.7% | 18.2% | 20.5% | 2.3% | 25.0% | 100% |
| 柳澤紀子展 | 23.0% | 3.3% | 14.8% | 13.1% | 0.0% | 45.9% | 100% |
| パウル・クレー展 | 27.7% | 7.4% | 9.6% | 21.3% | 0.0% | 34.0% | 100% |
| 狩野派の世界展 | 24.4% | 9.8% | 24.4% | 12.2% | 0.0% | 29.3% | 100% |
| | | | | | | | |
| 21平均 | 21.6% | 10.8% | 16.7% | 16.8% | 0.6% | 33.6% | 100% |
| 20～21平均 | 20.5% | 10.4% | 19.2% | 16.6% | 0.6% | 32.7% | 100% |
| 20平均 | 19.6% | 10.1% | 21.2% | 16.5% | 0.6% | 32.1% | 100% |
| | | | | | | | |
| シャガール | 26.0% | 8.0% | 26.0% | 22.0% | 0.0% | 18.0% | 100% |
| 鑑真和上 | 23.3% | 13.3% | 17.8% | 24.4% | 0.0% | 21.1% | 100% |
| 12の旅 | 22.9% | 14.3% | 17.1% | 17.1% | 2.9% | 25.7% | 100% |
| 風景ルルル | 13.7% | 9.6% | 26.0% | 6.8% | 0.0% | 43.8% | 100% |
| 朝鮮王朝 | 12.1% | 5.2% | 19.0% | 12.1% | 0.0% | 51.7% | 100% |

居住地構成は、静岡市：中部：西部：東部：県外＝44：11：15：17：14 となっている。

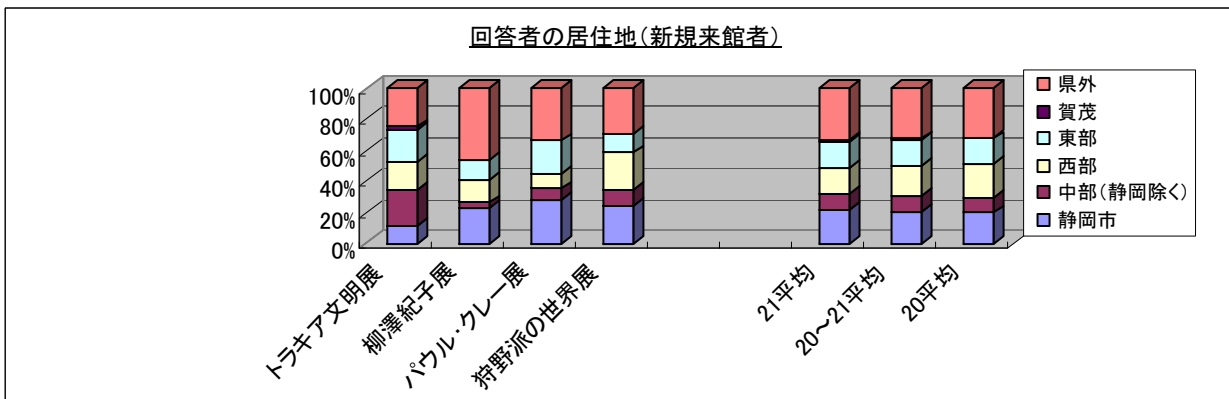
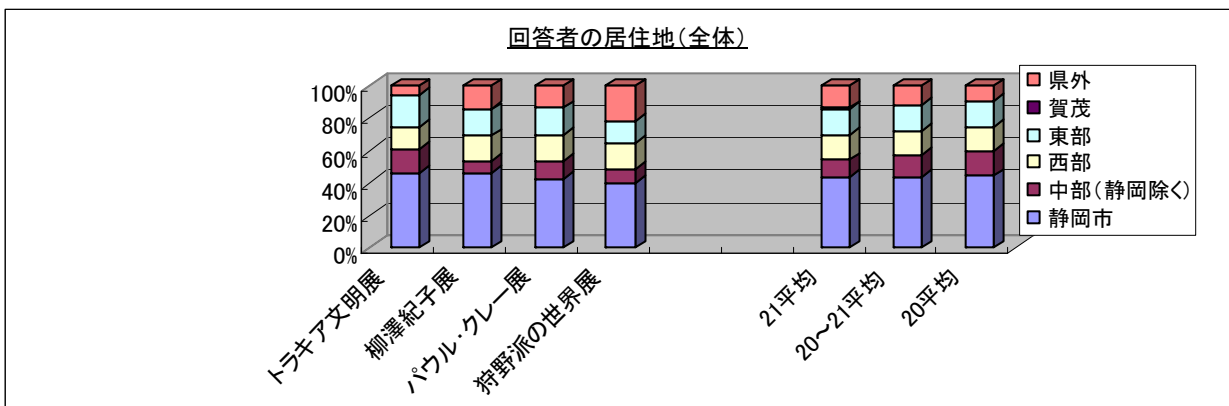
平成20年度（静岡市：中部：西部：東部：県外＝45：15：15：16：9）に比べて、県外の割合が上昇し、中部（静岡市除く）の割合が減少した。展覧会別では、地域的特徴が見られ「トラキア文明」が中部と東部、「狩野派の世界」が県外で割合が高まっている。

本設問は「美術館カルテ」の「地域別の利用者数の割合」指標に対応している。

| 市内 | 県内 | 県外 |
|-------|-------|-------|
| 46.2% | 48.5% | 5.3% |
| 45.9% | 39.6% | 14.5% |
| 42.2% | 44.4% | 13.4% |
| 40.4% | 38.2% | 21.3% |
| | | |
| | | |
| 43.7% | 42.7% | 13.6% |
| 44.2% | 44.7% | 11.2% |
| 44.6% | 46.3% | 9.2% |
| | | |
| 46.9% | 50.1% | 3.0% |
| 40.3% | 54.1% | 5.6% |
| 50.8% | 43.5% | 5.7% |
| 43.5% | 40.8% | 15.6% |
| 41.4% | 42.7% | 15.9% |

「美術館カルテ」

| 東部 | 中部 | 西部 | 県外 |
|-------|-------|-------|-------|
| 20.2% | 61.4% | 13.1% | 5.3% |
| 16.3% | 54.1% | 15.2% | 14.5% |
| 16.6% | 53.4% | 16.6% | 13.4% |
| 14.0% | 48.9% | 15.7% | 21.3% |
| | | | |
| | | | |
| 16.8% | 54.4% | 15.2% | 13.6% |
| 16.3% | 57.5% | 15.1% | 11.2% |
| 15.9% | 60.0% | 15.0% | 9.2% |
| | | | |
| 16.4% | 64.9% | 15.8% | 3.0% |
| 20.2% | 55.9% | 18.2% | 5.6% |
| 15.4% | 68.3% | 10.6% | 5.7% |
| 10.9% | 58.5% | 15.0% | 15.6% |
| 16.4% | 52.3% | 15.3% | 15.9% |



(3) 観覧者（回答者）の行動

1) 来館回数

来館回数（全体）「美術館カルテ」

| | 「美術館カルテ」 | | | | | | 「美術館カルテ」 | |
|----------|----------|-------|-------|-------|-------|-------|----------|-------|
| | 初めて | 2回目 | 3-5回 | 6-9回 | 10回以上 | 20回以上 | 計 | リピート率 |
| トラキア文明展 | 11.1% | 7.7% | 20.6% | 16.5% | 24.0% | 20.1% | 100% | 88.9% |
| 柳澤紀子展 | 23.1% | 7.8% | 21.1% | 9.5% | 15.6% | 22.8% | 100% | 76.9% |
| パウル・クレー展 | 20.7% | 9.6% | 22.2% | 13.2% | 21.5% | 12.8% | 100% | 79.3% |
| 狩野派の世界展 | 30.6% | 12.4% | 17.2% | 11.8% | 15.6% | 12.4% | 100% | 69.4% |
| | | | | | | | | |
| 21平均 | 21.4% | 9.4% | 20.3% | 12.8% | 19.2% | 17.0% | 100% | 78.6% |
| 20~21平均 | 19.1% | 9.5% | 20.3% | 13.2% | 20.2% | 17.6% | 100% | 80.9% |
| 20平均 | 17.3% | 9.7% | 20.3% | 13.6% | 21.1% | 18.1% | 100% | 82.7% |
| | | | | | | | | |
| シャガール | 11.4% | 7.2% | 19.7% | 16.8% | 24.0% | 20.9% | 100% | 88.6% |
| 鑑真和上 | 17.1% | 10.6% | 21.1% | 13.9% | 22.9% | 14.4% | 100% | 82.9% |
| 12の旅 | 15.9% | 9.1% | 17.9% | 17.9% | 19.4% | 19.8% | 100% | 84.1% |
| 風景ルルル | 25.2% | 11.3% | 20.4% | 10.0% | 20.1% | 12.9% | 100% | 74.8% |
| 朝鮮王朝 | 16.6% | 10.1% | 22.3% | 9.5% | 19.1% | 22.3% | 100% | 83.4% |

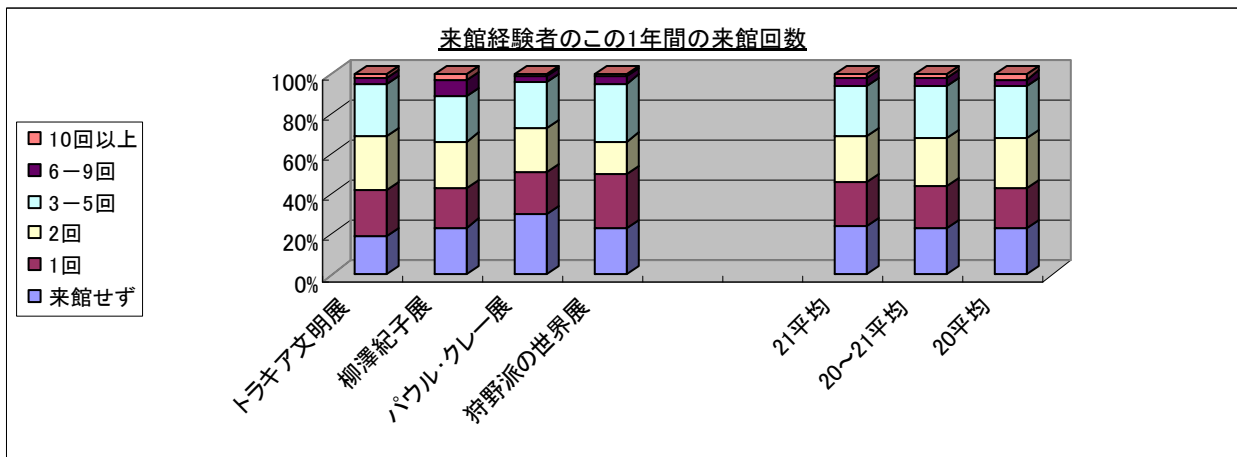
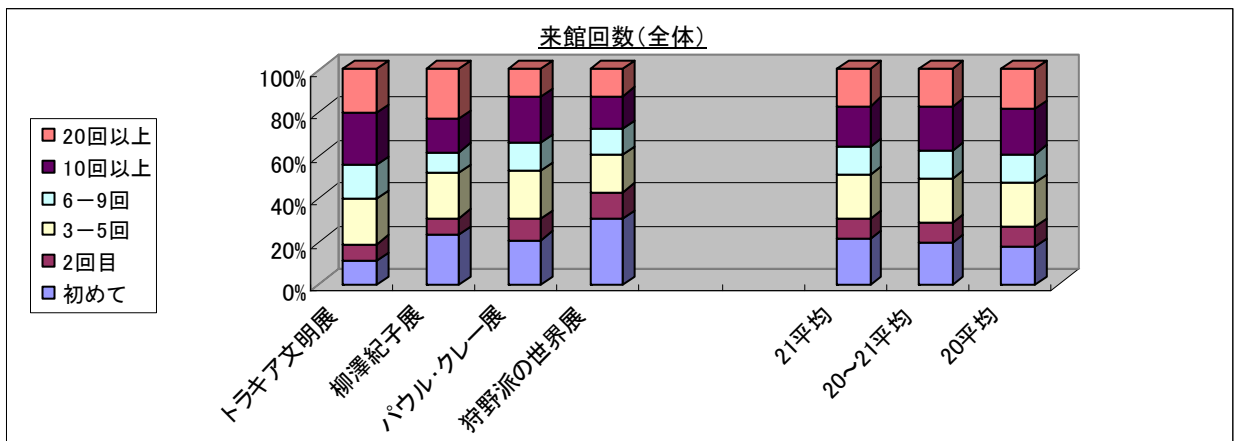
来館経験者のこの1年間の来館回数

| | 来館せず | 1回 | 2回 | 3-5回 | 6-9回 | 10回以上 | 計 |
|----------|-------|-------|-------|-------|------|-------|--------|
| トラキア文明展 | 19.5% | 22.1% | 27.5% | 25.5% | 3.1% | 2.3% | 100% |
| 柳澤紀子展 | 23.6% | 19.1% | 23.6% | 22.3% | 7.7% | 3.6% | 100% |
| パウル・クレー展 | 29.9% | 20.9% | 21.7% | 23.4% | 3.0% | 1.1% | 100% |
| 狩野派の世界展 | 23.2% | 26.4% | 16.8% | 28.8% | 3.2% | 1.6% | 100% |
| | | | | | | | |
| 21平均 | 24.1% | 22.1% | 22.4% | 25.0% | 4.3% | 2.2% | 100.0% |
| 20~21平均 | 23.4% | 21.0% | 23.7% | 25.4% | 4.0% | 2.5% | 100.0% |
| 20平均 | 22.9% | 20.1% | 24.7% | 25.7% | 3.7% | 2.8% | 100.0% |
| | | | | | | | |
| シャガール | 24.5% | 23.4% | 24.7% | 23.1% | 2.9% | 1.3% | 100% |
| 鑑真和上 | 26.9% | 20.9% | 26.9% | 21.6% | 2.0% | 1.8% | 100% |
| 12の旅 | 17.4% | 19.8% | 22.2% | 33.8% | 3.4% | 3.4% | 100% |
| 風景ルルル | 21.4% | 15.3% | 27.5% | 26.6% | 5.2% | 3.9% | 100% |
| 朝鮮王朝 | 24.2% | 21.2% | 22.2% | 23.5% | 5.1% | 3.8% | 100% |

新規来館者の割合は21.4%となっている。これまでの推移は、平成20年度（17.3%）、平成19年度（19.7%）となっている。

展覧会別の新規来館者の割合は、「狩野派の世界展」が30.6%と特に高く、「トラキア文明展」が11.1%と低くなっている。観覧料無料化を実施した「パウル・クレー展」は、19歳以下の新規来館者は増えているものの観覧者全体の平均としては20.7%となった。

本設問は「美術館カルテ」の「展覧会のリピート率、展覧会における新規来館者の割合」指標に対応している。



2) 来館人数

来館人数（全体）

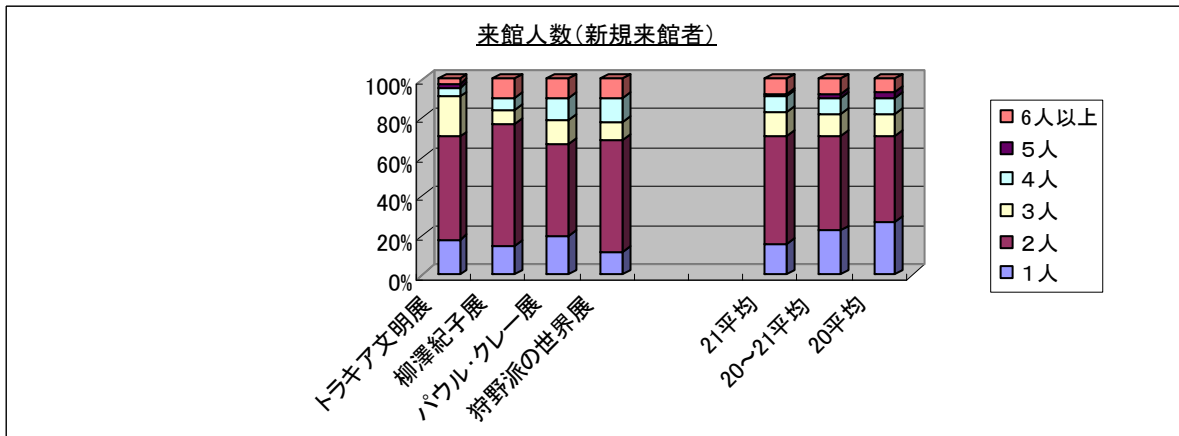
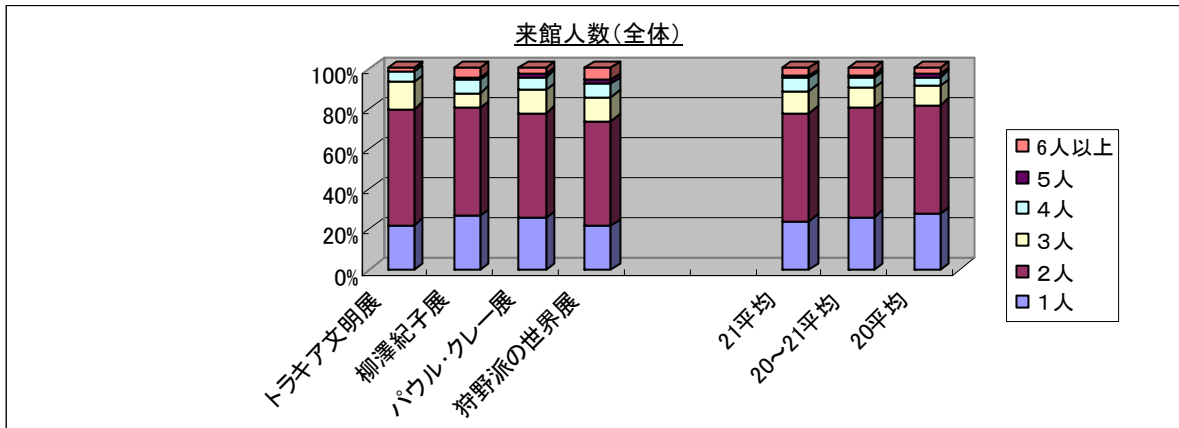
| | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | 6人以上 |
|----------|-------|-------|-------|------|------|------|
| トラキア文明展 | 22.3% | 57.6% | 13.4% | 5.0% | 0.8% | 1.0% |
| 柳澤紀子展 | 26.9% | 53.8% | 7.2% | 6.5% | 0.7% | 5.0% |
| パウル・クレー展 | 25.7% | 52.0% | 11.6% | 6.5% | 1.6% | 2.7% |
| 狩野派の世界展 | 21.4% | 52.4% | 11.9% | 6.5% | 1.8% | 6.0% |
| | | | | | | |
| 21平均 | 24.1% | 53.9% | 11.0% | 6.1% | 1.2% | 3.7% |
| 20～21平均 | 26.0% | 54.1% | 10.3% | 5.1% | 1.3% | 3.2% |
| 20平均 | 27.6% | 54.3% | 9.7% | 4.4% | 1.3% | 2.7% |
| | | | | | | |
| シャガール | 21.5% | 58.6% | 11.6% | 3.8% | 0.4% | 4.0% |
| 鑑真和上 | 21.3% | 51.5% | 11.8% | 8.9% | 3.7% | 2.9% |
| 12の旅 | 29.6% | 57.5% | 7.5% | 5.4% | 0.0% | 0.0% |
| 風景ルルル | 38.7% | 49.2% | 5.9% | 2.0% | 0.3% | 3.9% |
| 朝鮮王朝 | 26.8% | 54.8% | 11.6% | 1.7% | 2.3% | 2.8% |

来館人数（新既来館者）

| | 1人 | 2人 | 3人 | 4人 | 5人 | 6人以上 |
|----------|-------|-------|-------|-------|------|-------|
| トラキア文明展 | 18.2% | 52.3% | 20.5% | 4.5% | 2.3% | 2.3% |
| 柳澤紀子展 | 14.5% | 62.9% | 6.5% | 6.5% | 0.0% | 9.7% |
| パウル・クレー展 | 20.0% | 47.1% | 11.8% | 11.8% | 0.0% | 9.4% |
| 狩野派の世界展 | 11.8% | 56.9% | 9.8% | 11.8% | 0.0% | 9.8% |
| | | | | | | |
| 21平均 | 16.1% | 54.8% | 12.1% | 8.6% | 0.6% | 7.8% |
| 20～21平均 | 22.4% | 48.7% | 11.2% | 8.4% | 2.0% | 7.3% |
| 20平均 | 27.4% | 43.9% | 10.5% | 8.2% | 3.1% | 6.9% |
| | | | | | | |
| シャガール | 26.8% | 39.3% | 8.9% | 8.9% | 1.8% | 14.3% |
| 鑑真和上 | 19.8% | 37.4% | 17.6% | 13.2% | 8.8% | 3.3% |
| 12の旅 | 29.7% | 54.1% | 5.4% | 10.8% | 0.0% | 0.0% |
| 風景ルルル | 34.6% | 50.0% | 3.8% | 2.6% | 1.3% | 7.7% |
| 朝鮮王朝 | 25.9% | 38.9% | 16.7% | 5.6% | 3.7% | 9.3% |

2人での来館が53.9%、1人での来館が24.1%を占める。平成20年度でも、2人での来館が54.3%、1人での来館が27.6%を占め、傾向は変わらない。

新規来館者では2人での来館が54.8%、1人での来館が16.1%を占める。平成20年度でも、2人での来館が43.9%、1人での来館が27.4%を占め、概ね傾向は変わらない。



3) 来館時の同伴者

来館時の同伴者（全体）

| | 配偶者 | 親 | 兄弟姉妹 | 子ども | 祖父母 | 孫 | その他親族 | 友人等 | その他 | 「美術館カルテ」 2・3世代 |
|----------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|------|-------------------|
| トラキア文明展 | 50.5% | 13.6% | 5.4% | 15.9% | 1.7% | 1.0% | 3.4% | 25.8% | 0.7% | 32.2% |
| 柳澤紀子展 | 36.9% | 7.4% | 3.0% | 8.9% | 0.5% | 1.5% | 0.5% | 42.9% | 6.4% | 18.2% |
| パウル・クレー展 | 38.8% | 14.5% | 4.5% | 24.2% | 1.2% | 1.2% | 4.5% | 31.8% | 2.1% | 41.2% |
| 狩野派の世界展 | 35.9% | 14.5% | 8.4% | 9.2% | 1.5% | 1.5% | 4.6% | 37.4% | 3.8% | 26.7% |
| | | | | | | | | | | |
| 21平均 | 40.5% | 12.5% | 5.3% | 14.6% | 1.2% | 1.3% | 3.3% | 34.5% | 3.3% | 29.6% |
| 20～21平均 | 38.5% | 12.7% | 6.2% | 12.9% | 1.1% | 0.9% | 2.3% | 37.1% | 3.6% | 27.6% |
| 20平均 | 36.9% | 12.9% | 6.9% | 11.6% | 0.9% | 0.6% | 1.6% | 39.2% | 3.8% | 26.0% |
| | | | | | | | | | | |
| シャガール | 43.7% | 12.9% | 5.9% | 9.5% | 1.0% | 0.0% | 1.0% | 37.5% | 3.3% | 23.4% |
| 鑑真和上 | 41.3% | 20.5% | 10.9% | 16.3% | 1.2% | 1.5% | 2.7% | 24.8% | 3.7% | 39.6% |
| 12の旅 | 33.3% | 11.9% | 8.9% | 11.3% | 0.0% | 0.0% | 1.8% | 44.0% | 1.8% | 23.2% |
| 風景ルルル | 16.4% | 7.1% | 4.4% | 8.2% | 1.1% | 0.5% | 0.5% | 60.7% | 6.6% | 16.9% |
| 朝鮮王朝 | 49.6% | 11.9% | 4.4% | 12.7% | 1.2% | 1.2% | 2.0% | 29.0% | 3.6% | 27.0% |

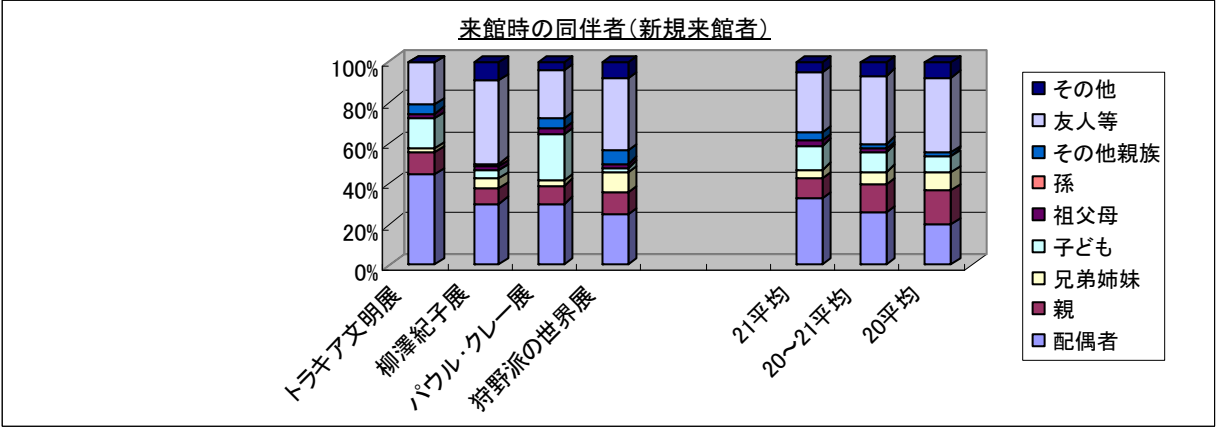
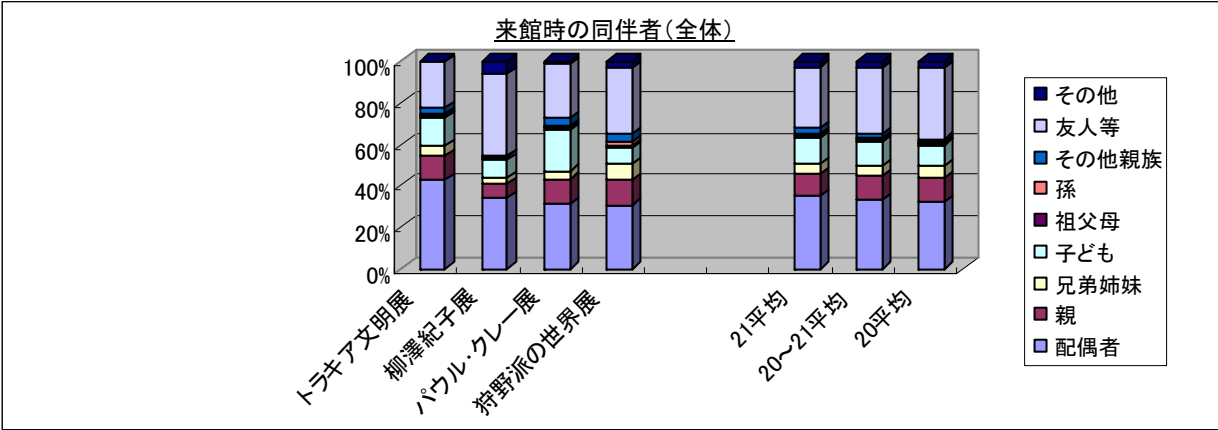
来館時の同伴者（新規来館者）

| | 配偶者 | 親 | 兄弟姉妹 | 子ども | 祖父母 | 孫 | その他親族 | 友人等 | その他 |
|----------|-------|-------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|
| トラキア文明展 | 58.3% | 13.9% | 2.8% | 19.4% | 2.8% | 0.0% | 5.6% | 27.8% | 0.0% |
| 柳澤紀子展 | 32.1% | 7.5% | 5.7% | 3.8% | 1.9% | 1.9% | 0.0% | 43.4% | 9.4% |
| パウル・クレー展 | 40.3% | 11.9% | 3.0% | 29.9% | 4.5% | 0.0% | 6.0% | 31.3% | 6.0% |
| 狩野派の世界展 | 26.7% | 11.1% | 11.1% | 2.2% | 2.2% | 0.0% | 6.7% | 37.8% | 8.9% |
| | | | | | | | | | |
| 21平均 | 39.3% | 11.1% | 5.6% | 13.8% | 2.8% | 0.5% | 4.5% | 35.1% | 6.1% |
| 20～21平均 | 30.8% | 16.4% | 8.2% | 11.5% | 1.7% | 0.2% | 3.0% | 40.3% | 7.9% |
| 20平均 | 24.0% | 20.5% | 10.3% | 9.6% | 0.8% | 0.0% | 1.7% | 44.4% | 9.3% |
| | | | | | | | | | |
| シャガール | 25.0% | 22.5% | 5.0% | 7.5% | 0.0% | 0.0% | 2.5% | 45.0% | 12.5% |
| 鑑真和上 | 31.9% | 37.5% | 19.4% | 15.3% | 1.4% | 0.0% | 1.4% | 22.2% | 6.9% |
| 12の旅 | 15.4% | 19.2% | 15.4% | 7.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 50.0% | 7.7% |
| 風景ルルル | 10.0% | 6.0% | 4.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 2.0% | 70.0% | 12.0% |
| 朝鮮王朝 | 37.5% | 17.5% | 7.5% | 17.5% | 2.5% | 0.0% | 2.5% | 35.0% | 7.5% |

配偶者が40.5%、友人等が34.5%と多数を占める。平成20年度においても配偶者が36.9%、友人等が39.2%であり、このふたつで多数を占める傾向は変わらない。また、新規来場者も同様の傾向となる。

2世代・3世代で一緒に観覧に来ている割合は、「パウル・クレー展」が41.2%と特に高い(21年度平均は29.6%)。子ども同伴の比率に特徴が見られ、観覧料無料化の影響が現れているといえる。

本設問は「美術館カルテ」の「2世代・3世代で一緒に観覧に来ている割合」指標に対応している。



4) 来館のきっかけ

来館のきっかけ（全体） 複数回答

| | ポスター | チラシ | 新聞 | テレビ | 県民だより | 美術館HP | いつも来館 | 誘われて | 一度来たい | たまたま時間 | その他 |
|----------|-------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| トラキア文明展 | 14.0% | 5.8% | 56.3% | 23.4% | 7.5% | 5.3% | 12.1% | 15.7% | 2.4% | 3.9% | 3.9% |
| 柳澤紀子展 | 15.7% | 5.8% | 11.6% | 5.8% | 3.1% | 5.8% | 11.3% | 23.2% | 8.5% | 16.0% | 24.9% |
| パウル・クレー展 | 16.1% | 6.8% | 11.3% | 17.8% | 3.0% | 10.4% | 8.3% | 25.1% | 5.9% | 10.6% | 12.5% |
| 狩野派の世界展 | 14.0% | 5.4% | 13.4% | 4.8% | 2.7% | 13.4% | 14.0% | 19.4% | 9.7% | 11.8% | 15.6% |
| | | | | | | | | | | | |
| 21平均 | 15.0% | 5.9% | 23.1% | 13.0% | 4.1% | 8.7% | 11.4% | 20.8% | 6.6% | 10.6% | 14.2% |
| 20～21平均 | 17.7% | 6.0% | 26.9% | 13.5% | 3.9% | 8.0% | 11.7% | 20.9% | 5.4% | 8.6% | 12.0% |
| 20平均 | 19.9% | 6.1% | 29.9% | 14.0% | 3.8% | 7.5% | 11.9% | 20.9% | 4.3% | 7.0% | 10.2% |
| | | | | | | | | | | | |
| シャガール | 15.0% | 3.5% | 52.8% | 13.5% | 5.0% | 7.1% | 10.0% | 20.2% | 2.5% | 3.5% | 7.3% |
| 鑑真和上 | 17.1% | 6.6% | 54.3% | 18.9% | 5.5% | 5.0% | 10.4% | 17.9% | 2.3% | 2.7% | 7.1% |
| 12の旅 | 24.7% | 5.9% | 6.3% | 3.5% | 1.6% | 11.4% | 14.1% | 18.8% | 5.1% | 14.5% | 11.0% |
| 風景ルルル | 23.2% | 8.7% | 12.3% | 9.0% | 2.6% | 7.4% | 11.6% | 27.1% | 7.1% | 9.4% | 16.5% |
| 朝鮮王朝 | 19.6% | 5.7% | 23.9% | 25.0% | 4.3% | 6.5% | 13.3% | 20.4% | 4.6% | 5.2% | 9.0% |

来館のきっかけ（新規来館者） 複数回答

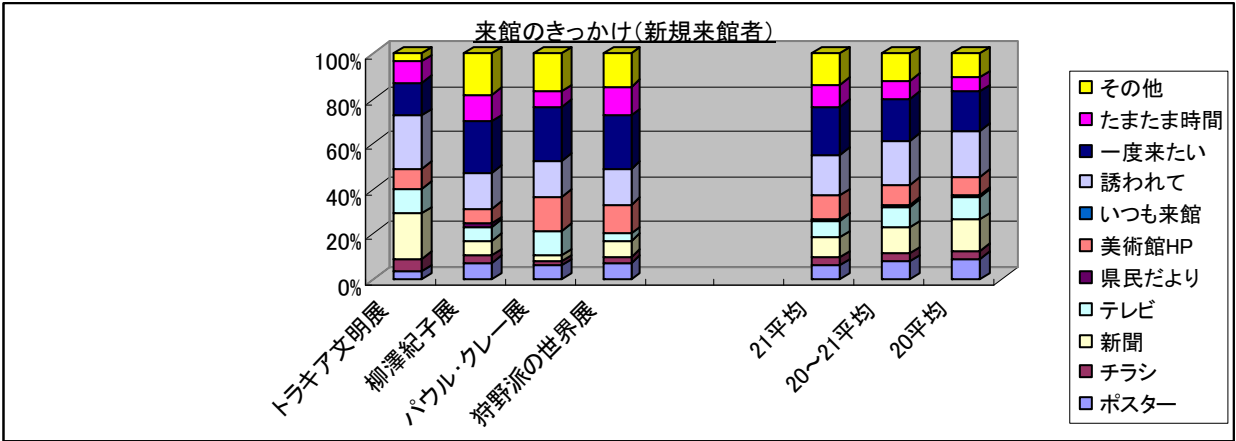
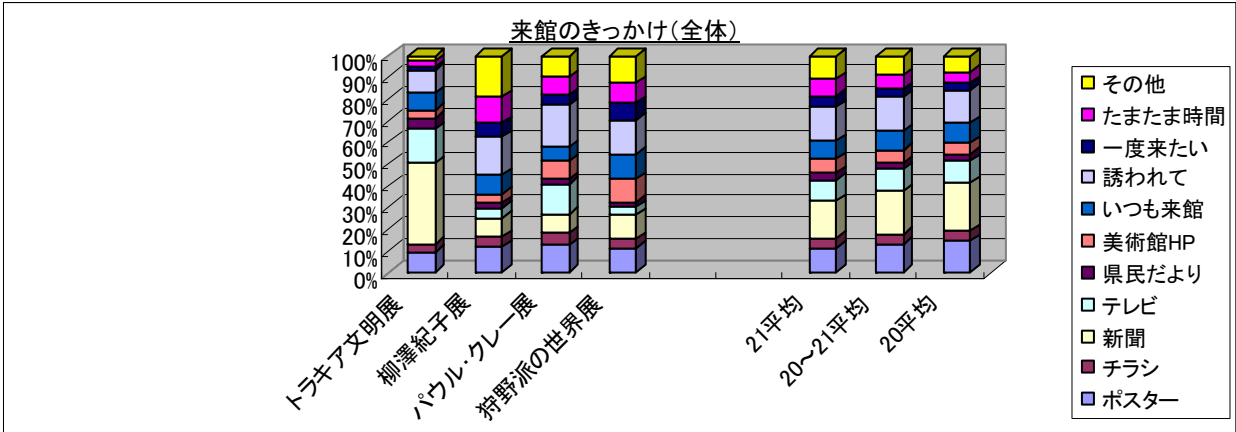
| | ポスター | チラシ | 新聞 | テレビ | 県民だより | 美術館HP | いつも来館 | 誘われて | 一度来たい | たまたま時間 | その他 |
|----------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|
| トラキア文明展 | 4.3% | 6.5% | 23.9% | 13.0% | 0.0% | 10.9% | 0.0% | 28.3% | 17.4% | 10.9% | 4.3% |
| 柳澤紀子展 | 10.4% | 4.5% | 9.0% | 9.0% | 1.5% | 9.0% | 0.0% | 22.4% | 31.3% | 16.4% | 25.4% |
| パウル・クレー展 | 7.3% | 2.1% | 3.1% | 12.5% | 0.0% | 17.7% | 0.0% | 18.8% | 28.1% | 7.3% | 19.8% |
| 狩野派の世界展 | 8.8% | 3.5% | 8.8% | 3.5% | 0.0% | 15.8% | 0.0% | 19.3% | 28.1% | 15.8% | 17.5% |
| | | | | | | | | | | | |
| 21平均 | 7.7% | 4.1% | 11.2% | 9.5% | 0.4% | 13.3% | 0.0% | 22.2% | 26.2% | 12.6% | 16.8% |
| 20～21平均 | 10.2% | 4.2% | 14.8% | 11.5% | 1.1% | 11.4% | 0.0% | 24.5% | 24.0% | 10.0% | 15.2% |
| 20平均 | 12.2% | 4.3% | 17.6% | 13.1% | 1.7% | 9.9% | 0.0% | 26.5% | 22.2% | 8.0% | 13.9% |
| | | | | | | | | | | | |
| シャガール | 8.6% | 0.0% | 27.6% | 12.1% | 3.4% | 13.8% | 0.0% | 27.6% | 22.4% | 6.9% | 10.3% |
| 鑑真和上 | 17.2% | 6.5% | 37.6% | 17.2% | 3.2% | 8.6% | 0.0% | 21.5% | 11.8% | 6.5% | 11.8% |
| 12の旅 | 20.5% | 0.0% | 2.6% | 10.3% | 0.0% | 10.3% | 0.0% | 20.5% | 28.2% | 12.8% | 12.8% |
| 風景ルルル | 6.4% | 11.5% | 10.3% | 3.8% | 0.0% | 5.1% | 0.0% | 42.3% | 23.1% | 5.1% | 19.2% |
| 朝鮮王朝 | 8.5% | 3.4% | 10.2% | 22.0% | 1.7% | 11.9% | 0.0% | 20.3% | 25.4% | 8.5% | 15.3% |

全体として、きっかけの主なものは、新聞、誘われて、ポスター、テレビの順となっている。
平成20年度から傾向は変わらない。

しかし、展覧会別では、これらの割合に特徴が見られ、「トラキア文明」は新聞とテレビが多数を占めた。一方、「パウル・クレー」「狩野派の世界」は誘われてが、「柳澤紀子」はその他（大学・学校の課題等）が一番多かったが、特徴的なものとして、「パウル・クレー」はテレビ、「狩野派の世界」は美術館ホームページが平均値より多いものとなっている。

これらのばらつきは、共催者等の関係から展覧会別に情報の質・量に大きな差があることが原因と考えられる。

新規来館者では、きっかけの主なものは、一度来たいと思っていた、誘われて、が主なものとなっている。



(4) 展覧会についての観覧者（回答者）の評価

1) 作品やテーマについて興味・関心を持ったか

作品やテーマへの興味・関心（全体）

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|
| トラキア文明展 | 0.2% | 1.2% | 3.7% | 24.2% | 70.6% |
| 柳澤紀子展 | 2.8% | 3.4% | 18.6% | 39.3% | 35.9% |
| パウル・クレー展 | 2.8% | 7.3% | 20.3% | 40.7% | 28.9% |
| 狩野派の世界展 | 2.2% | 1.6% | 12.0% | 38.6% | 45.7% |
| | | | | | |
| 21平均 | 2.0% | 3.4% | 13.7% | 35.7% | 45.2% |
| 20～21平均 | 1.3% | 3.0% | 11.9% | 34.7% | 49.1% |
| 20平均 | 0.7% | 2.8% | 10.5% | 33.9% | 52.1% |
| | | | | | |
| シャガール | 0.6% | 2.3% | 6.6% | 31.1% | 59.3% |
| 鑑真和上 | 1.1% | 1.1% | 5.2% | 25.9% | 66.7% |
| 12の旅 | 0.8% | 5.2% | 17.9% | 42.6% | 33.5% |
| 風景ルルル | 0.7% | 3.3% | 9.8% | 33.0% | 53.3% |
| 朝鮮王朝 | 0.5% | 1.9% | 13.0% | 36.8% | 47.8% |

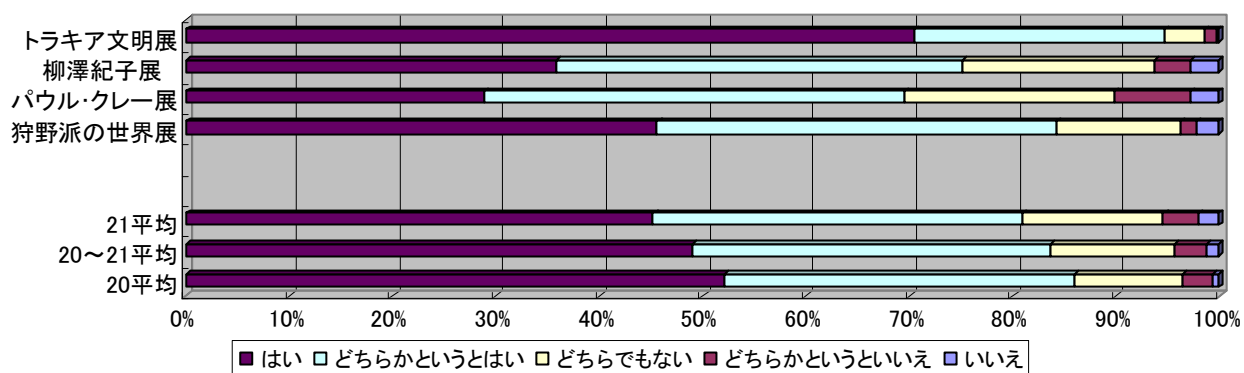
作品やテーマへの興味・関心（新規来館者）

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|
| トラキア文明展 | 0.0% | 0.0% | 4.3% | 32.6% | 63.0% |
| 柳澤紀子展 | 0.0% | 2.9% | 16.2% | 26.5% | 54.4% |
| パウル・クレー展 | 2.1% | 5.2% | 18.8% | 39.6% | 34.4% |
| 狩野派の世界展 | 1.8% | 0.0% | 12.7% | 38.2% | 47.3% |
| | | | | | |
| 21平均 | 1.0% | 2.0% | 13.0% | 34.2% | 49.8% |
| 20～21平均 | 0.9% | 2.2% | 12.5% | 32.3% | 52.1% |
| 20平均 | 0.8% | 2.3% | 12.1% | 30.8% | 54.0% |
| | | | | | |
| シャガール | 1.7% | 3.4% | 6.9% | 32.8% | 55.2% |
| 鑑真和上 | 1.1% | 1.1% | 6.5% | 29.0% | 62.4% |
| 12の旅 | 0.0% | 2.5% | 15.0% | 40.0% | 42.5% |
| 風景ルルル | 1.3% | 2.6% | 14.3% | 19.5% | 62.3% |
| 朝鮮王朝 | 0.0% | 1.6% | 18.0% | 32.8% | 47.5% |

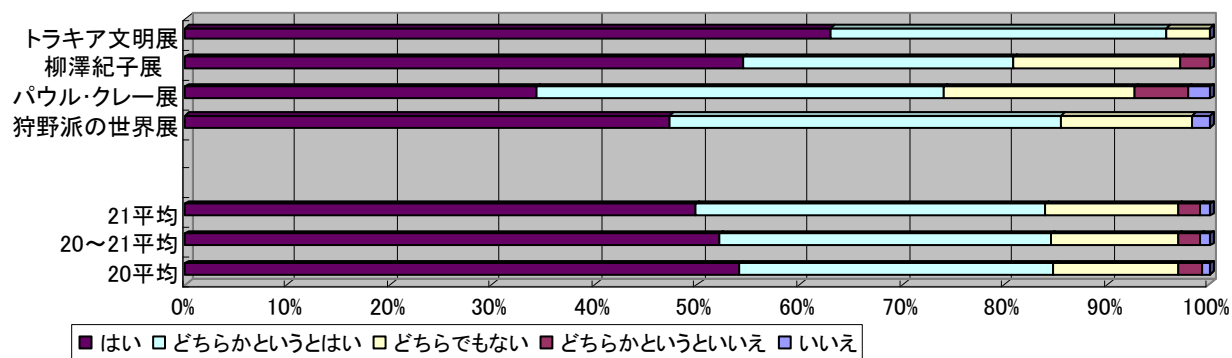
「はい」と「どちらかというとはい」を合わせた肯定的評価は80.9%となり、平成20年度（86.0%）、平成19年度（87.5%）を下回った。

新規来館者では、肯定的評価は84.0%となる。特に「トラキア文明」では90%を超えており、初めての来館が、作品やテーマについての興味・関心のきっかけとしての役割を果たしている事例といえる。

作品やテーマへの興味・関心(全体)



作品やテーマへの興味・関心(新規来館者)



※ 展覧会の質・レベルについて満足いただけたか

展覧会の質・レベルに満足（全体）

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|
| トラキア文明展 | 0.2% | 1.5% | 3.7% | 25.8% | 68.7% |
| 柳澤紀子展 | | | | | |
| パウル・クレー展 | | | | | |
| 狩野派の世界展 | | | | | |
| | | | | | |
| 21平均 | 0.2% | 1.5% | 3.7% | 25.8% | 68.7% |
| 20～21平均 | 0.6% | 2.7% | 11.5% | 34.1% | 51.3% |
| 20平均 | 0.6% | 2.9% | 13.0% | 35.7% | 47.8% |
| | | | | | |
| シャガール | 0.4% | 1.2% | 5.3% | 33.5% | 59.6% |
| 鑑真和上 | 0.7% | 1.4% | 5.0% | 28.5% | 64.3% |
| 12の旅 | 0.0% | 4.8% | 23.2% | 42.4% | 29.6% |
| 風景ルルル | 1.0% | 2.9% | 13.1% | 35.9% | 47.1% |
| 朝鮮王朝 | 1.1% | 4.1% | 18.4% | 38.2% | 38.2% |

※アンケートの設問から削除

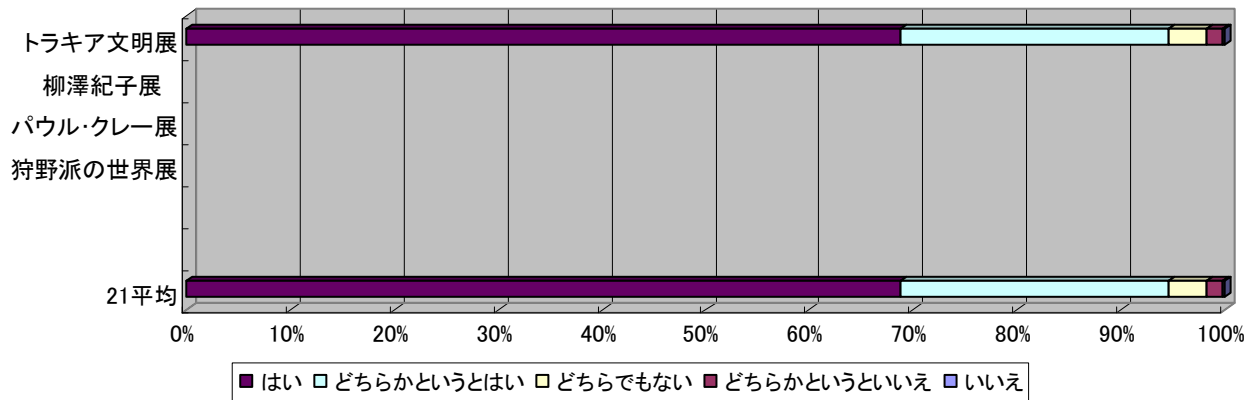
展覧会の質・レベルに満足（新規来館者）

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|
| トラキア文明展 | 0.0% | 0.0% | 8.7% | 32.6% | 58.7% |
| 柳澤紀子展 | | | | | |
| パウル・クレー展 | | | | | |
| 狩野派の世界展 | | | | | |
| | | | | | |
| 21平均 | 0.0% | 0.0% | 8.7% | 32.6% | 58.7% |
| 20～21平均 | 1.1% | 1.2% | 10.0% | 31.8% | 55.8% |
| 20平均 | 1.3% | 1.4% | 10.3% | 31.7% | 55.2% |
| | | | | | |
| シャガール | 0.0% | 0.0% | 5.3% | 29.8% | 64.9% |
| 鑑真和上 | 1.1% | 2.2% | 1.1% | 23.9% | 71.7% |
| 12の旅 | 0.0% | 0.0% | 17.5% | 37.5% | 45.0% |
| 風景ルルル | 3.9% | 0.0% | 13.0% | 31.2% | 51.9% |
| 朝鮮王朝 | 1.6% | 4.9% | 14.8% | 36.1% | 42.6% |

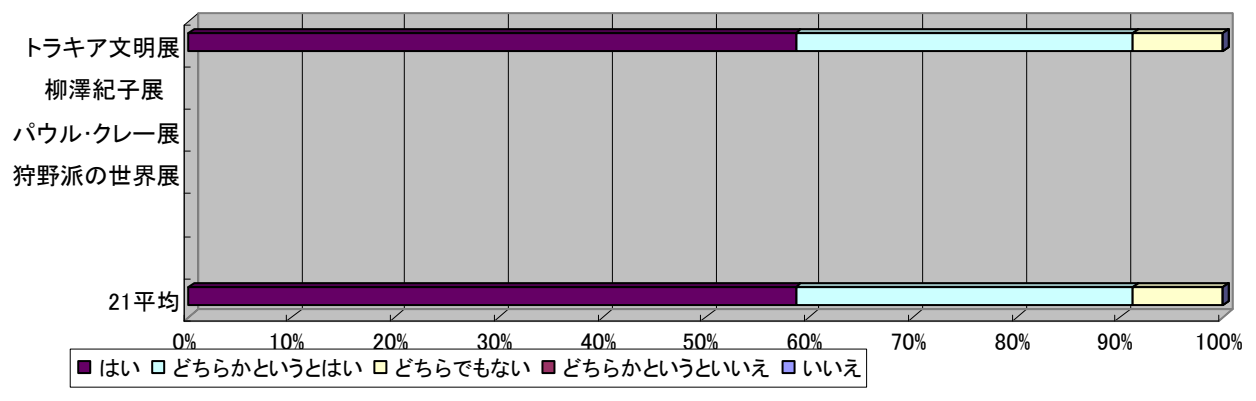
※アンケートの設問から削除

平成20年度のアンケート項目見直し検討作業の結果、設問から削除している。

展覧会の質・レベルに満足(全体)



展覧会の質・レベルに満足(新規来館者)



※ 観覧料に見合う内容であったか

観覧料に見合う内容か（全体）

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|
| トラキア文明展 | 0.5% | 1.3% | 11.9% | 20.3% | 66.1% |
| 柳澤紀子展 | | | | | |
| パウル・クレー展 | | | | | |
| 狩野派の世界展 | | | | | |
| | | | | | |
| 21平均 | 0.5% | 1.3% | 11.9% | 20.3% | 66.1% |
| 20～21平均 | 0.8% | 2.6% | 14.0% | 25.2% | 57.4% |
| 20平均 | 0.9% | 2.8% | 14.4% | 26.2% | 55.7% |
| | | | | | |
| シャガール | 0.4% | 0.4% | 8.2% | 24.3% | 66.6% |
| 鑑真和上 | 0.8% | 1.7% | 8.9% | 22.3% | 66.4% |
| 12の旅 | 0.8% | 4.6% | 20.2% | 30.3% | 44.1% |
| 風景ルルル | 1.4% | 3.4% | 15.1% | 27.5% | 52.6% |
| 朝鮮王朝 | 1.1% | 3.9% | 19.5% | 26.7% | 48.7% |

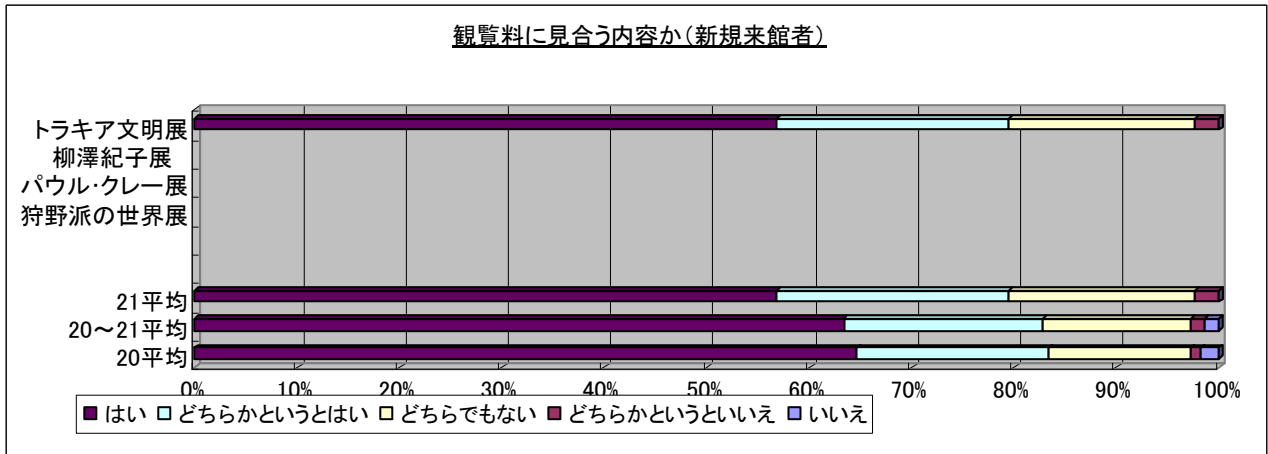
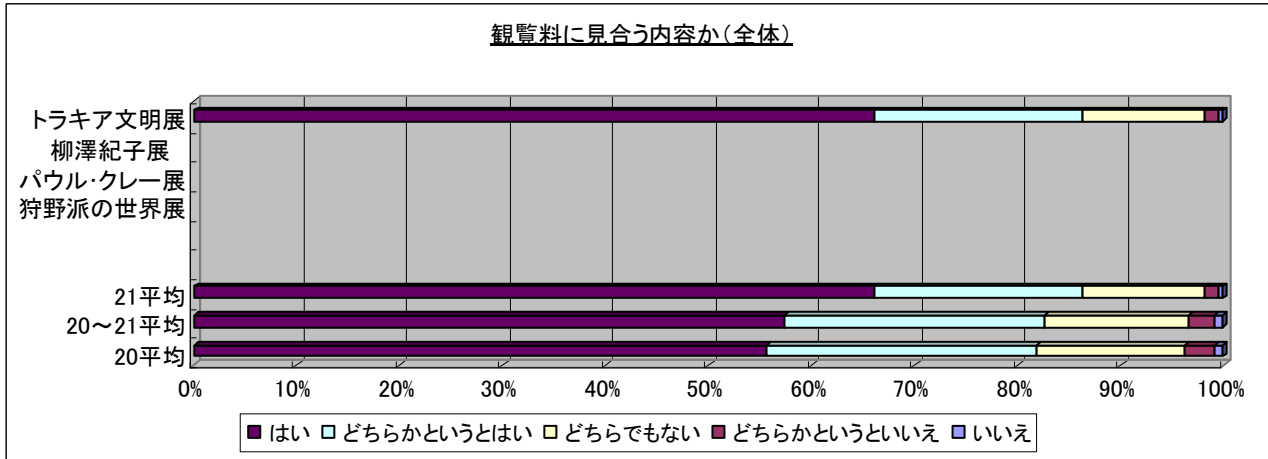
※アンケートの
設問から削除

観覧料に見合う内容か（新規来館者）

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|
| トラキア文明展 | 0.0% | 2.3% | 18.2% | 22.7% | 56.8% |
| 柳澤紀子展 | | | | | |
| パウル・クレー展 | | | | | |
| 狩野派の世界展 | | | | | |
| | | | | | |
| 21平均 | 0.0% | 2.3% | 18.2% | 22.7% | 56.8% |
| 20～21平均 | 1.4% | 1.2% | 14.5% | 19.4% | 63.4% |
| 20平均 | 1.7% | 1.0% | 13.8% | 18.8% | 64.7% |
| | | | | | |
| シャガール | 0.0% | 0.0% | 7.3% | 27.3% | 65.5% |
| 鑑真和上 | 2.3% | 2.3% | 10.5% | 17.4% | 67.4% |
| 12の旅 | 0.0% | 0.0% | 19.4% | 8.3% | 72.2% |
| 風景ルルル | 2.8% | 2.8% | 11.1% | 23.6% | 59.7% |
| 朝鮮王朝 | 3.4% | 0.0% | 20.7% | 17.2% | 58.6% |

※アンケートの
設問から削除

平成20年度のアンケート項目見直し検討作業の結果、設問から削除している。



2) 展覧会の会場で心地よく鑑賞できたか。

心地よく鑑賞できたか (全体)

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 「美術館カルテ」 鑑賞環境 |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|------------------|
| トラキア文明展 | 1.3% | 3.0% | 13.0% | 28.5% | 54.3% | 82.8% |
| 柳澤紀子展 | 2.4% | 3.4% | 6.5% | 33.3% | 54.3% | 87.6% |
| パウル・クレー展 | 3.0% | 5.5% | 11.7% | 35.4% | 44.3% | 79.7% |
| 狩野派の世界展 | 2.2% | 3.2% | 7.0% | 28.1% | 59.5% | 87.6% |
| | | | | | | |
| 21平均 | 2.2% | 3.8% | 9.6% | 31.3% | 53.1% | 84.4% |
| 20～21平均 | 1.6% | 3.0% | 9.3% | 30.9% | 55.2% | 86.1% |
| 20平均 | 1.1% | 2.3% | 9.1% | 30.5% | 56.9% | 87.4% |
| | | | | | | |
| シャガール | 0.8% | 2.0% | 10.5% | 35.2% | 51.5% | 86.7% |
| 鑑真和上 | 1.6% | 2.5% | 9.3% | 30.0% | 56.5% | 86.5% |
| 12の旅 | 1.2% | 3.9% | 9.1% | 27.6% | 58.3% | 85.8% |
| 風景ルルル | 0.6% | 1.6% | 7.5% | 27.3% | 63.0% | 90.3% |
| 朝鮮王朝 | 1.4% | 1.6% | 9.3% | 32.5% | 55.2% | 87.7% |

心地よく鑑賞できたか (新規来館者)

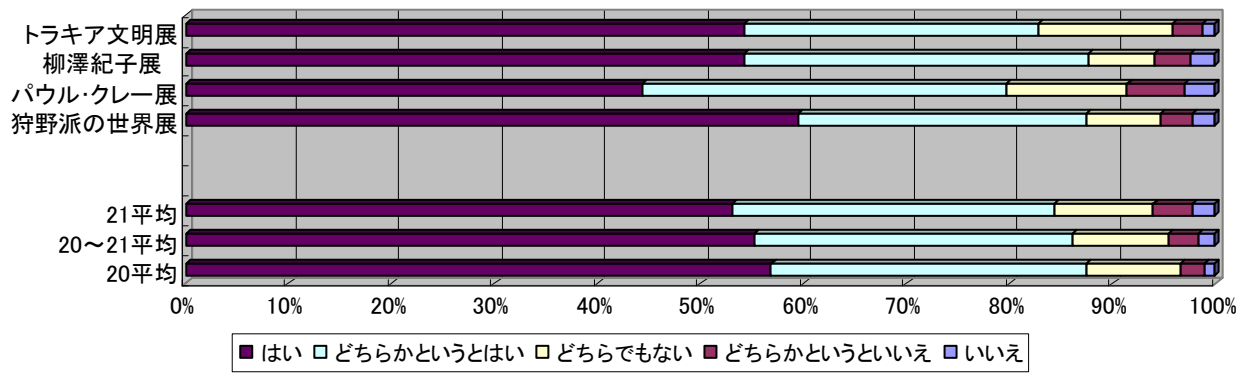
| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|
| トラキア文明展 | 0.0% | 6.7% | 8.9% | 33.3% | 51.1% |
| 柳澤紀子展 | 0.0% | 1.5% | 4.4% | 20.6% | 73.5% |
| パウル・クレー展 | 4.1% | 1.0% | 11.3% | 29.9% | 53.6% |
| 狩野派の世界展 | 0.0% | 1.8% | 7.1% | 23.2% | 67.9% |
| | | | | | |
| 21平均 | 1.0% | 2.7% | 7.9% | 26.8% | 61.5% |
| 20～21平均 | 0.8% | 2.9% | 8.4% | 25.1% | 62.9% |
| 20平均 | 0.7% | 3.0% | 8.7% | 23.7% | 63.9% |
| | | | | | |
| シャガール | 0.0% | 3.4% | 8.6% | 31.0% | 56.9% |
| 鑑真和上 | 3.4% | 2.2% | 7.9% | 21.3% | 65.2% |
| 12の旅 | 0.0% | 2.5% | 15.0% | 12.5% | 70.0% |
| 風景ルルル | 0.0% | 5.2% | 3.9% | 20.8% | 70.1% |
| 朝鮮王朝 | 0.0% | 1.6% | 8.2% | 32.8% | 57.4% |

「はい」と「どちらかというとはい」を合わせた肯定的評価は 84.4%となり、平成 20 年度 (87.4%)、平成 19 年度 (87.1%) を下回った。

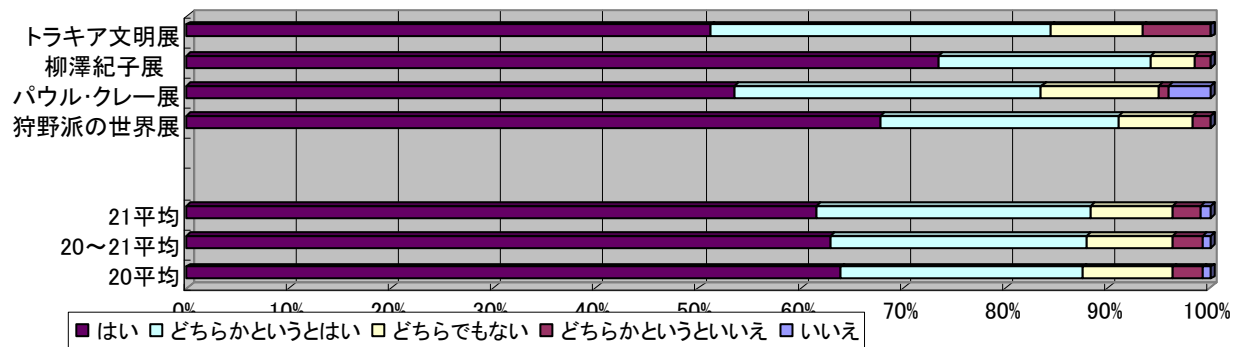
特に、「パウル・クレー展」が 79.7%となっているが、これは夏季の開催で「エアコンが効きすぎて寒い」といった自由意見が突出して多かったことが影響している可能性がある。

本設問は「美術館カルテ」の「鑑賞環境に対する満足度」指標に対応している。

心地よく鑑賞できたか(全体)



心地よく鑑賞できたか(新規来館者)



3) スタッフの対応は適切であったか

スタッフ対応の適切さ (全体)

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 「美術館カルテ」 スタッフ対応 |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|--------------------|
| トラキア文明展 | 1.0% | 2.3% | 19.4% | 23.7% | 53.6% | 77.3% |
| 柳澤紀子展 | 1.7% | 2.7% | 11.6% | 28.4% | 55.5% | 83.9% |
| パウル・クレー展 | 1.3% | 2.1% | 21.6% | 33.1% | 41.9% | 75.0% |
| 狩野派の世界展 | 0.5% | 2.7% | 16.8% | 29.3% | 50.5% | 79.9% |
| | | | | | | |
| 21平均 | 1.1% | 2.5% | 17.4% | 28.7% | 50.4% | 79.0% |
| 20～21平均 | 1.0% | 1.8% | 16.3% | 28.2% | 52.7% | 81.0% |
| 20平均 | 0.8% | 1.2% | 15.4% | 27.9% | 54.6% | 82.5% |
| | | | | | | |
| シャガール | 0.2% | 1.0% | 16.7% | 30.3% | 51.8% | 82.1% |
| 鑑真和上 | 1.3% | 0.7% | 17.7% | 31.5% | 48.8% | 80.3% |
| 12の旅 | 1.2% | 2.0% | 16.2% | 25.3% | 55.3% | 80.6% |
| 風景ルルル | 0.6% | 1.3% | 9.7% | 23.7% | 64.6% | 88.3% |
| 朝鮮王朝 | 0.8% | 1.1% | 16.7% | 28.8% | 52.6% | 81.4% |

スタッフ対応の適切さ (新規来館者)

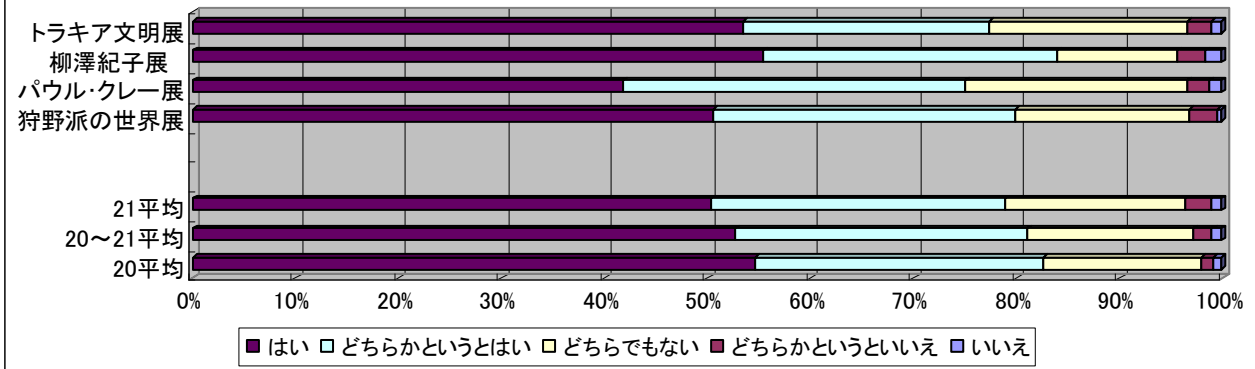
| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|
| トラキア文明展 | 0.0% | 0.0% | 18.2% | 25.0% | 56.8% |
| 柳澤紀子展 | 0.0% | 1.5% | 11.8% | 20.6% | 66.2% |
| パウル・クレー展 | 2.1% | 3.1% | 19.8% | 28.1% | 46.9% |
| 狩野派の世界展 | 0.0% | 1.8% | 17.9% | 26.8% | 53.6% |
| | | | | | |
| 21平均 | 0.5% | 1.6% | 16.9% | 25.1% | 55.9% |
| 20～21平均 | 0.7% | 1.5% | 14.5% | 24.0% | 59.2% |
| 20平均 | 0.9% | 1.5% | 12.6% | 23.1% | 61.9% |
| | | | | | |
| シャガール | 0.0% | 1.7% | 22.4% | 25.9% | 50.0% |
| 鑑真和上 | 3.3% | 0.0% | 6.7% | 31.1% | 58.9% |
| 12の旅 | 0.0% | 0.0% | 20.0% | 7.5% | 72.5% |
| 風景ルルル | 1.3% | 2.6% | 9.0% | 16.7% | 70.5% |
| 朝鮮王朝 | 0.0% | 3.3% | 4.9% | 34.4% | 57.4% |

「はい」と「どちらかというとはい」を合わせた肯定的評価は79.0%となった。

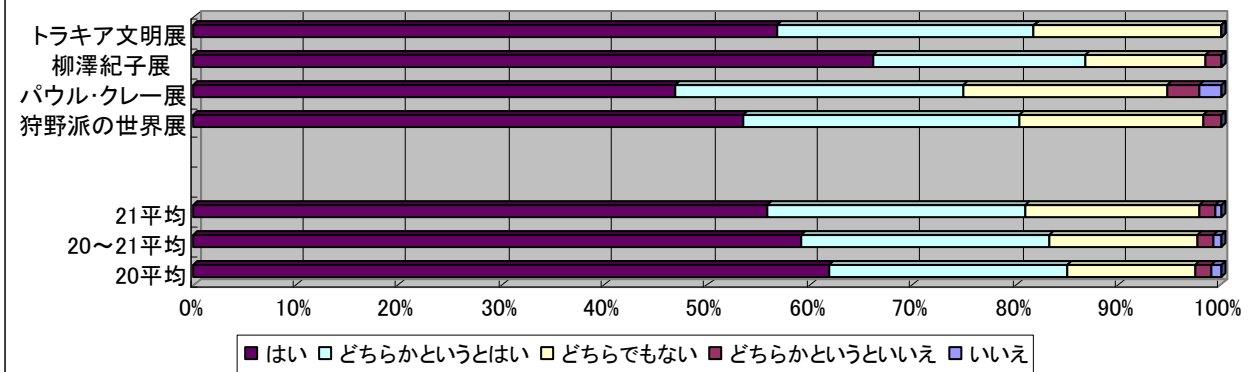
平成20年度(82.5%)、平成19年度(78.5%)と推移している中で、平成20年度は、すべての展覧会で80%を上回っていたが、本年度において80%を上回ったのは「柳澤紀子展」のみとなった。

本設問は「美術館カルテ」の「美術館スタッフの対応に満足した人の割合」指標に対応している。

スタッフ対応の適切さ(全体)



スタッフ対応の適切さ(新規来館者)



4) この展覧会のことを誰かに伝え、来館を勧めたいか

誰かに伝え、勧める（全体）

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 「美術館カルテ」 満足度（旧） |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|--------------------|
| トラキア文明展 | 1.3% | 0.8% | 18.2% | 31.0% | 48.7% | 79.7% |
| 柳澤紀子展 | 2.8% | 2.5% | 31.3% | 28.8% | 34.5% | 63.3% |
| パウル・クレー展 | 4.7% | 7.5% | 37.1% | 31.5% | 19.2% | 50.6% |
| 狩野派の世界展 | 2.7% | 2.2% | 28.4% | 35.5% | 31.1% | 66.7% |
| | | | | | | |
| 21平均 | 2.9% | 3.2% | 28.8% | 31.7% | 33.4% | 65.1% |
| 20～21平均 | 2.6% | 3.2% | 27.8% | 29.5% | 36.9% | 66.4% |
| 20平均 | 2.4% | 3.2% | 27.1% | 27.7% | 39.6% | 67.4% |
| | | | | | | |
| シャガール | 1.2% | 1.0% | 22.6% | 32.5% | 42.7% | 75.2% |
| 鑑真和上 | 1.7% | 1.8% | 17.5% | 27.6% | 51.5% | 79.0% |
| 1 2の旅 | 3.2% | 6.5% | 42.3% | 21.8% | 26.2% | 48.0% |
| 風景ルルル | 2.6% | 2.9% | 24.2% | 29.7% | 40.5% | 70.3% |
| 朝鮮王朝 | 3.1% | 3.9% | 28.7% | 27.0% | 37.2% | 64.2% |

誰かに伝え、勧める（新規来館者）

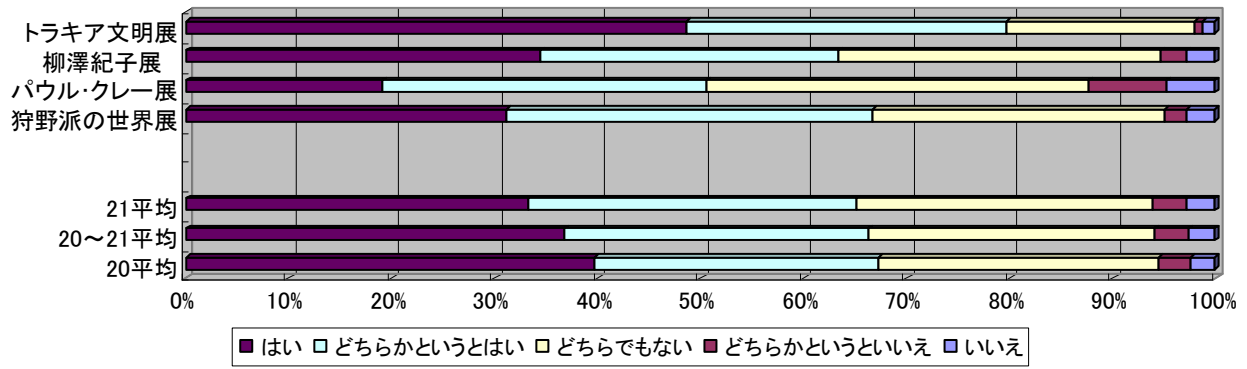
| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 「美術館カルテ」 満足度（旧） |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|--------------------|
| トラキア文明展 | 2.2% | 0.0% | 15.6% | 40.0% | 42.2% | 82.2% |
| 柳澤紀子展 | 0.0% | 1.5% | 22.7% | 30.3% | 45.5% | 75.8% |
| パウル・クレー展 | 2.1% | 5.2% | 33.3% | 36.5% | 22.9% | 59.4% |
| 狩野派の世界展 | 1.8% | 0.0% | 30.9% | 41.8% | 25.5% | 67.3% |
| | | | | | | |
| 21平均 | 1.5% | 1.7% | 25.6% | 37.1% | 34.0% | 71.2% |
| 20～21平均 | 2.1% | 1.5% | 23.6% | 31.7% | 41.1% | 72.8% |
| 20平均 | 2.5% | 1.3% | 22.1% | 27.4% | 46.8% | 74.2% |
| | | | | | | |
| シャガール | 0.0% | 1.8% | 26.8% | 33.9% | 37.5% | 71.4% |
| 鑑真和上 | 2.3% | 0.0% | 13.6% | 26.1% | 58.0% | 84.1% |
| 1 2の旅 | 2.6% | 0.0% | 25.6% | 17.9% | 53.8% | 71.8% |
| 風景ルルル | 2.6% | 1.3% | 19.2% | 30.8% | 46.2% | 76.9% |
| 朝鮮王朝 | 5.0% | 3.3% | 25.0% | 28.3% | 38.3% | 66.7% |

「はい」と「どちらかというとはい」を合わせた肯定的評価は 65.1%となり、平成 20 年度 (67.4%)、平成 19 年度 (71.8%) を下回った。

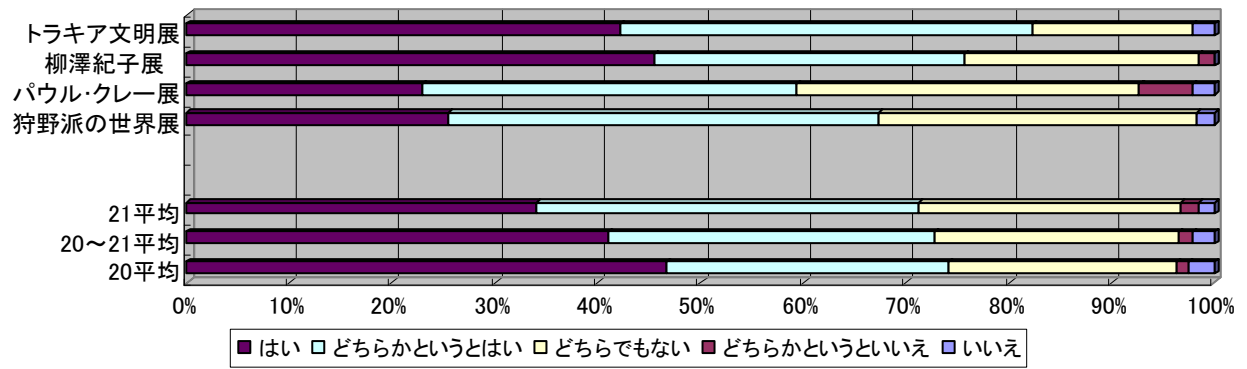
本設問に関しては、「全体的に見て今回の来館は満足いただけたか」の設問の結果に対し、ばらつきがあり、正確な回答が得られていない可能性が示唆される。要因として、「回答者により連想する対象者が異なること」などが回答に影響を与えていると考えられる。

美術館カルテの旧指標であるが、設問として見直す余地があると思われる。

誰かに伝え、勧める(全体)



誰かに伝え、勧める(新規来館者)



5) 当美術館に関する情報は入手しやすいか

情報入手のしやすさ (全体)

| | いいえ | どちらかというといいいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 「美術館カルテ」 情報入手 |
|----------|------|--------------|---------|------------|-------|------------------|
| トラキア文明展 | 1.6% | 3.6% | 20.2% | 25.3% | 49.4% | 74.7% |
| 柳澤紀子展 | 4.0% | 6.2% | 28.2% | 27.5% | 34.1% | 61.5% |
| パウル・クレー展 | 1.8% | 4.7% | 22.7% | 38.8% | 32.1% | 70.8% |
| 狩野派の世界展 | 2.9% | 5.9% | 32.4% | 26.5% | 32.4% | 58.8% |
| | | | | | | |
| 21平均 | 2.6% | 5.1% | 25.9% | 29.5% | 37.0% | 66.5% |
| 20～21平均 | 2.3% | 4.8% | 24.6% | 29.2% | 39.1% | 68.3% |
| 20平均 | 2.1% | 4.6% | 23.5% | 29.0% | 40.8% | 69.8% |
| | | | | | | |
| シャガール | 1.6% | 2.7% | 22.0% | 28.4% | 45.3% | 73.7% |
| 鑑真和上 | 1.9% | 3.4% | 19.2% | 29.8% | 45.8% | 75.5% |
| 1 2の旅 | 2.0% | 6.9% | 25.3% | 31.0% | 34.7% | 65.7% |
| 風景ルルル | 3.0% | 4.4% | 26.7% | 29.7% | 36.1% | 65.9% |
| 朝鮮王朝 | 1.7% | 5.5% | 24.5% | 26.2% | 42.1% | 68.3% |

情報入手のしやすさ (新規来館者)

| | いいえ | どちらかというといいいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい |
|----------|------|--------------|---------|------------|-------|
| トラキア文明展 | 2.3% | 4.5% | 20.5% | 29.5% | 43.2% |
| 柳澤紀子展 | 6.3% | 4.7% | 32.8% | 17.2% | 39.1% |
| パウル・クレー展 | 2.2% | 4.3% | 22.6% | 35.5% | 35.5% |
| 狩野派の世界展 | 4.1% | 10.2% | 36.7% | 28.6% | 20.4% |
| | | | | | |
| 21平均 | 3.7% | 5.9% | 28.1% | 27.7% | 34.5% |
| 20～21平均 | 3.8% | 5.9% | 27.3% | 26.7% | 36.3% |
| 20平均 | 3.9% | 5.9% | 26.7% | 25.8% | 37.7% |
| | | | | | |
| シャガール | 5.5% | 3.6% | 25.5% | 34.5% | 30.9% |
| 鑑真和上 | 3.3% | 6.7% | 17.8% | 23.3% | 48.9% |
| 1 2の旅 | 5.0% | 5.0% | 32.5% | 20.0% | 37.5% |
| 風景ルルル | 4.0% | 10.7% | 22.7% | 32.0% | 30.7% |
| 朝鮮王朝 | 1.8% | 3.5% | 35.1% | 19.3% | 40.4% |

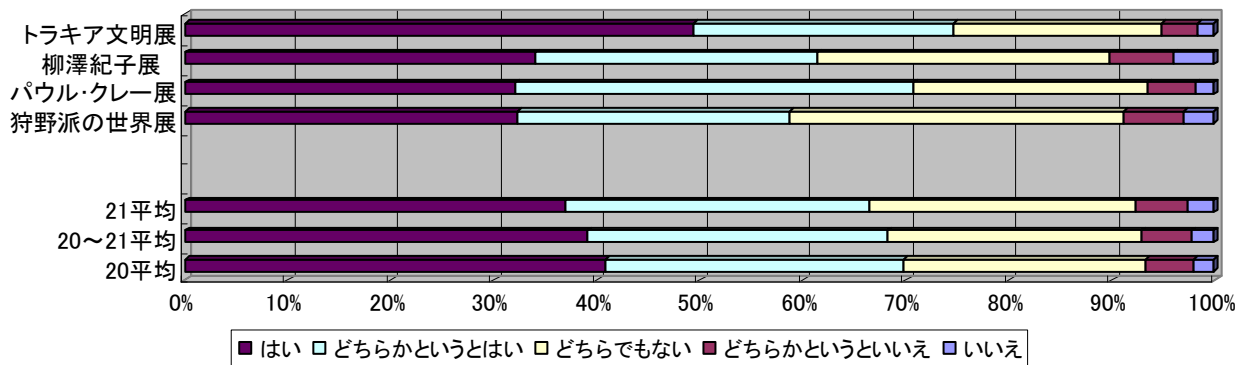
「はい」と「どちらかというとはい」を合わせた肯定的評価は 66.5%となり、平成 20 年度 (69.8%)、平成 19 年度 (67.9%) を下回った。

展覧会別では、「トラキア文明展」が比較的高くなっているが、「狩野派の世界展」が 58.8% (新規来館者では 50%を下回る) など、展覧会別のばらつきが見られる。

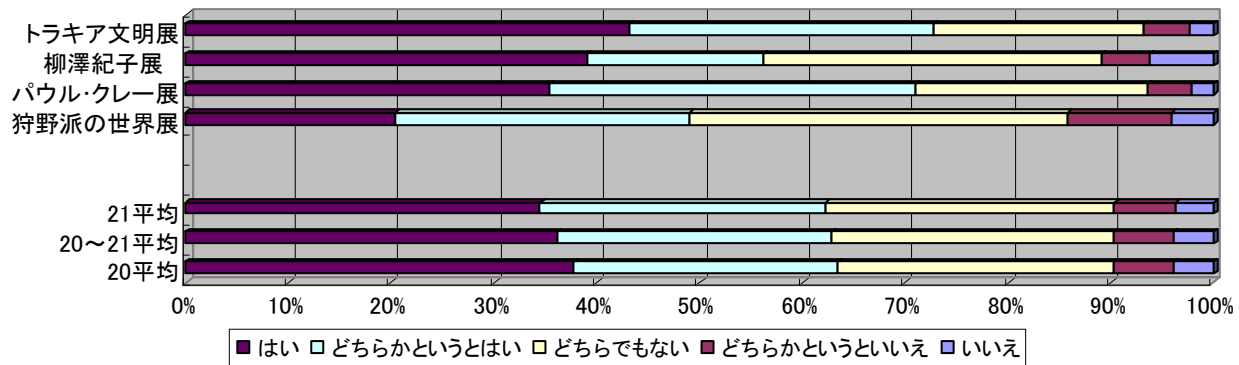
来館のきっかけの設問において、「トラキア文明」は新聞とテレビが多数を占め、「狩野派の世界」は、特徴的なものとして美術館ホームページが平均値より多いものとなっているように、情報の入手に関して、展覧会別に情報の質・量が異なり、情報源に一定性がないことが影響していると考えられる。

本設問は「美術館カルテ」の「当館に関する情報が入手しやすいとする人の割合」指標に対応している。

情報入手のしやすさ(全体)



情報入手のしやすさ(新規来館者)



6) 交通機関の利用はスムーズであったか（公共交通利用者）

公共交通利用のスムーズさ（全体）

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|-------|
| トラキア文明展 | 0.7% | 2.1% | 13.4% | 22.5% | 61.3% | 公共交通 |
| 柳澤紀子展 | 3.3% | 3.3% | 18.0% | 22.1% | 53.3% | 75.4% |
| パウル・クレー展 | 3.7% | 5.2% | 17.0% | 32.6% | 41.5% | 74.1% |
| 狩野派の世界展 | 1.4% | 2.8% | 16.9% | 15.5% | 63.4% | 78.9% |
| | | | | | | |
| 21平均 | 2.3% | 3.3% | 16.3% | 23.2% | 54.9% | 78.0% |
| 20～21平均 | 3.0% | 4.3% | 15.6% | 23.2% | 53.9% | 77.1% |
| 20平均 | 3.6% | 5.0% | 15.0% | 23.2% | 53.2% | 76.4% |
| | | | | | | |
| シャガール | 2.2% | 4.4% | 12.5% | 22.8% | 58.1% | 80.9% |
| 鑑真和上 | 6.0% | 4.3% | 13.8% | 22.8% | 53.0% | 75.9% |
| 1 2の旅 | 2.6% | 6.6% | 17.1% | 19.7% | 53.9% | 73.7% |
| 風景ルルル | 3.1% | 3.9% | 18.9% | 25.2% | 48.8% | 74.0% |
| 朝鮮王朝 | 4.2% | 5.9% | 12.6% | 25.2% | 52.1% | 77.3% |

「美術館カルテ」

公共交通利用のスムーズさ（新規来館者）

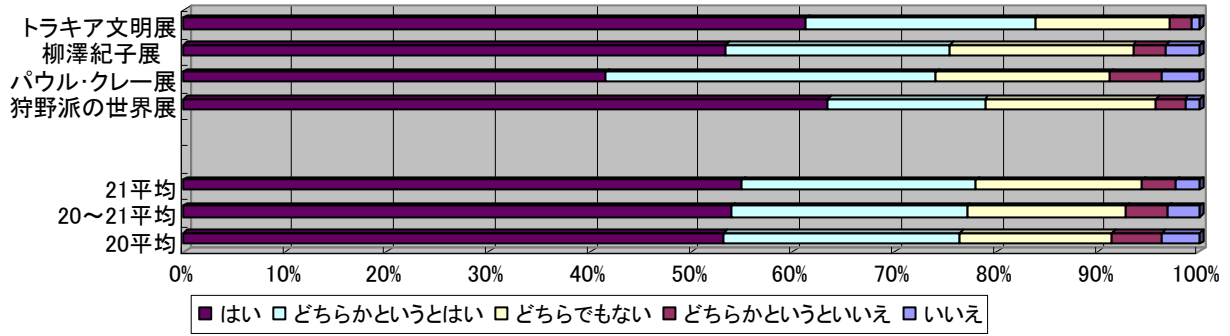
| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|
| トラキア文明展 | 0.0% | 0.0% | 4.0% | 44.0% | 52.0% |
| 柳澤紀子展 | 0.0% | 3.1% | 28.1% | 12.5% | 56.3% |
| パウル・クレー展 | 9.1% | 6.1% | 12.1% | 30.3% | 42.4% |
| 狩野派の世界展 | 3.6% | 3.6% | 21.4% | 25.0% | 46.4% |
| | | | | | |
| 21平均 | 3.2% | 3.2% | 16.4% | 28.0% | 49.3% |
| 20～21平均 | 4.0% | 4.2% | 17.8% | 21.0% | 52.9% |
| 20平均 | 4.7% | 5.0% | 18.9% | 15.5% | 55.9% |
| | | | | | |
| シャガール | 4.3% | 8.7% | 17.4% | 13.0% | 56.5% |
| 鑑真和上 | 7.3% | 0.0% | 14.6% | 24.4% | 53.7% |
| 1 2の旅 | 0.0% | 0.0% | 27.3% | 0.0% | 72.7% |
| 風景ルルル | 2.3% | 7.0% | 16.3% | 25.6% | 48.8% |
| 朝鮮王朝 | 9.5% | 9.5% | 19.0% | 14.3% | 47.6% |

「はい」と「どちらかというとはい」を合わせた肯定的評価は 78.0%となった。平成 20 年度（76.4%）、平成 19 年度（78.1%）と推移している。

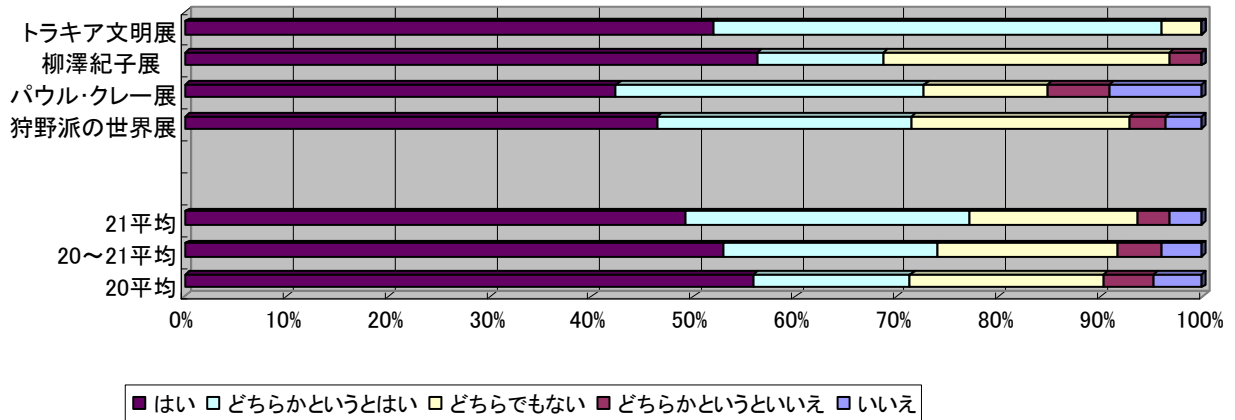
展覧会別のばらつきが少ないことから、恒常的な評価と考えられる。

本設問は「美術館カルテ」の「公共交通機関で来館した人のアクセス満足度」指標に対応している。

公共交通利用のスムーズさ(全体)



公共交通利用のスムーズさ(新規来館者)



7) 交通機関の利用はスムーズであったか（自家用車利用者）

B-8 自家用車利用のスムーズさ

自動車利用のスムーズさ（全体）

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 「美術館カルテ」 自動車交通 |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|-------------------|
| トラキア文明展 | 2.4% | 4.2% | 14.9% | 22.6% | 56.0% | 78.6% |
| 柳澤紀子展 | 2.5% | 2.5% | 20.7% | 19.8% | 54.5% | 74.4% |
| パウル・クレー展 | 0.4% | 4.1% | 14.0% | 25.5% | 56.0% | 81.5% |
| 狩野派の世界展 | 3.6% | 3.6% | 24.1% | 24.1% | 44.6% | 68.7% |
| | | | | | | |
| 21平均 | 2.2% | 3.6% | 18.4% | 23.0% | 52.8% | 75.8% |
| 20～21平均 | 1.9% | 3.5% | 16.0% | 24.9% | 53.6% | 78.5% |
| 20平均 | 1.7% | 3.5% | 14.2% | 26.4% | 54.2% | 80.7% |
| | | | | | | |
| シャガール | 1.6% | 3.5% | 11.4% | 24.4% | 59.1% | 83.5% |
| 鑑真和上 | 1.9% | 1.4% | 15.3% | 22.0% | 59.3% | 81.3% |
| 12の旅 | 1.5% | 4.4% | 12.5% | 32.4% | 49.3% | 81.6% |
| 風景ルルル | 2.3% | 4.6% | 16.9% | 25.4% | 50.8% | 76.2% |
| 朝鮮王朝 | 1.2% | 3.5% | 14.6% | 28.1% | 52.6% | 80.7% |

自動車利用のスムーズさ（新規来館者）

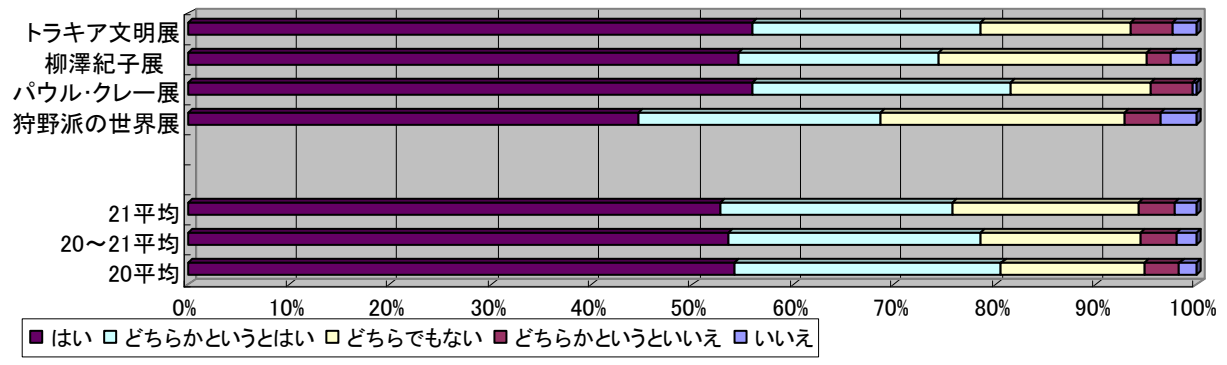
| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|
| トラキア文明展 | 0.0% | 16.7% | 8.3% | 16.7% | 58.3% |
| 柳澤紀子展 | 4.0% | 4.0% | 16.0% | 28.0% | 48.0% |
| パウル・クレー展 | 0.0% | 2.0% | 16.0% | 18.0% | 64.0% |
| 狩野派の世界展 | 0.0% | 5.3% | 52.6% | 21.1% | 21.1% |
| | | | | | |
| 21平均 | 1.0% | 7.0% | 23.2% | 20.9% | 47.8% |
| 20～21平均 | 0.9% | 6.1% | 18.7% | 27.8% | 46.6% |
| 20平均 | 0.8% | 5.4% | 15.1% | 33.2% | 45.5% |
| | | | | | |
| シャガール | 0.0% | 4.0% | 16.0% | 40.0% | 40.0% |
| 鑑真和上 | 0.0% | 2.7% | 13.5% | 21.6% | 62.2% |
| 12の旅 | 0.0% | 4.8% | 19.0% | 23.8% | 52.4% |
| 風景ルルル | 3.8% | 11.5% | 19.2% | 34.6% | 30.8% |
| 朝鮮王朝 | 0.0% | 3.8% | 7.7% | 46.2% | 42.3% |

「はい」と「どちらかというとはい」を合わせた肯定的評価は 75.8%となり、平成 20 年度（80.7%）、平成 19 年度（80.1%）を下回った。

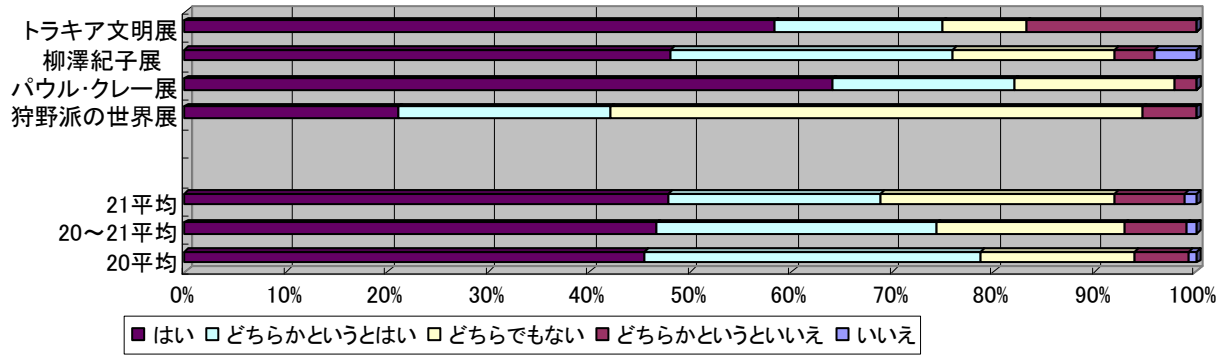
「狩野派の世界展」が 70%を下回っているが、県外からの来館者が他と比較して多かったことから、東名静岡・清水インターチェンジや周辺観光施設などからの案内標識の状況などが影響していると考えられる。新規来館者でも、同様の傾向が顕著に見られる

本設問は「美術館カルテ」の「自家用車で来館した人のアクセス満足度」指標に対応している。

自動車利用のスムーズさ(全体)



自動車利用のスムーズさ(新規来館者)



8) 全体的に見て、今回の来館は満足いただけただか

全体的な満足度（全体）

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 「美術館カルテ」 満足度 |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|-----------------|
| トラキア文明展 | 0.5% | 1.5% | 4.5% | 24.5% | 69.0% | 93.5% |
| 柳澤紀子展 | 2.1% | 2.8% | 9.7% | 33.0% | 52.4% | 85.4% |
| パウル・クレー展 | 2.1% | 5.8% | 15.2% | 40.1% | 36.7% | 76.8% |
| 狩野派の世界展 | 0.5% | 2.2% | 6.0% | 34.8% | 56.5% | 91.3% |
| | | | | | | |
| 21平均 | 1.3% | 3.1% | 8.9% | 33.1% | 53.7% | 86.8% |
| 20～21平均 | 0.9% | 2.6% | 8.0% | 32.5% | 56.0% | 88.5% |
| 20平均 | 0.6% | 2.2% | 7.3% | 32.1% | 57.8% | 89.9% |
| | | | | | | |
| シャガール | 0.2% | 1.0% | 4.1% | 28.9% | 65.8% | 94.7% |
| 鑑真和上 | 0.5% | 0.2% | 3.8% | 27.7% | 67.8% | 95.5% |
| 1 2の旅 | 1.6% | 4.9% | 8.1% | 39.0% | 46.3% | 85.4% |
| 風景ルルル | 0.7% | 2.0% | 10.1% | 28.1% | 59.2% | 87.3% |
| 朝鮮王朝 | 0.0% | 3.0% | 10.2% | 36.8% | 50.0% | 86.8% |

全体的な満足度（新規来館者）

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 「美術館カルテ」 満足度 |
|----------|------|-------------|---------|------------|-------|-----------------|
| トラキア文明展 | 0.0% | 0.0% | 6.7% | 31.1% | 62.2% | 93.3% |
| 柳澤紀子展 | 0.0% | 0.0% | 4.4% | 23.5% | 72.1% | 95.6% |
| パウル・クレー展 | 0.0% | 2.1% | 10.4% | 34.4% | 53.1% | 87.5% |
| 狩野派の世界展 | 0.0% | 0.0% | 5.4% | 41.1% | 53.6% | 94.6% |
| | | | | | | |
| 21平均 | 0.0% | 0.5% | 6.7% | 32.5% | 60.2% | 92.8% |
| 20～21平均 | 0.3% | 1.0% | 6.5% | 29.9% | 62.4% | 92.3% |
| 20平均 | 0.5% | 1.4% | 6.3% | 27.8% | 64.0% | 91.9% |
| | | | | | | |
| シャガール | 0.0% | 0.0% | 7.0% | 28.1% | 64.9% | 93.0% |
| 鑑真和上 | 1.1% | 0.0% | 3.3% | 26.4% | 69.2% | 95.6% |
| 1 2の旅 | 0.0% | 2.6% | 2.6% | 28.2% | 66.7% | 94.9% |
| 風景ルルル | 1.3% | 2.6% | 10.4% | 22.1% | 63.6% | 85.7% |
| 朝鮮王朝 | 0.0% | 1.6% | 8.2% | 34.4% | 55.7% | 90.2% |

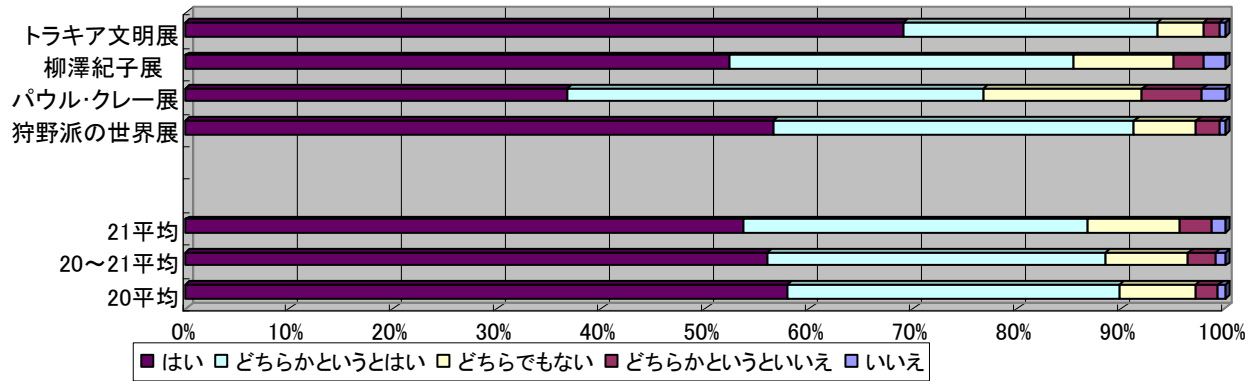
「はい」と「どちらかというとはい」を合わせた肯定的評価が 86.8%となった。平成 20 年度（89.9%）、平成 19 年度（88.3%）と 80%台後半で推移している。

展覧会別では、「トラキア文明展」「狩野派の世界展」が 90%を超えている。

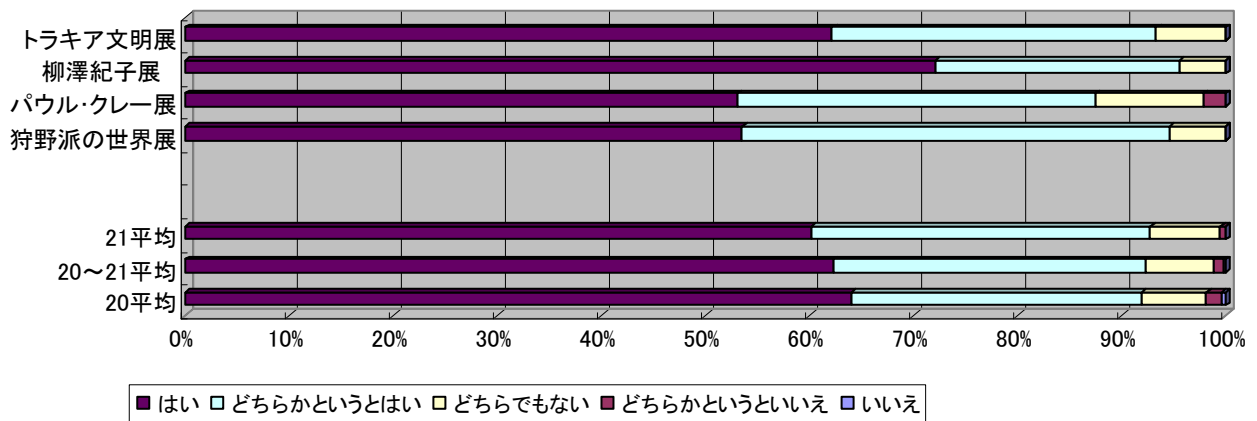
一方、「パウル・クレー展」が 70%台となったが、前出の「鑑賞環境に対する満足度」の影響が現れている可能性がある。

一方、新規来館者では、肯定的評価は全体で 92.8%となり、平成 20 年度（91.9%）、平成 19 年度（91.7%）を若干ではあるが上回った。

全体的な満足度(全体)



全体的な満足度(新規来館者)

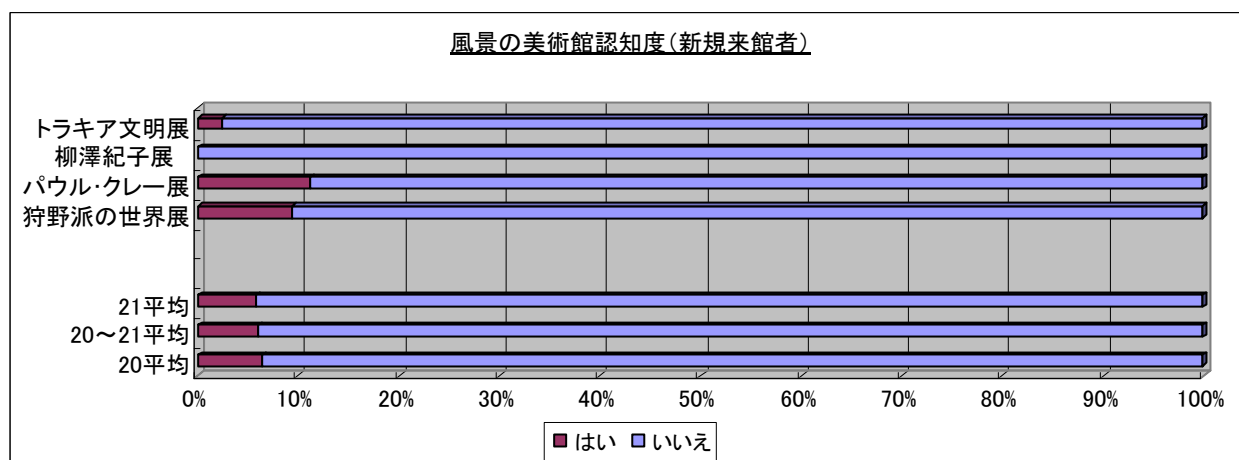
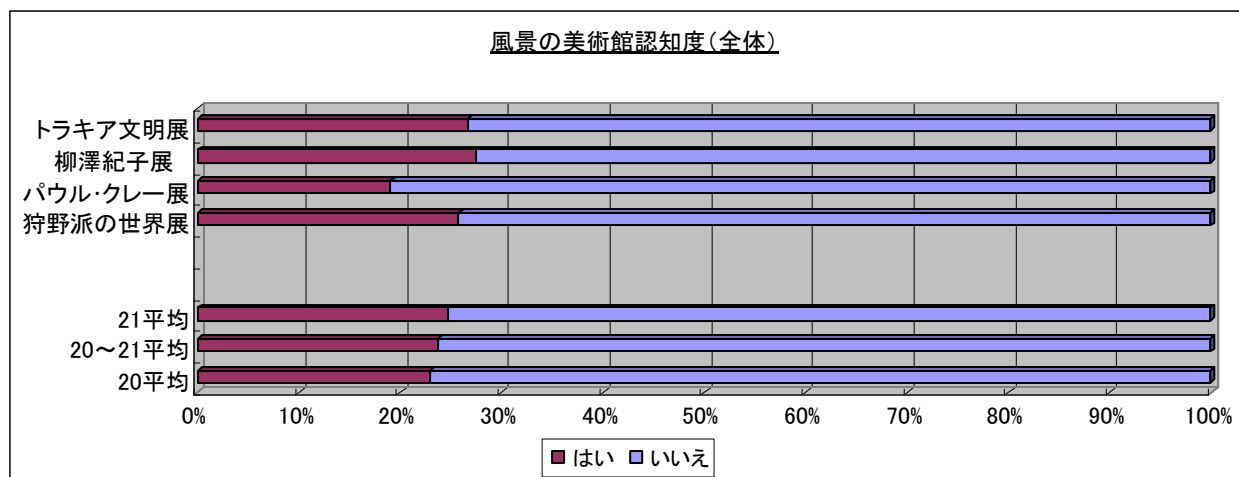


11) 「風景の美術館」であることを知っているか

| 風景の美術館認知度 (全体) | 認知度 | | 風景の美術館認知度 (新規来館者) | 認知度 | |
|----------------|-------|-------|-------------------|--------|-------|
| | いいえ | はい | | いいえ | はい |
| トラキア文明展 | 73.4% | 26.6% | トラキア文明展 | 97.5% | 2.5% |
| 柳澤紀子展 | 72.5% | 27.5% | 柳澤紀子展 | 100.0% | 0.0% |
| パウル・クレー展 | 80.9% | 19.1% | パウル・クレー展 | 88.8% | 11.2% |
| 狩野派の世界展 | 74.2% | 25.8% | 狩野派の世界展 | 90.6% | 9.4% |
| | | | | | |
| | | | | | |
| 21平均 | 75.2% | 24.8% | 21平均 | 94.2% | 5.8% |
| 20～21平均 | 76.2% | 23.8% | 20～21平均 | 93.9% | 6.1% |
| 20平均 | 77.1% | 22.9% | 20平均 | 93.6% | 6.4% |
| | | | | | |
| シャガール | 74.3% | 25.7% | シャガール | 96.3% | 3.7% |
| 鑑真和上 | 76.0% | 24.0% | 鑑真和上 | 90.6% | 9.4% |
| 1 2の旅 | 78.1% | 21.9% | 1 2の旅 | 88.9% | 11.1% |
| 風景ルルル | 84.4% | 15.6% | 風景ルルル | 97.3% | 2.7% |
| 朝鮮王朝 | 72.5% | 27.5% | 朝鮮王朝 | 95.0% | 5.0% |

「はい」は24.8%となった。平成20年度(22.9%)、平成19年度(25.4%)と推移している。新規来館者では「はい」は5.8%となり、平成20年度(6.4%)、平成19年度(7.5%)を下回った。来館者に認識されていない状況となっているが、観覧者にとって、認識することの意味や必要性が希薄であることが原因と考えられる。

本設問は「美術館カルテ」の「風景の美術館としての認知度」指標に対応している。



4 その他のアンケートの結果

(1) 教育・普及プログラム

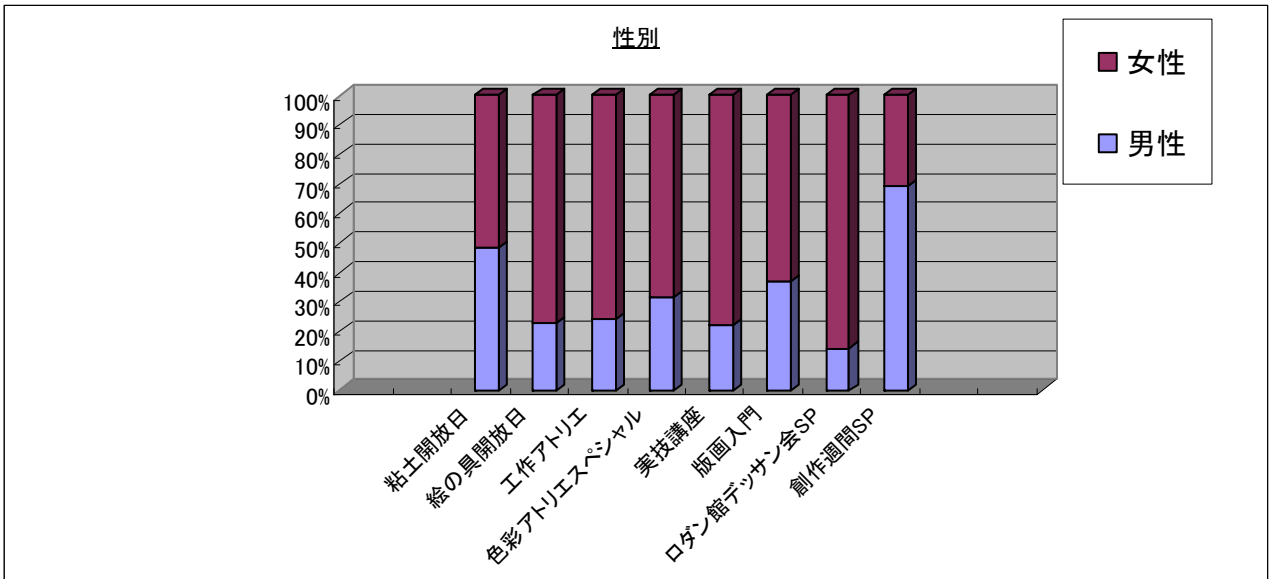
1) アンケートの状況

プログラム名：アンケート数 計 3 2 4

- ・粘土開放日
- ・絵の具開放日
- ・工作アトリエ
- ・色彩アトリエスペシャル
- ・実技講座
- ・版画入門
- ・ロダン館デッサンスペシャル
- ・創作週間スペシャル

2) 回答者の属性

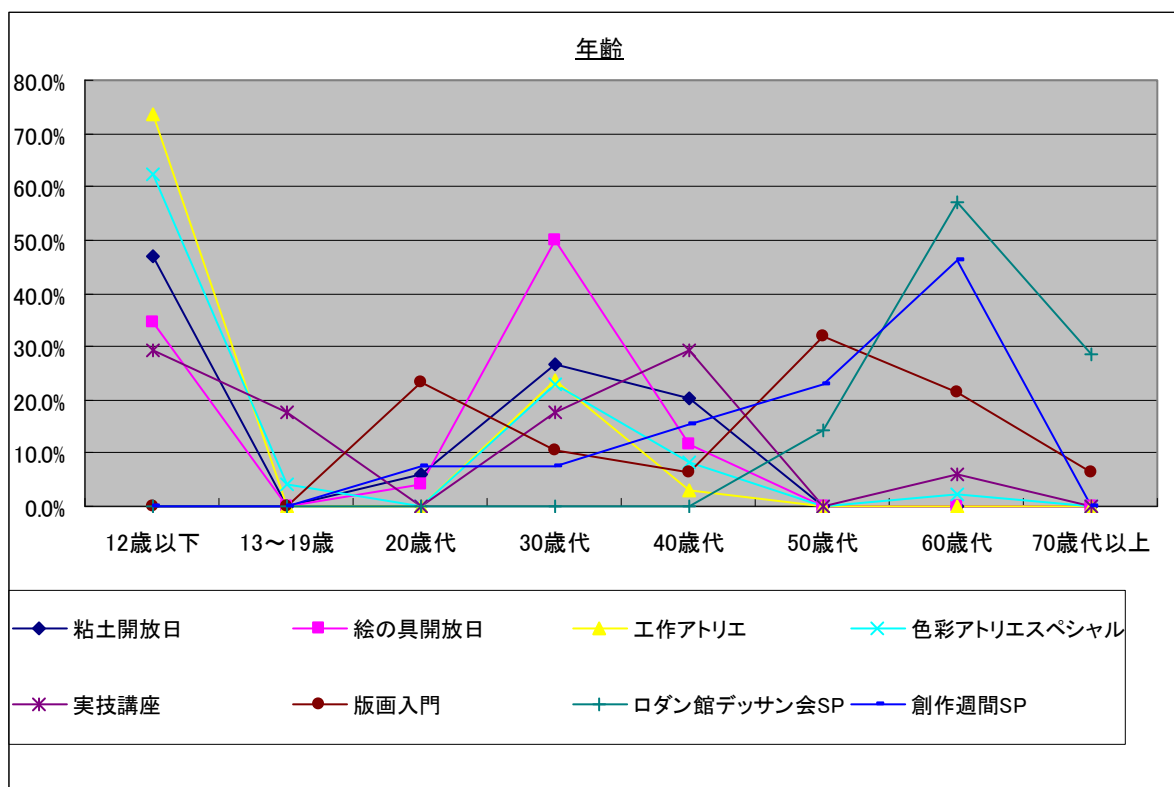
①性別



B-1 回答者の性別

| | 男性 | 女性 | 計 |
|-------------|-------|-------|--------|
| 粘土開放日 | 48.1% | 51.9% | 100.0% |
| 回答数=53 | 25 | 27 | 52 |
| 絵の具開放日 | 22.4% | 77.6% | 100.0% |
| 回答数=10 | 22 | 76 | 98 |
| 工作アトリエ | 24.2% | 75.8% | 100.0% |
| 回答数=34 | 8 | 25 | 33 |
| 色彩アトリエスペシャル | 31.3% | 68.8% | 100.0% |
| 回答数=51 | 15 | 33 | 48 |
| 実技講座 | 22.2% | 77.8% | 100.0% |
| 回答数=18 | 4 | 14 | 18 |
| 版画入門 | 37.0% | 63.0% | 100.0% |
| 回答数=47 | 17 | 29 | 46 |
| ロダン館デッサン会SP | 14.3% | 85.7% | 100.0% |
| 回答数=7 | 1 | 6 | 7 |
| 創作週間スペシャル | 69.2% | 30.8% | 100.0% |
| 回答数=13 | 9 | 4 | 13 |
| | | | 0.0% |
| | | | 0 |
| | | | 0.0% |
| | | | 0 |
| | | | 0.0% |
| | | | 0 |
| | | | 0.0% |
| | | | 0 |
| Total | 32.1% | 67.9% | 100.0% |
| | 101 | 214 | 315 |

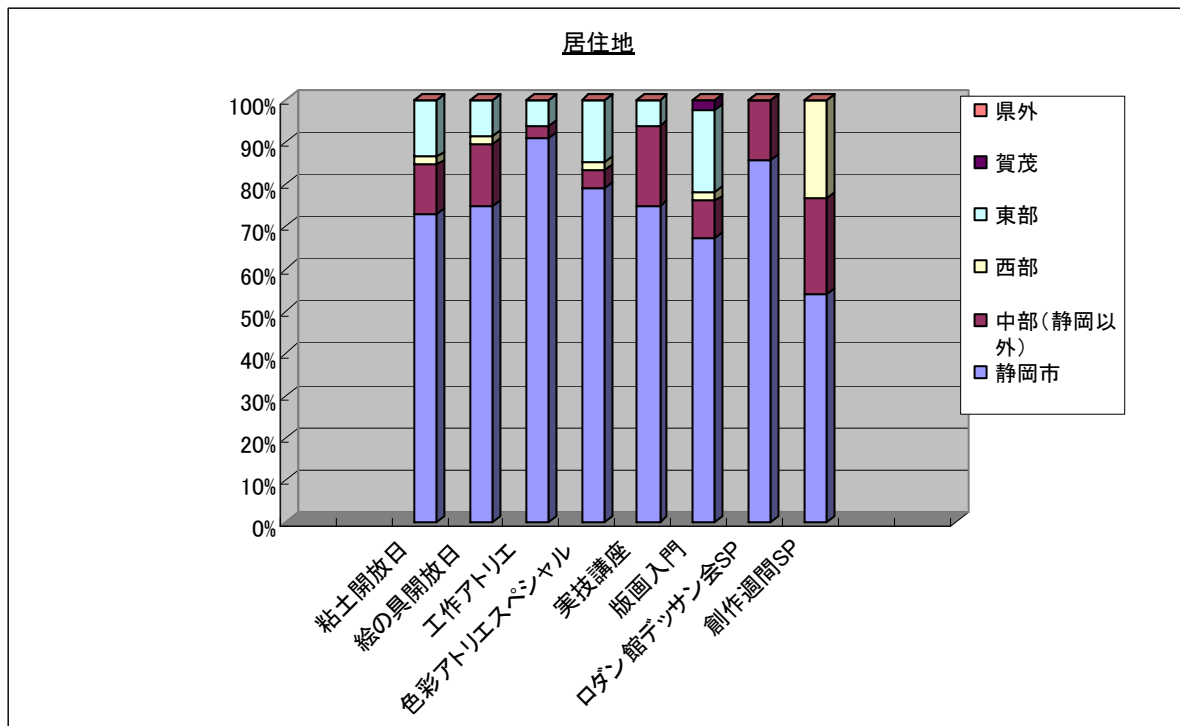
②年齢層



B-2 回答者の年齢

| | 12歳以下 | 13~19歳 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代以上 | 計 |
|-------------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| 粘土開放日 | 46.9% | 0.0% | 6.1% | 26.5% | 20.4% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=53 | 23 | 0 | 3 | 13 | 10 | 0 | 0 | 0 | 49 |
| 絵の具開放日 | 34.4% | 0.0% | 4.2% | 50.0% | 11.5% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=10 | 33 | 0 | 4 | 48 | 11 | 0 | 0 | 0 | 96 |
| 工作アトリエ | 73.5% | 0.0% | 0.0% | 23.5% | 2.9% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=34 | 25 | 0 | 0 | 8 | 1 | 0 | 0 | 0 | 34 |
| 色彩アトリエスペシャル | 62.5% | 4.2% | 0.0% | 22.9% | 8.3% | 0.0% | 2.1% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=51 | 30 | 2 | 0 | 11 | 4 | 0 | 1 | 0 | 48 |
| 実技講座 | 29.4% | 17.6% | 0.0% | 17.6% | 29.4% | 0.0% | 5.9% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=18 | 5 | 3 | 0 | 3 | 5 | 0 | 1 | 0 | 17 |
| 版画入門 | 0.0% | 0.0% | 23.4% | 10.6% | 6.4% | 31.9% | 21.3% | 6.4% | 100.0% |
| 回答数=47 | 0 | 0 | 11 | 5 | 3 | 15 | 10 | 3 | 47 |
| ロダン館デッサン会SP | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 14.3% | 57.1% | 28.6% | 100.0% |
| 回答数=7 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 4 | 2 | 7 |
| 創作週間スペシャル | 0.0% | 0.0% | 7.7% | 7.7% | 15.4% | 23.1% | 46.2% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=13 | 0 | 0 | 1 | 1 | 2 | 3 | 6 | 0 | 13 |
| | | | | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | | | | 0 |
| Total | 37.3% | 1.6% | 6.1% | 28.6% | 11.6% | 6.1% | 7.1% | 1.6% | 100.0% |
| | 116 | 5 | 19 | 89 | 36 | 19 | 22 | 5 | 311 |

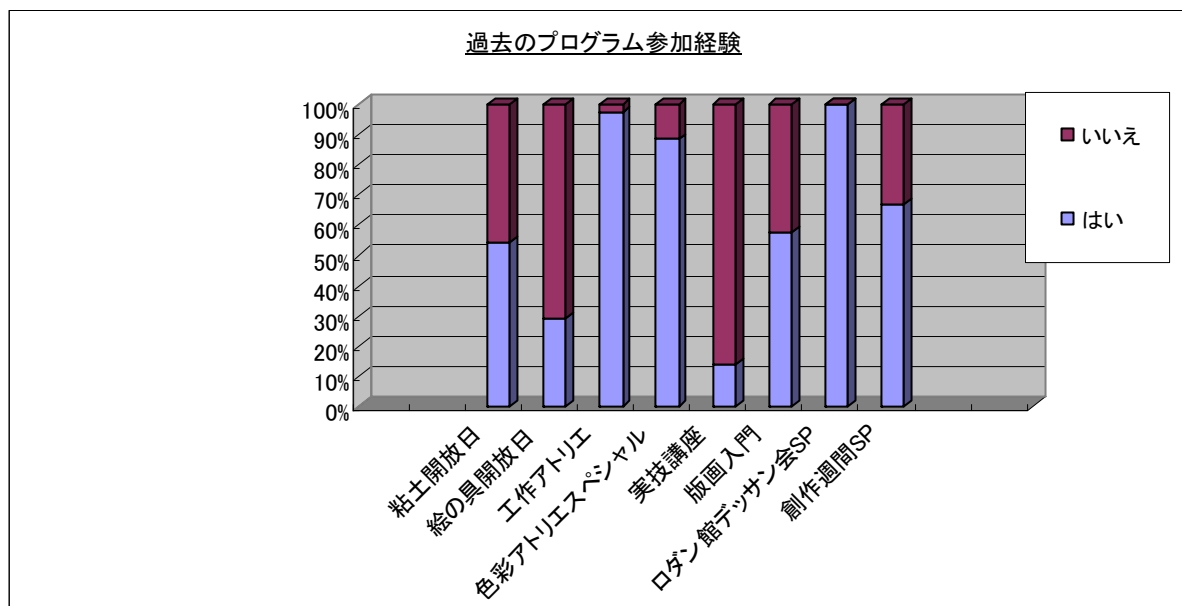
③居住地



B-3 回答者の居住地

| | 静岡市 | 中部(静岡以外) | 西部 | 東部 | 賀茂 | 県外 | 計 |
|-------------|-------|----------|-------|-------|------|------|--------|
| 粘土開放日 | 73.1% | 11.5% | 1.9% | 13.5% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=53 | 38 | 6 | 1 | 7 | 0 | 0 | 52 |
| 絵の具開放日 | 74.7% | 14.7% | 2.1% | 8.4% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=10 | 71 | 14 | 2 | 8 | 0 | 0 | 95 |
| 工作アトリエ | 90.9% | 3.0% | 0.0% | 6.1% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=34 | 30 | 1 | 0 | 2 | 0 | 0 | 33 |
| 色彩アトリエスペシャル | 79.2% | 4.2% | 2.1% | 14.6% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=51 | 38 | 2 | 1 | 7 | 0 | 0 | 48 |
| 実技講座 | 75.0% | 18.8% | 0.0% | 6.3% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=18 | 12 | 3 | 0 | 1 | 0 | 0 | 16 |
| 版画入門 | 67.4% | 8.7% | 2.2% | 19.6% | 2.2% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=47 | 31 | 4 | 1 | 9 | 1 | 0 | 46 |
| ロダン館デッサン会SP | 85.7% | 14.3% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=7 | 6 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 7 |
| 創作週間スペシャル | 53.8% | 23.1% | 23.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=13 | 7 | 3 | 3 | 0 | 0 | 0 | 13 |
| | | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | | 0 |
| Total | 75.2% | 11.0% | 2.6% | 11.0% | 0.3% | 0.0% | 100.0% |
| | 233 | 34 | 8 | 34 | 1 | 0 | 310 |

④過去のプログラムへの参加経験



B-4 過去のプログラムに参加経験

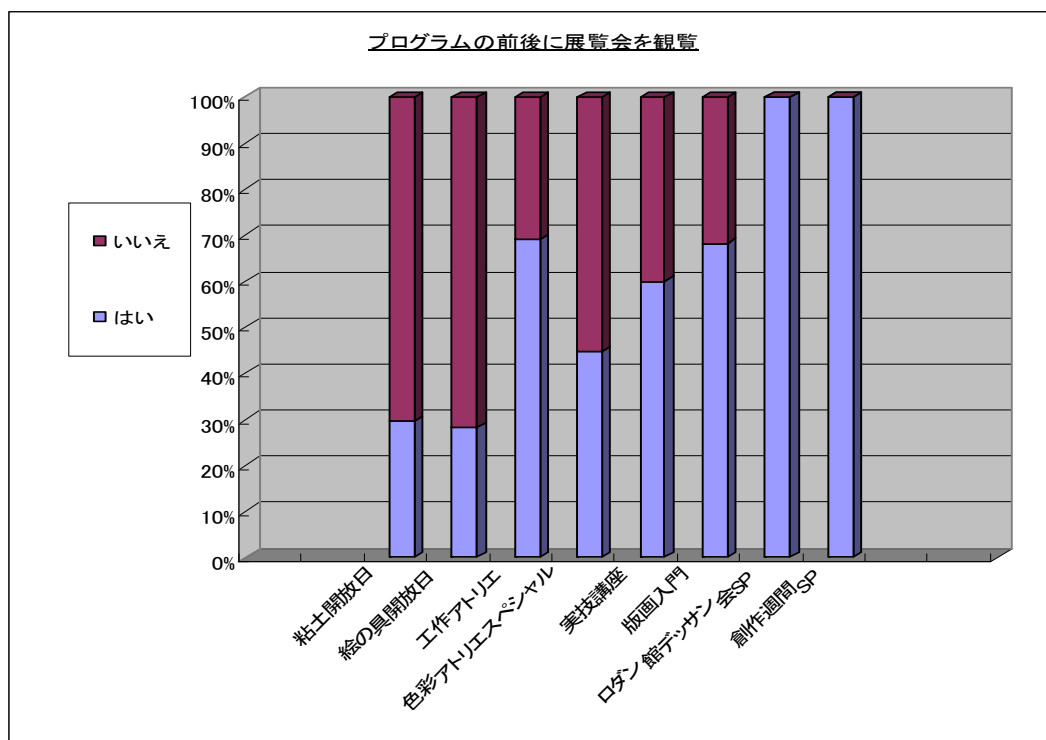
| | はい | いいえ | 計 |
|-------------|--------|-------|--------|
| 粘土開放日 | 54.2% | 45.8% | 100.0% |
| 回答数=53 | 26 | 22 | 48 |
| 絵の具開放日 | 29.5% | 70.5% | 100.0% |
| 回答数=10 | 28 | 67 | 95 |
| 工作アトリエ | 96.9% | 3.1% | 100.0% |
| 回答数=34 | 31 | 1 | 32 |
| 色彩アトリエスペシャル | 88.2% | 11.8% | 100.0% |
| 回答数=51 | 45 | 6 | 51 |
| 実技講座 | 14.3% | 85.7% | 100.0% |
| 回答数=18 | 2 | 12 | 14 |
| 版画入門 | 57.4% | 42.6% | 100.0% |
| 回答数=47 | 27 | 20 | 47 |
| ロダン館デッサン会SP | 100.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=7 | 7 | 0 | 7 |
| 創作週間スペシャル | 66.7% | 33.3% | 100.0% |
| 回答数=13 | 8 | 4 | 12 |
| | | | 0.0% |
| | | | 0 |
| | | | 0.0% |
| | | | 0 |
| | | | 0.0% |
| | | | 0 |
| | | | 0.0% |
| | | | 0 |
| Total | 56.9% | 43.1% | 100.0% |
| | 174 | 132 | 306 |

⑤プログラムの前後に展覧会を観覧

「はい」と答えた割合は47.6%となり、平成20年度(41.8%)、平成19年度(35.8%)から上昇している。

「いいえ」の回答が多いプログラムは概ね「時間がない」という理由になっている。

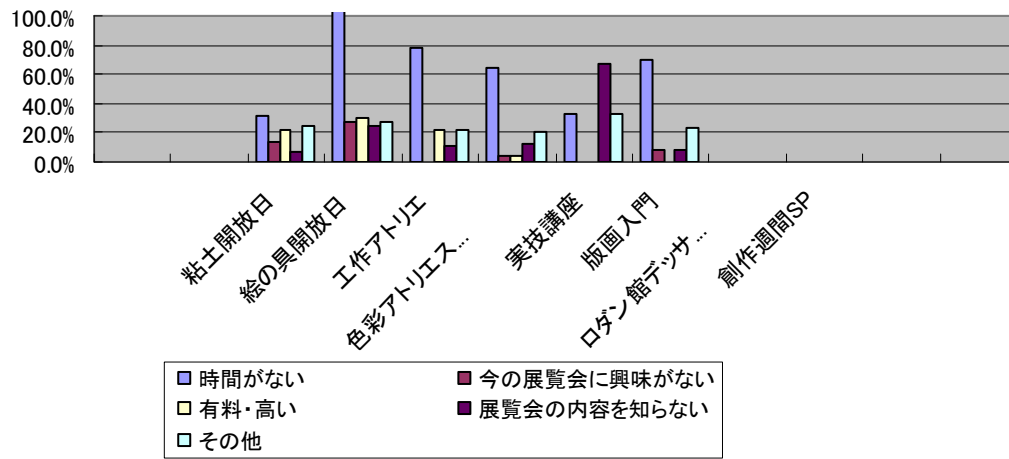
本設問は「美術館カルテ」の「実技系プログラムに参加した人で展覧会も観覧した人の割合」指標に対応している。



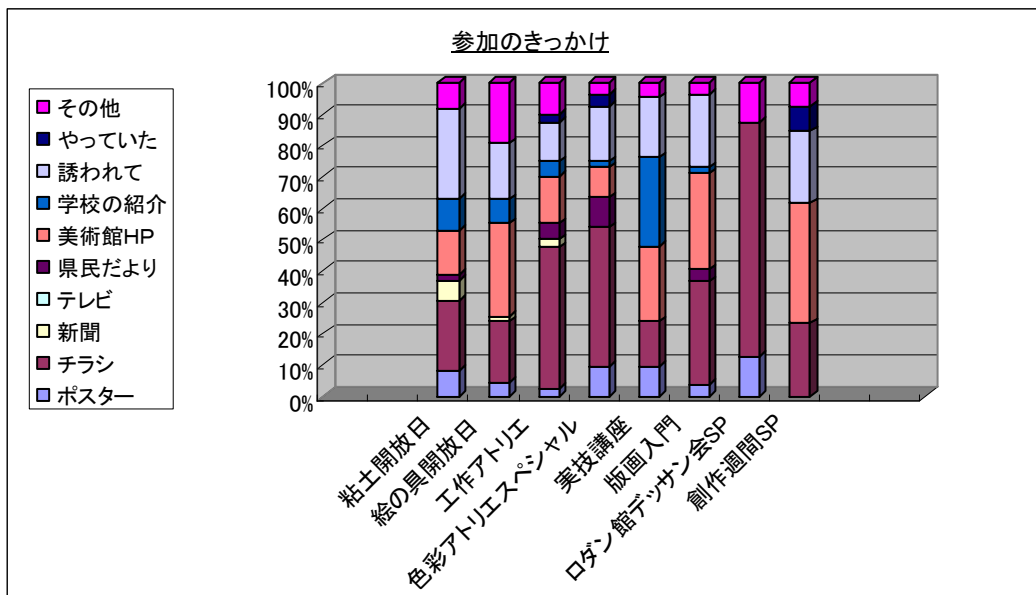
B-5 前後に展覧会へ

| | はい | いいえ | 計 |
|-------------|--------|-------|--------|
| 粘土開放日 | 29.5% | 70.5% | 100.0% |
| 回答数=53 | 13 | 31 | 44 |
| 絵の具開放日 | 28.3% | 71.7% | 100.0% |
| 回答数=10 | 26 | 66 | 92 |
| 工作アトリエ | 69.0% | 31.0% | 100.0% |
| 回答数=34 | 20 | 9 | 29 |
| 色彩アトリエスペシャル | 44.7% | 55.3% | 100.0% |
| 回答数=51 | 21 | 26 | 47 |
| 実技講座 | 60.0% | 40.0% | 100.0% |
| 回答数=18 | 9 | 6 | 15 |
| 版画入門 | 68.2% | 31.8% | 100.0% |
| 回答数=47 | 30 | 14 | 44 |
| ロダン館デッサン会SP | 100.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=7 | 7 | 0 | 7 |
| 創作週間スペシャル | 100.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数=13 | 12 | 0 | 12 |
| | | | 100.0% |
| | | | 0 |
| | | | 100.0% |
| | | | 0 |
| | | | 100.0% |
| | | | 0 |
| | | | 100.0% |
| | | | 0 |
| Total | 47.6% | 52.4% | 100.0% |
| | 138 | 152 | 290 |

「いいえ」の理由



⑥参加のきっかけ

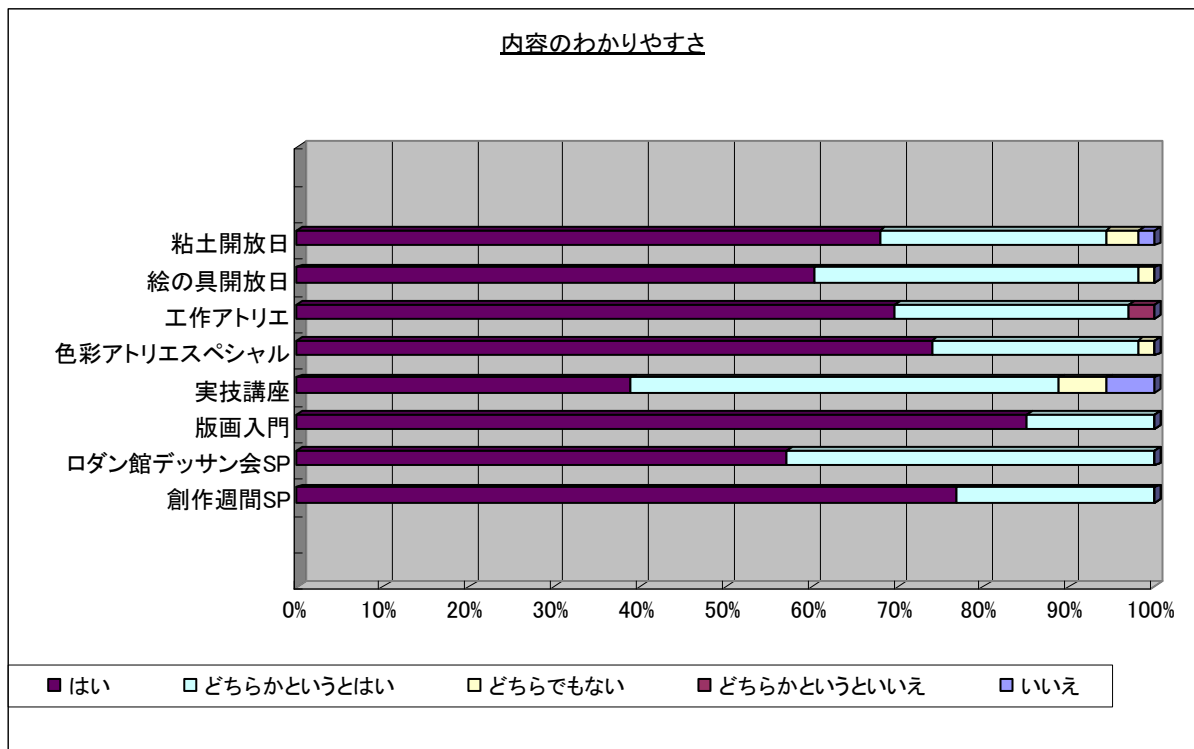


B-6 参加の「きっかけ」「理由」(複数回答)

| | ポスター | チラシ | 新聞 | テレビ | 県民だより | 美術館HP | 学校の紹介 | 誘われて | やっていた | その他 | 回答者数 |
|-------------|-------|-------|------|------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|------|
| 粘土開放日 | 9.8% | 26.8% | 7.3% | 0.0% | 2.4% | 17.1% | 12.2% | 34.1% | 0.0% | 9.8% | |
| 回答数=53 | 4 | 11 | 3 | 0 | 1 | 7 | 5 | 14 | 0 | 4 | 49 |
| 絵の具開放日 | 5.3% | 22.8% | 1.8% | 0.0% | 0.0% | 35.1% | 8.8% | 21.1% | 0.0% | 22.8% | |
| 回答数=10 | 3 | 13 | 1 | 0 | 0 | 20 | 5 | 12 | 0 | 13 | 67 |
| 工作アトリエ | 3.1% | 56.3% | 3.1% | 0.0% | 6.3% | 18.8% | 6.3% | 15.6% | 3.1% | 12.5% | |
| 回答数=34 | 1 | 18 | 1 | 0 | 2 | 6 | 2 | 5 | 1 | 4 | 40 |
| 色彩アトリエスペシャル | 10.6% | 48.9% | 0.0% | 0.0% | 10.6% | 10.6% | 2.1% | 19.1% | 4.3% | 4.3% | |
| 回答数=51 | 5 | 23 | 0 | 0 | 5 | 5 | 1 | 9 | 2 | 2 | 52 |
| 実技講座 | 11.8% | 17.6% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 29.4% | 35.3% | 23.5% | 0.0% | 5.9% | |
| 回答数=18 | 2 | 3 | 0 | 0 | 0 | 5 | 6 | 4 | 0 | 1 | 21 |
| 版画入門 | 4.3% | 37.0% | 0.0% | 0.0% | 4.3% | 34.8% | 2.2% | 26.1% | 0.0% | 4.3% | |
| 回答数=47 | 2 | 17 | 0 | 0 | 2 | 16 | 1 | 12 | 0 | 2 | 52 |
| ロダン館デッサン会SP | 14.3% | 85.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 14.3% | |
| 回答数=7 | 1 | 6 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 8 |
| 創作週間スペシャル | 0.0% | 23.1% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 38.5% | 0.0% | 23.1% | 7.7% | 7.7% | |
| 回答数=13 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 5 | 0 | 3 | 1 | 1 | 13 |
| | | | | | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | | | | | 0 |
| | | | | | | | | | | | 0 |
| Total | 6.0% | 31.1% | 1.7% | 0.0% | 3.3% | 21.2% | 6.6% | 19.5% | 1.3% | 9.3% | |
| | 18 | 94 | 5 | 0 | 10 | 64 | 20 | 59 | 4 | 28 | 302 |

3) プログラム内容について

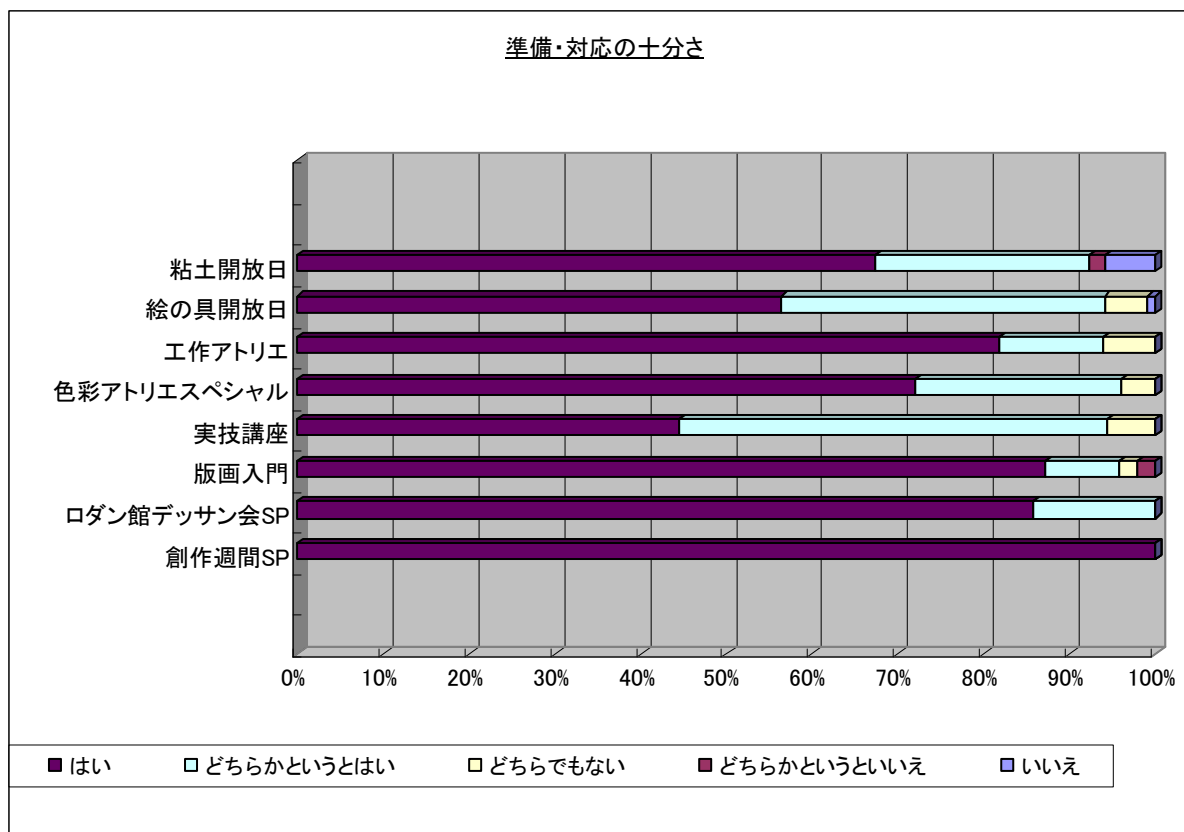
①内容のわかりやすさ



A-1 内容のわかりやすさ

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 計 |
|-------------|------|-------------|---------|------------|-------|--------|
| 粘土開放日 | 1.9% | 0.0% | 3.8% | 26.4% | 67.9% | 100.0% |
| 回答数=53 | 1 | 0 | 2 | 14 | 36 | 53 |
| 絵の具開放日 | 0.0% | 0.0% | 2.0% | 37.6% | 60.4% | 100.0% |
| 回答数=10 | 0 | 0 | 2 | 38 | 61 | 101 |
| 工作アトリエ | 0.0% | 3.0% | 0.0% | 27.3% | 69.7% | 100.0% |
| 回答数=34 | 0 | 1 | 0 | 9 | 23 | 33 |
| 色彩アトリエスペシャル | 0.0% | 0.0% | 2.0% | 24.0% | 74.0% | 100.0% |
| 回答数=51 | 0 | 0 | 1 | 12 | 37 | 50 |
| 実技講座 | 5.6% | 0.0% | 5.6% | 50.0% | 38.9% | 100.0% |
| 回答数=18 | 1 | 0 | 1 | 9 | 7 | 18 |
| 版画入門 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 14.9% | 85.1% | 100.0% |
| 回答数=47 | 0 | 0 | 0 | 7 | 40 | 47 |
| ロダン館デッサン会SP | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 42.9% | 57.1% | 100.0% |
| 回答数=7 | 0 | 0 | 0 | 3 | 4 | 7 |
| 創作週間スペシャル | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 23.1% | 76.9% | 100.0% |
| 回答数=13 | 0 | 0 | 0 | 3 | 10 | 13 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| Total | 0.6% | 0.3% | 1.9% | 29.5% | 67.7% | 100.0% |
| | 2 | 1 | 6 | 95 | 218 | 322 |

②準備・対応の十分さ

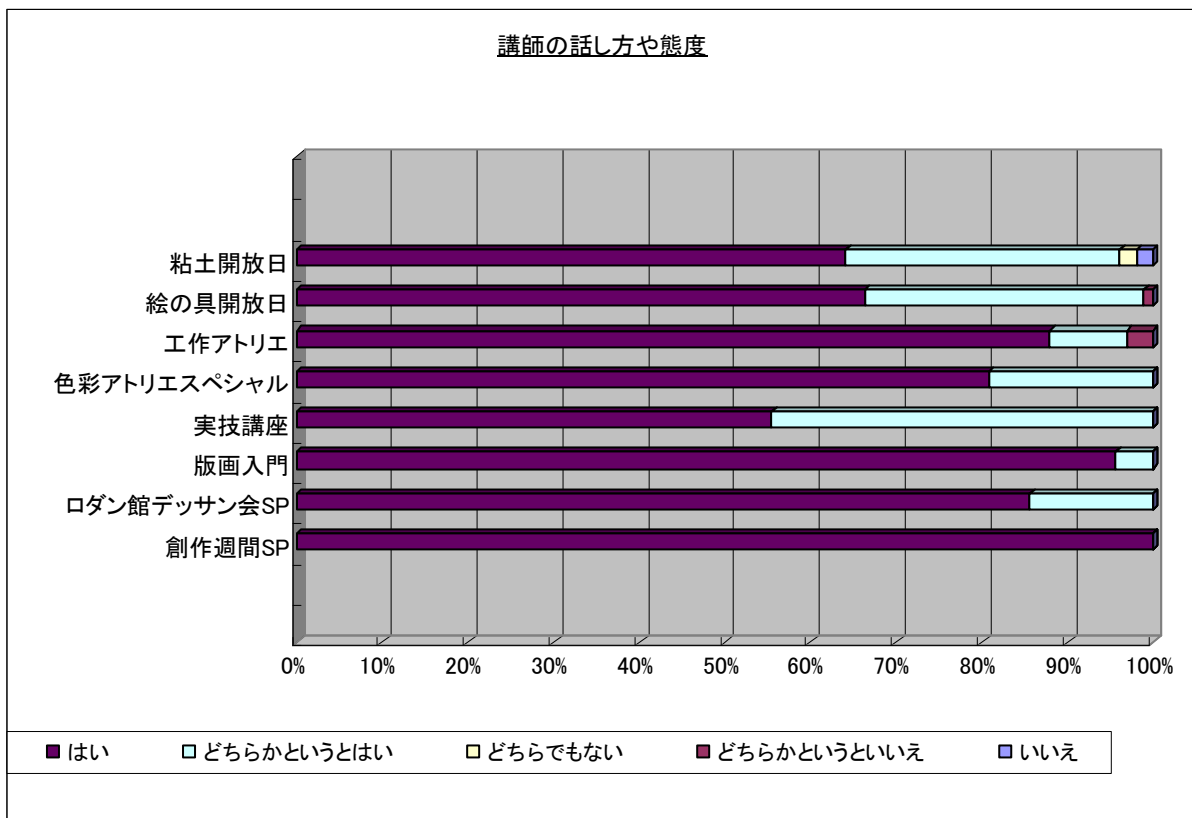


A-2 準備・対応の十分さ

| | いいえ | どちらかというといいえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 計 |
|-------------|------|-------------|---------|------------|--------|--------|
| 粘土開放日 | 5.8% | 1.9% | 0.0% | 25.0% | 67.3% | 100.0% |
| 回答数=53 | 3 | 1 | 0 | 13 | 35 | 52 |
| 絵の具開放日 | 1.0% | 0.0% | 5.0% | 37.6% | 56.4% | 100.0% |
| 回答数=10 | 1 | 0 | 5 | 38 | 57 | 101 |
| 工作アトリエ | 0.0% | 0.0% | 6.1% | 12.1% | 81.8% | 100.0% |
| 回答数=34 | 0 | 0 | 2 | 4 | 27 | 33 |
| 色彩アトリエスペシャル | 0.0% | 0.0% | 4.0% | 24.0% | 72.0% | 100.0% |
| 回答数=51 | 0 | 0 | 2 | 12 | 36 | 50 |
| 実技講座 | 0.0% | 0.0% | 5.6% | 50.0% | 44.4% | 100.0% |
| 回答数=18 | 0 | 0 | 1 | 9 | 8 | 18 |
| 版画入門 | 0.0% | 2.1% | 2.1% | 8.5% | 87.2% | 100.0% |
| 回答数=47 | 0 | 1 | 1 | 4 | 41 | 47 |
| ロダン館デッサン会SP | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 14.3% | 85.7% | 100.0% |
| 回答数=7 | 0 | 0 | 0 | 1 | 6 | 7 |
| 創作週間スペシャル | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% | 100.0% |
| 回答数=13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 13 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| Total | 1.2% | 0.6% | 3.4% | 25.2% | 69.5% | 100.0% |
| | 4 | 2 | 11 | 81 | 223 | 321 |

③講師の話し方や態度

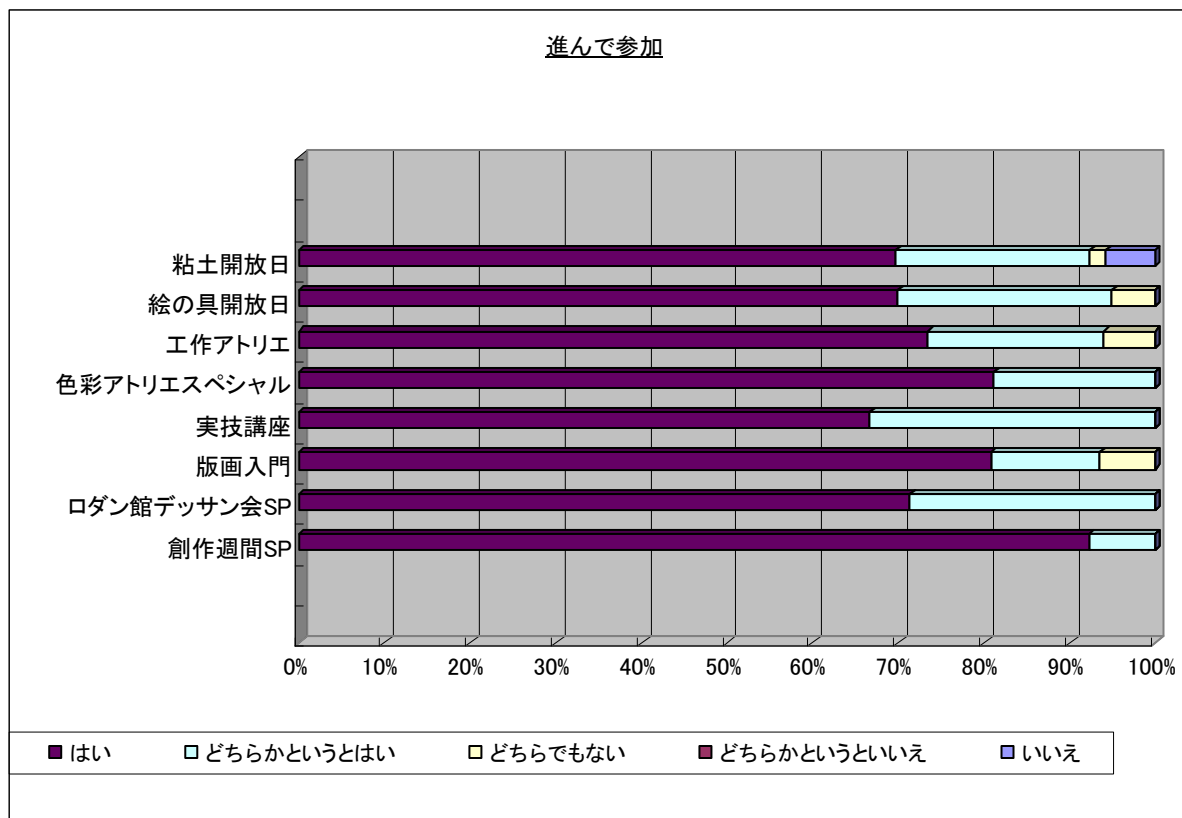
講師の話し方や態度



A-3 講師の話し方や態度

| | いいえ | どちらかというといえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 計 |
|-------------|------|------------|---------|------------|--------|--------|
| 粘土開放日 | 1.9% | 0.0% | 1.9% | 32.1% | 64.2% | 100.0% |
| 回答数=53 | 1 | 0 | 1 | 17 | 34 | 53 |
| 絵の具開放日 | 0.0% | 1.0% | 0.0% | 32.7% | 66.3% | 100.0% |
| 回答数=10 | 0 | 1 | 0 | 33 | 67 | 101 |
| 工作アトリエ | 0.0% | 3.0% | 0.0% | 9.1% | 87.9% | 100.0% |
| 回答数=34 | 0 | 1 | 0 | 3 | 29 | 33 |
| 色彩アトリエスペシャル | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 19.1% | 80.9% | 100.0% |
| 回答数=51 | 0 | 0 | 0 | 9 | 38 | 47 |
| 実技講座 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 44.4% | 55.6% | 100.0% |
| 回答数=18 | 0 | 0 | 0 | 8 | 10 | 18 |
| 版画入門 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 4.3% | 95.7% | 100.0% |
| 回答数=47 | 0 | 0 | 0 | 2 | 44 | 46 |
| ロダン館デッサン会SP | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 14.3% | 85.7% | 100.0% |
| 回答数=7 | 0 | 0 | 0 | 1 | 6 | 7 |
| 創作週間スペシャル | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% | 100.0% |
| 回答数=13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 12 | 12 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| Total | 0.3% | 0.6% | 0.3% | 23.0% | 75.7% | 100.0% |
| | 1 | 2 | 1 | 73 | 240 | 317 |

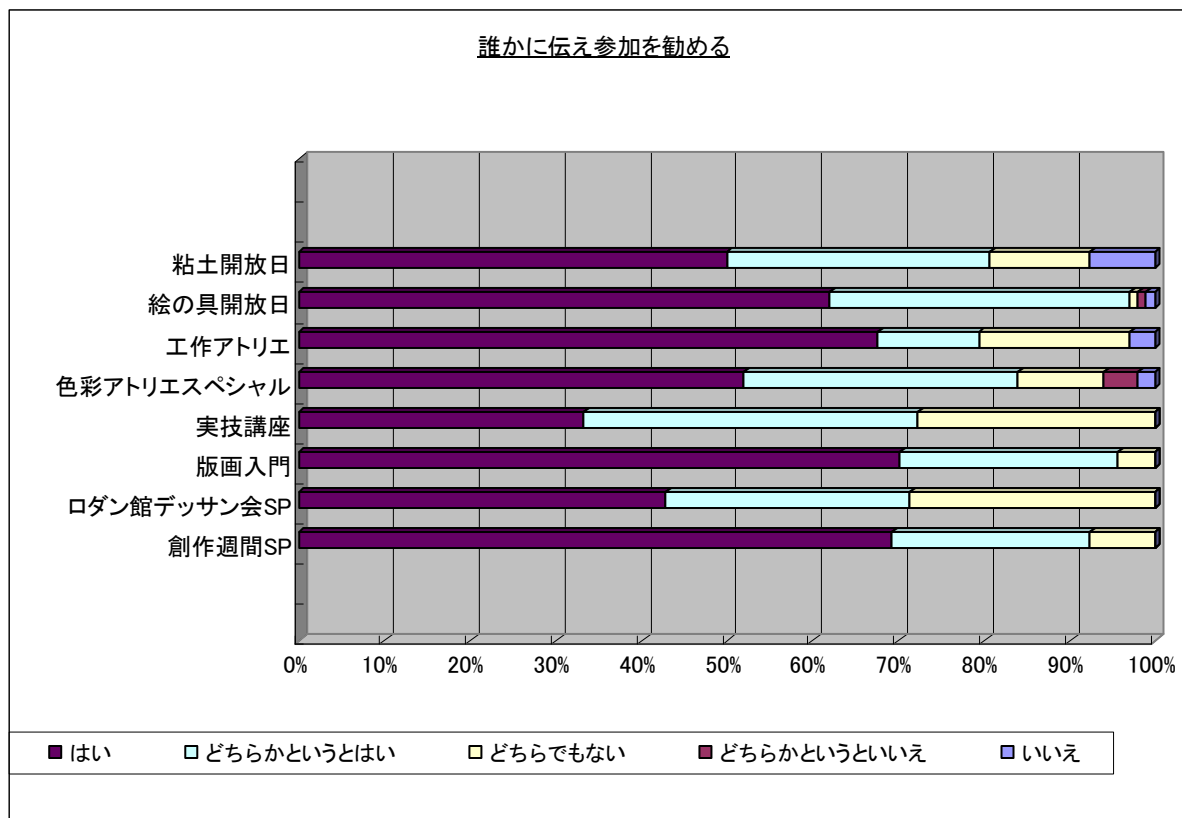
④プログラムに進んで参加できたか



A-4 進んで参加

| | いいえ | どちらかというといえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 計 |
|-------------|------|------------|---------|------------|-------|--------|
| 粘土開放日 | 5.7% | 0.0% | 1.9% | 22.6% | 69.8% | 100.0% |
| 回答数=53 | 3 | 0 | 1 | 12 | 37 | 53 |
| 絵の具開放日 | 0.0% | 0.0% | 5.0% | 25.0% | 70.0% | 100.0% |
| 回答数=10 | 0 | 0 | 5 | 25 | 70 | 100 |
| 工作アトリエ | 0.0% | 0.0% | 5.9% | 20.6% | 73.5% | 100.0% |
| 回答数=34 | 0 | 0 | 2 | 7 | 25 | 34 |
| 色彩アトリエスペシャル | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 18.8% | 81.3% | 100.0% |
| 回答数=51 | 0 | 0 | 0 | 9 | 39 | 48 |
| 実技講座 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 33.3% | 66.7% | 100.0% |
| 回答数=18 | 0 | 0 | 0 | 6 | 12 | 18 |
| 版画入門 | 0.0% | 0.0% | 6.4% | 12.8% | 80.9% | 100.0% |
| 回答数=47 | 0 | 0 | 3 | 6 | 38 | 47 |
| ロダン館デッサン会SP | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 28.6% | 71.4% | 100.0% |
| 回答数=7 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 | 7 |
| 創作週間スペシャル | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 7.7% | 92.3% | 100.0% |
| 回答数=13 | 0 | 0 | 0 | 1 | 12 | 13 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| Total | 0.9% | 0.0% | 3.4% | 21.3% | 74.4% | 100.0% |
| | 3 | 0 | 11 | 68 | 238 | 320 |

⑤誰かに伝え、勧める

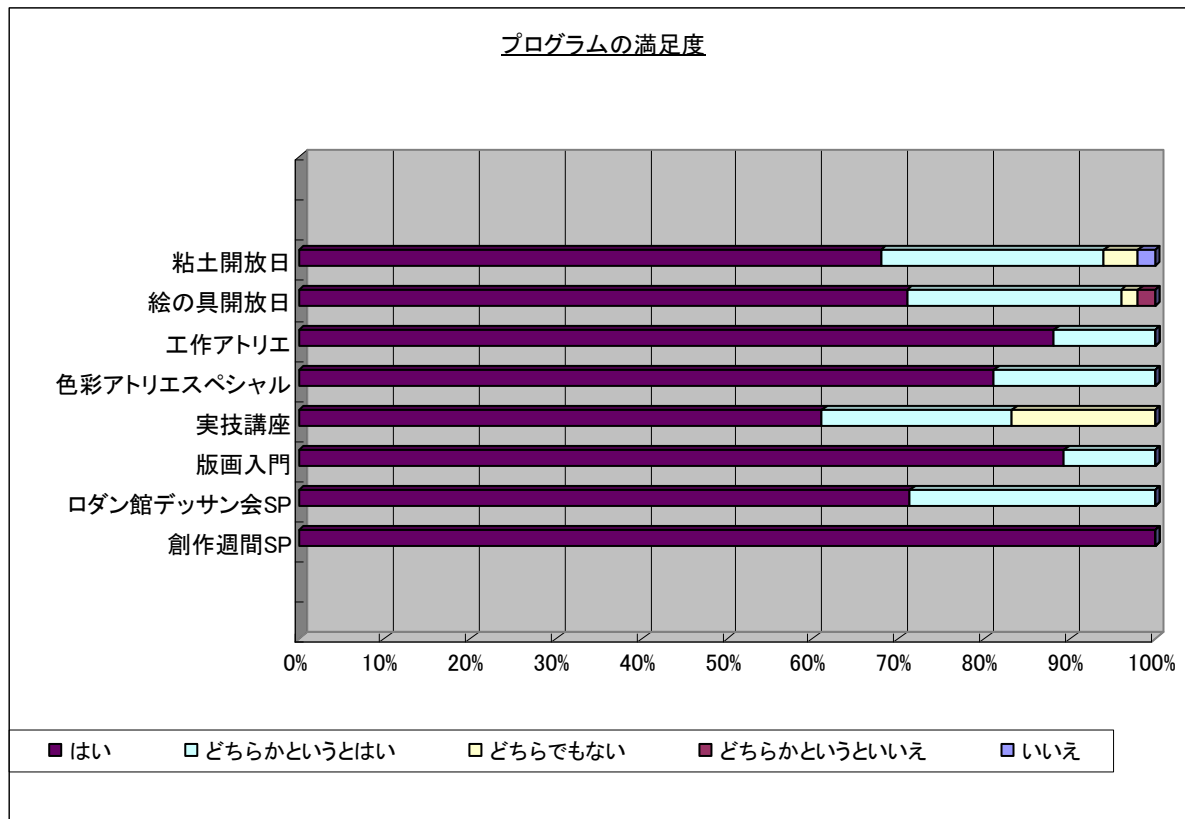


A-5 誰かに伝え、参加を勧める

| | いいえ | どちらかというといえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 計 |
|-------------|------|------------|---------|------------|-------|--------|
| 粘土開放日 | 7.7% | 0.0% | 11.5% | 30.8% | 50.0% | 100.0% |
| 回答数=53 | 4 | 0 | 6 | 16 | 26 | 52 |
| 絵の具開放日 | 1.0% | 1.0% | 1.0% | 35.0% | 62.0% | 100.0% |
| 回答数=10 | 1 | 1 | 1 | 35 | 62 | 100 |
| 工作アトリエ | 2.9% | 0.0% | 17.6% | 11.8% | 67.6% | 100.0% |
| 回答数=34 | 1 | 0 | 6 | 4 | 23 | 34 |
| 色彩アトリエスペシャル | 2.0% | 4.0% | 10.0% | 32.0% | 52.0% | 100.0% |
| 回答数=51 | 1 | 2 | 5 | 16 | 26 | 50 |
| 実技講座 | 0.0% | 0.0% | 27.8% | 38.9% | 33.3% | 100.0% |
| 回答数=18 | 0 | 0 | 5 | 7 | 6 | 18 |
| 版画入門 | 0.0% | 0.0% | 4.3% | 25.5% | 70.2% | 100.0% |
| 回答数=47 | 0 | 0 | 2 | 12 | 33 | 47 |
| ロダン館デッサン会SP | 0.0% | 0.0% | 28.6% | 28.6% | 42.9% | 100.0% |
| 回答数=7 | 0 | 0 | 2 | 2 | 3 | 7 |
| 創作週間スペシャル | 0.0% | 0.0% | 7.7% | 23.1% | 69.2% | 100.0% |
| 回答数=13 | 0 | 0 | 1 | 3 | 9 | 13 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| Total | 2.2% | 0.9% | 8.7% | 29.6% | 58.6% | 100.0% |
| | 7 | 3 | 28 | 95 | 188 | 321 |

⑥プログラムの満足度

「はい」と「どちらかというとはい」を合わせた肯定的評価は96.9%と非常に高い評価。本設問は「美術館カルテ」の「教育・普及プログラムの満足度」指標として、総合満足度を測定するために平成19年度から追加されている。平成20年度（97.8%）、平成19年度（97.9%）



A-6 プログラムの満足度

| | いいえ | どちらかというといえ | どちらでもない | どちらかというとはい | はい | 計 |
|-------------|------|------------|---------|------------|--------|--------|
| 粘土開放日 | 2.0% | 0.0% | 4.0% | 26.0% | 68.0% | 100.0% |
| 回答数=53 | 1 | 0 | 2 | 13 | 34 | 50 |
| 絵の具開放日 | 0.0% | 2.0% | 2.0% | 25.0% | 71.0% | 100.0% |
| 回答数=10 | 0 | 2 | 2 | 25 | 71 | 100 |
| 工作アトリエ | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 11.8% | 88.2% | 100.0% |
| 回答数=34 | 0 | 0 | 0 | 4 | 30 | 34 |
| 色彩アトリエスペシャル | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 18.8% | 81.3% | 100.0% |
| 回答数=51 | 0 | 0 | 0 | 9 | 39 | 48 |
| 実技講座 | 0.0% | 0.0% | 16.7% | 22.2% | 61.1% | 100.0% |
| 回答数=18 | 0 | 0 | 3 | 4 | 11 | 18 |
| 版画入門 | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 10.6% | 89.4% | 100.0% |
| 回答数=47 | 0 | 0 | 0 | 5 | 42 | 47 |
| ロダン館デッサン会SP | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 28.6% | 71.4% | 100.0% |
| 回答数=7 | 0 | 0 | 0 | 2 | 5 | 7 |
| 創作週間スペシャル | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% | 100.0% |
| 回答数=13 | 0 | 0 | 0 | 0 | 13 | 13 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| | | | | | | 0.0% |
| | | | | | | 0 |
| Total | 0.3% | 0.6% | 2.2% | 19.6% | 77.3% | 100.0% |
| | 1 | 2 | 7 | 62 | 245 | 317 |

(2) レストラン

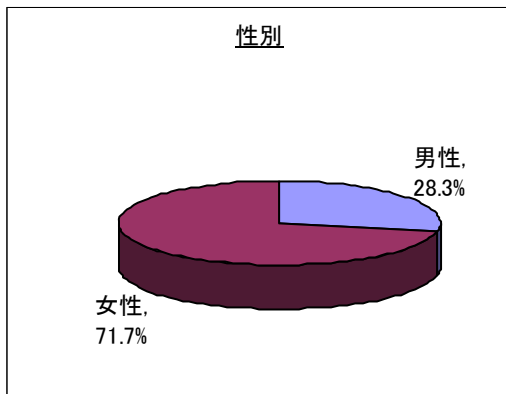
1) アンケートの状況

実施期間：平成 21 年 4 月から平成 21 年 10 月

アンケート数：185

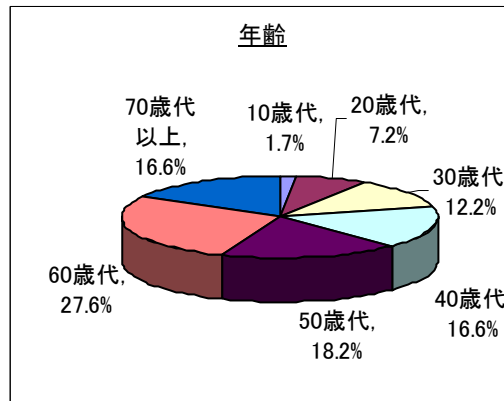
2) 回答者の属性

①性別



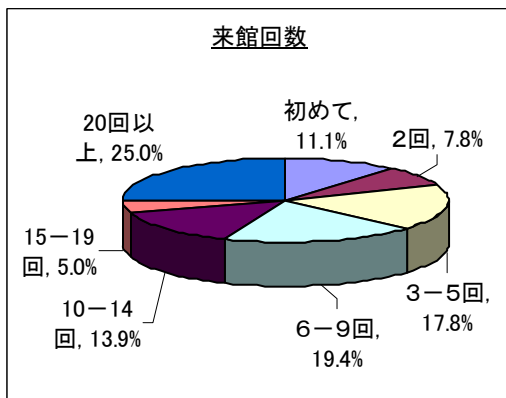
| | 男性 | 女性 | 計 |
|-----|-------|-------|--------|
| % | 28.3% | 71.7% | 100.0% |
| 回答数 | 51 | 129 | 180 |

②年齢



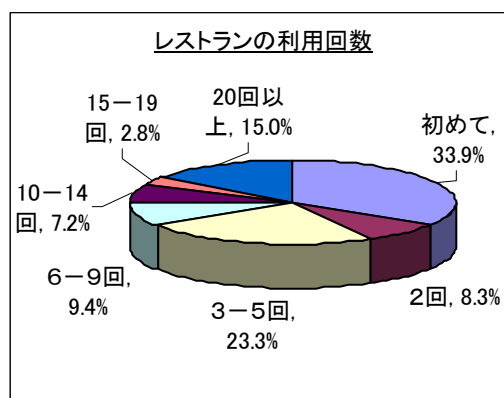
| | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代以上 | 計 |
|-----|------|------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| % | 1.7% | 7.2% | 12.2% | 16.6% | 18.2% | 27.6% | 16.6% | 100.0% |
| 回答数 | 3 | 13 | 22 | 30 | 33 | 50 | 30 | 181 |

③来館回数



| | 初めて | 2回 | 3-5回 | 6-9回 | 10-14回 | 15-19回 | 20回以上 | 計 |
|-----|-------|------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|
| % | 11.1% | 7.8% | 17.8% | 19.4% | 13.9% | 5.0% | 25.0% | 100.0% |
| 回答数 | 20 | 14 | 32 | 35 | 25 | 9 | 45 | 180 |

④レストランの利用回数

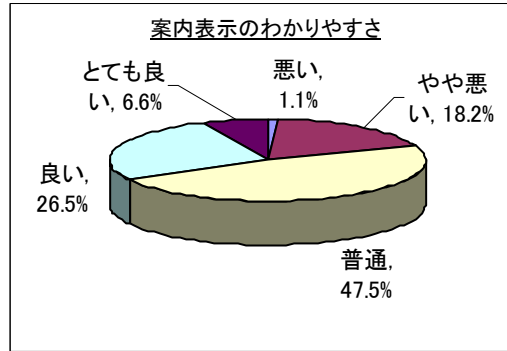
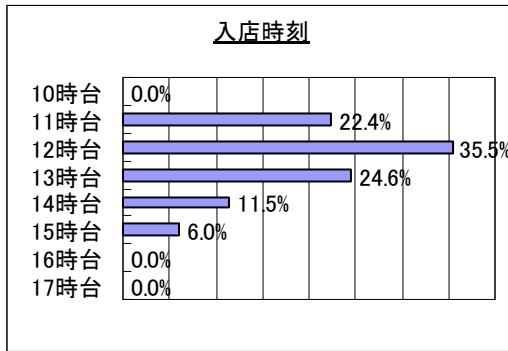


| | 初めて | 2回 | 3-5回 | 6-9回 | 10-14回 | 15-19回 | 20回以上 | 計 |
|-----|-------|------|-------|------|--------|--------|-------|--------|
| % | 33.9% | 8.3% | 23.3% | 9.4% | 7.2% | 2.8% | 15.0% | 100.0% |
| 回答数 | 61 | 15 | 42 | 17 | 13 | 5 | 27 | 180 |

3) レストランの利用について

⑤入店時刻

①案内表示はわかりやすいか



A-1 入店時刻

| | 10時台 | 11時台 | 12時台 | 13時台 | 14時台 | 15時台 | 16時台 | 17時台 | 計 |
|-----|------|-------|-------|-------|-------|------|------|------|--------|
| % | 0.0% | 22.4% | 35.5% | 24.6% | 11.5% | 6.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数 | 0 | 41 | 65 | 45 | 21 | 11 | 0 | 0 | 183 |

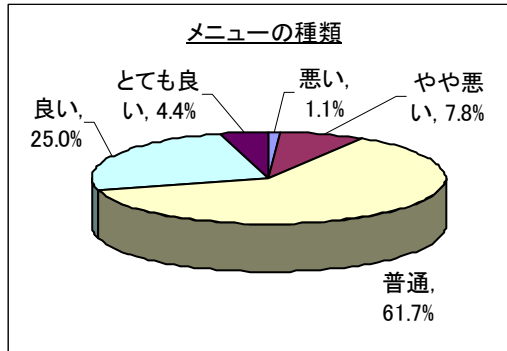
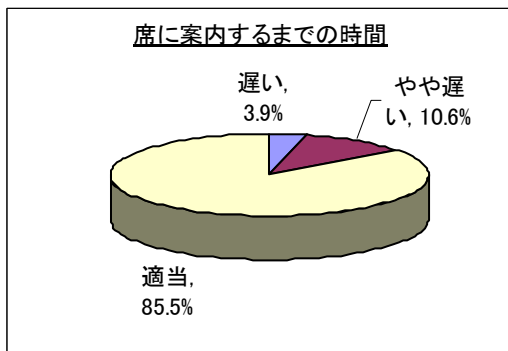
※A-2 注文内容 (略)

A-3 案内表示は分かりやすか

| | 悪い | やや悪い | 普通 | 良い | とても良い | 計 |
|-----|------|-------|-------|-------|-------|--------|
| % | 1.1% | 18.2% | 47.5% | 26.5% | 6.6% | 100.0% |
| 回答数 | 2 | 33 | 86 | 48 | 12 | 181 |

②席に案内するまでの時間

③メニューの種類



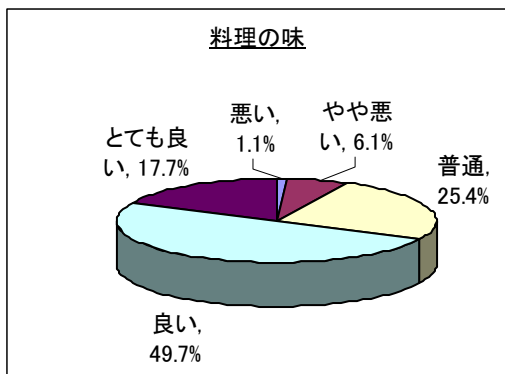
A-4 席に案内するまでの時間

| | 遅い | やや遅い | 適当 | 計 |
|-----|------|-------|-------|--------|
| % | 3.9% | 10.6% | 85.5% | 100.0% |
| 回答数 | 7 | 19 | 153 | 179 |

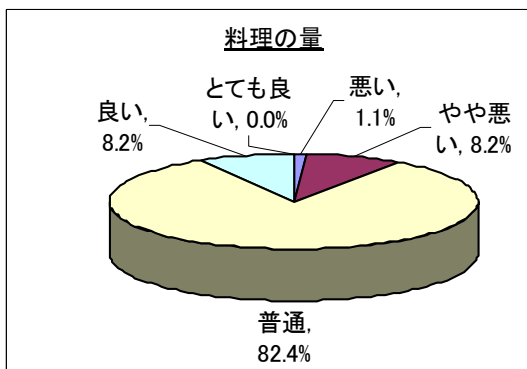
A-5 メニューの種類

| | 悪い | やや悪い | 普通 | 良い | とても良い | 計 |
|-----|------|------|-------|-------|-------|--------|
| % | 1.1% | 7.8% | 61.7% | 25.0% | 4.4% | 100.0% |
| 回答数 | 2 | 14 | 111 | 45 | 8 | 180 |

④料理の味



⑤料理の量



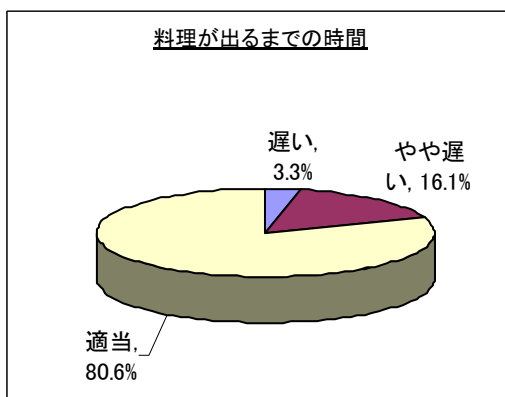
A-6 味

| | 悪い | やや悪い | 普通 | 良い | とても良い | 計 |
|-----|------|------|-------|-------|-------|--------|
| % | 1.1% | 6.1% | 25.4% | 49.7% | 17.7% | 100.0% |
| 回答数 | 2 | 11 | 46 | 90 | 32 | 181 |

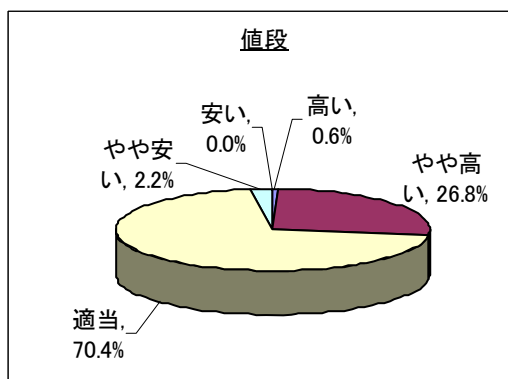
A-7 量

| | 悪い | やや悪い | 普通 | 良い | とても良い | 計 |
|-----|------|------|-------|------|-------|--------|
| % | 1.1% | 8.2% | 82.4% | 8.2% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数 | 2 | 15 | 150 | 15 | 0 | 182 |

⑥料理が出るまでの時間



⑦値段



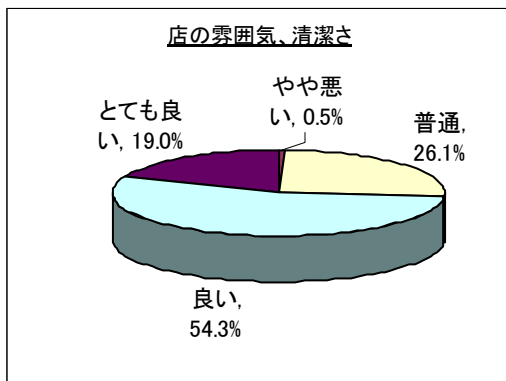
A-8 料理が出るまでの時間

| | 遅い | やや遅い | 適当 | 計 |
|-----|------|-------|-------|--------|
| % | 3.3% | 16.1% | 80.6% | 100.0% |
| 回答数 | 6 | 29 | 145 | 180 |

A-9 値段

| | 高い | やや高い | 適当 | やや安い | 安い | 計 |
|-----|------|-------|-------|------|------|--------|
| % | 0.6% | 26.8% | 70.4% | 2.2% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数 | 1 | 48 | 126 | 4 | 0 | 179 |

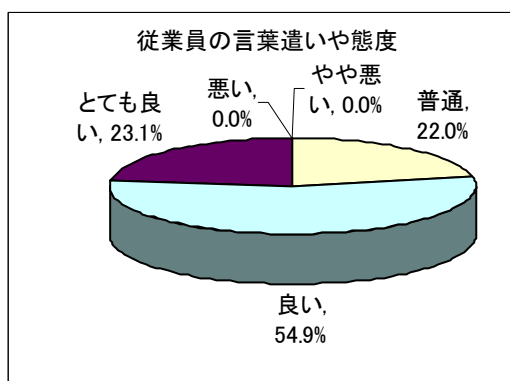
⑧店の雰囲気、清潔さ



A-10 店の雰囲気、清潔さ

| | 悪い | やや悪い | 普通 | 良い | とても良い | 計 |
|-----|------|------|-------|-------|-------|--------|
| % | 0.0% | 0.5% | 26.1% | 54.3% | 19.0% | 100.0% |
| 回答数 | 0 | 1 | 48 | 100 | 35 | 184 |

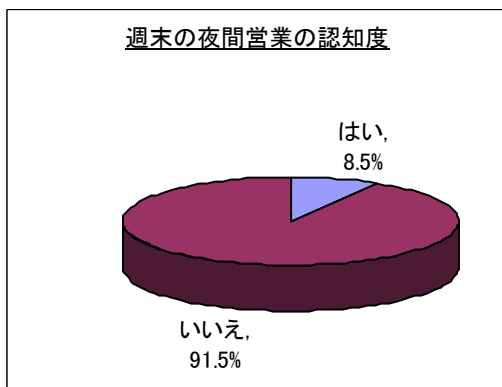
⑨従業員の言葉遣いや態度



A-11 従業員の言葉遣いや態度

| | 悪い | やや悪い | 普通 | 良い | とても良い | 計 |
|-----|------|------|-------|-------|-------|--------|
| % | 0.0% | 0.0% | 22.0% | 54.9% | 23.1% | 100.0% |
| 回答数 | 0 | 0 | 40 | 100 | 42 | 182 |

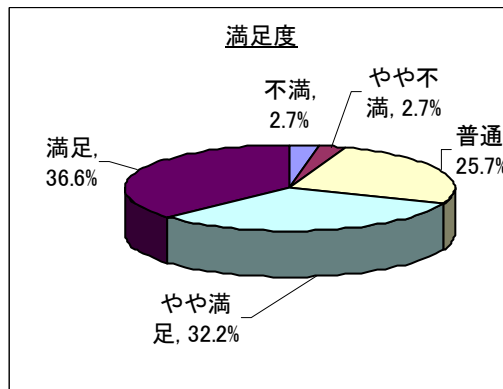
⑩週末の夜間営業の認知度



A-12 週末の夜間営業の認知度

| | はい | いいえ | 計 |
|-----|------|-------|--------|
| % | 8.5% | 91.5% | 100.0% |
| 回答数 | 15 | 162 | 177 |

⑪満足度



A-13 満足度

| | 不満 | やや不満 | 普通 | やや満足 | 満足 | 計 |
|-----|------|------|-------|-------|-------|--------|
| % | 2.7% | 2.7% | 25.7% | 32.2% | 36.6% | 100.0% |
| 回答数 | 5 | 5 | 47 | 59 | 67 | 183 |

レストランの満足度については、「はい」と「どちらかというとはい」を合わせた肯定的評価は68.8%と平成20年度(54.5%)、平成19年度(61.7%)を大幅に上回った。

本設問は「美術館カルテ」の「レストランの満足度」指標に対応している。

(3) ミュージアム・ショップ

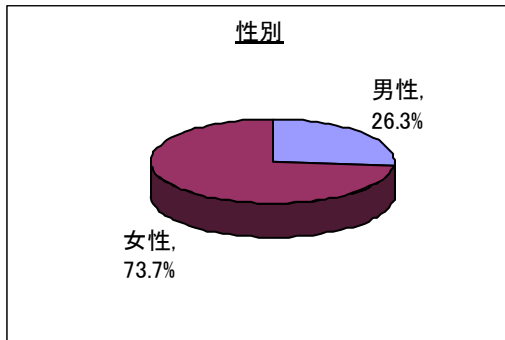
1) アンケートの状況

実施期間：平成 21 年 4 月から平成 21 年 10 月

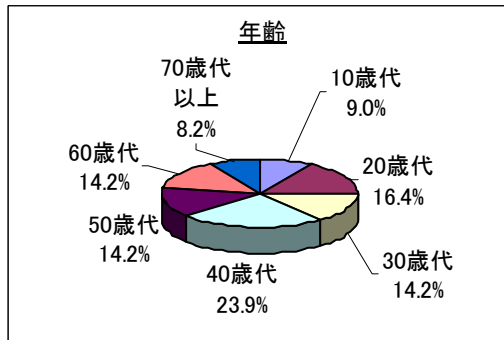
アンケート数：135

2) 回答者の属性

①性別



②年齢



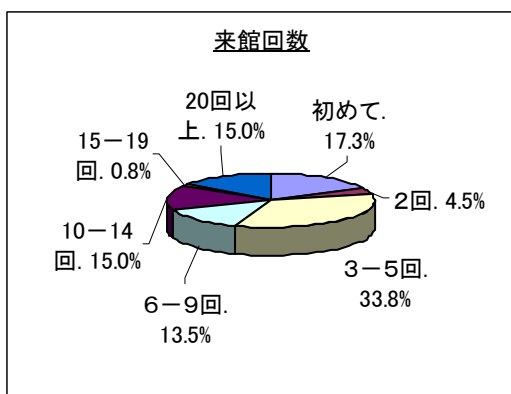
B-1 性別

| | 男性 | 女性 | 計 |
|-----|-------|-------|--------|
| % | 26.3% | 73.7% | 100.0% |
| 回答数 | 35 | 98 | 133 |

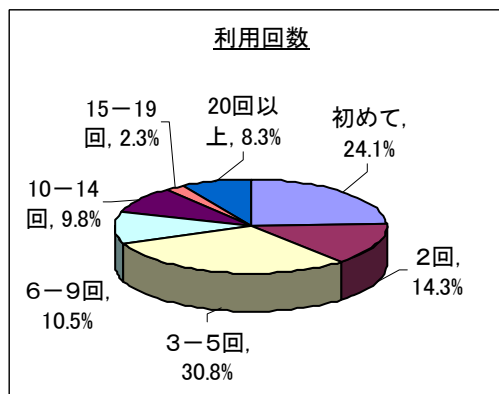
B-2 年齢

| | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代以上 | 計 |
|-----|------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|--------|
| % | 9.0% | 16.4% | 14.2% | 23.9% | 14.2% | 14.2% | 8.2% | 100.0% |
| 回答数 | 12 | 22 | 19 | 32 | 19 | 19 | 11 | 134 |

③来館回数



④ミュージアム・ショップの利用回数



B-3 来館回数

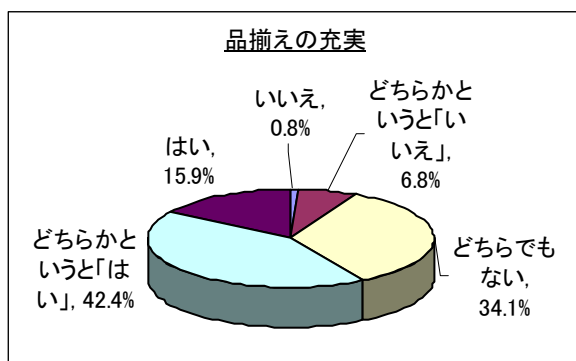
| | 初めて | 2回 | 3-5回 | 6-9回 | 10-14回 | 15-19回 | 20回以上 | 計 |
|-----|-------|------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|
| % | 17.3% | 4.5% | 33.8% | 13.5% | 15.0% | 0.8% | 15.0% | 100.0% |
| 回答数 | 23 | 6 | 45 | 18 | 20 | 1 | 20 | 133 |

B-4 ミュージアム・ショップの利用回数

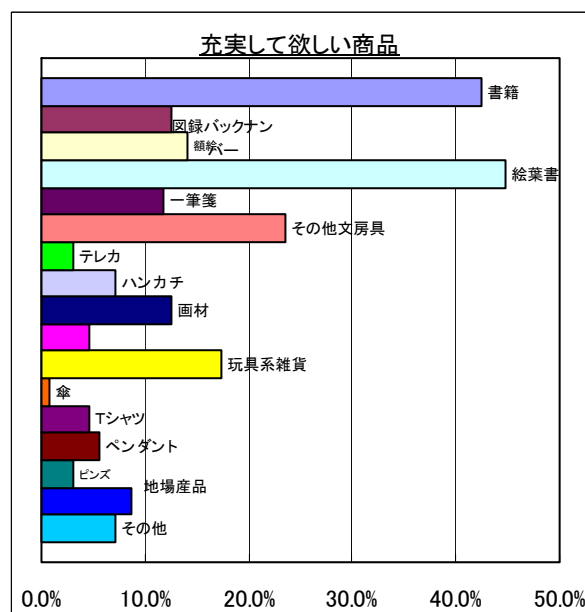
| | 初めて | 2回 | 3-5回 | 6-9回 | 10-14回 | 15-19回 | 20回以上 | 計 |
|-----|-------|-------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|
| % | 24.1% | 14.3% | 30.8% | 10.5% | 9.8% | 2.3% | 8.3% | 100.0% |
| 回答数 | 32 | 19 | 41 | 14 | 13 | 3 | 11 | 133 |

3) ミュージアム・ショップの利用について

①品揃えは充実しているか



②充実して欲しい商品（複数回答）



A-1 品揃えの充実

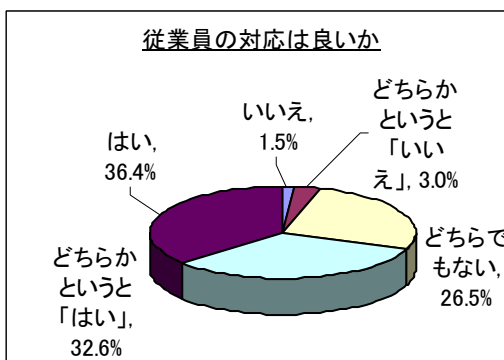
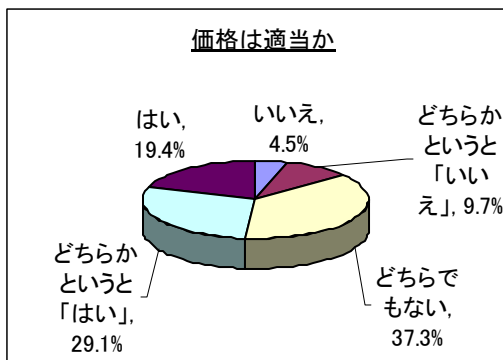
| | はい | どちらかというといえ | どちらでもない | どちらかというといはい | はい | 計 |
|-----|-------|------------|---------|-------------|-------|--------|
| % | 15.9% | 6.8% | 34.1% | 42.4% | 15.9% | 100.0% |
| 回答数 | 21 | 9 | 45 | 56 | 21 | 132 |

A-2 充実してほしい商品（複数回答）

| | 書籍 | 図録バックナンバー | 額絵 |
|------|-------|-----------|--------|
| % | 42.5% | 12.6% | 14.2% |
| 回答数 | 54 | 16 | 18 |
| | 絵葉書 | 一筆箋 | その他文房具 |
| % | 44.9% | 11.8% | 23.6% |
| 回答数 | 57 | 15 | 30 |
| | ハンカチ | 画材 | マグネット |
| % | 7.1% | 12.6% | 4.7% |
| 回答数 | 9 | 16 | 6 |
| | 傘 | Tシャツ | ペンダント |
| % | 0.8% | 4.7% | 5.5% |
| 回答数 | 1 | 6 | 7 |
| | ピンズ | 地場産品 | その他 |
| % | 3.1% | 8.7% | 7.1% |
| 回答数 | 4 | 11 | 9 |
| 回答者数 | | | 127 |

③価格は適当か

④従業員の対応は良かったか



A-3 価格は適当か

| | いいえ | どちらかという と「いいえ」 | どちらでもない | どちらかという と「はい」 | はい | 計 |
|-----|------|-------------------|---------|------------------|-------|--------|
| % | 4.5% | 9.7% | 37.3% | 29.1% | 19.4% | 100.0% |
| 回答数 | 6 | 13 | 50 | 39 | 26 | 134 |

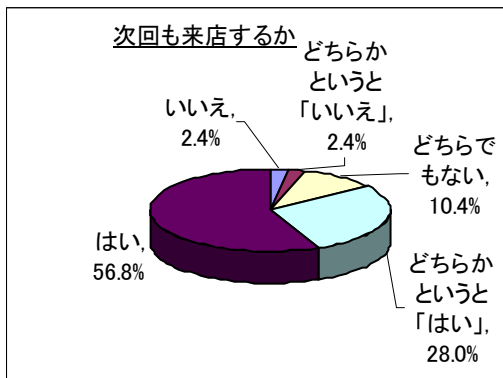
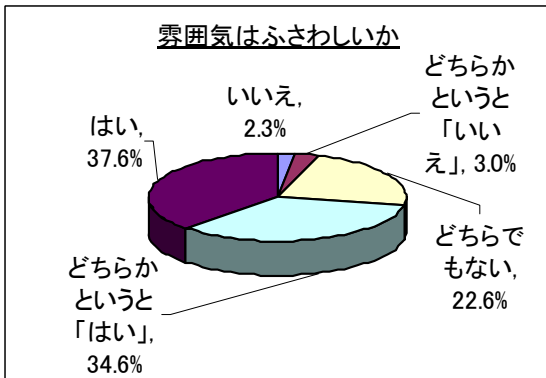
A-4 従業員の対応

| | いいえ | どちらかという と「いいえ」 | どちらでもない | どちらかという と「はい」 | はい | 計 |
|-----|------|-------------------|---------|------------------|-------|--------|
| % | 1.5% | 3.0% | 26.5% | 32.6% | 36.4% | 100.0% |
| 回答数 | 2 | 4 | 35 | 43 | 48 | 132 |

⑤雰囲気は県立美術館にふさわしいか

⑥次回ミュージアム・ショップを来店するか（満足度）

度)



A-5 雰囲気は静岡県立美術館にふさわしいか

| | いいえ | どちらかという と「いいえ」 | どちらでもない | どちらかという と「はい」 | はい | 計 |
|-----|------|-------------------|---------|------------------|-------|--------|
| % | 2.3% | 3.0% | 22.6% | 34.6% | 37.6% | 100.0% |
| 回答数 | 3 | 4 | 30 | 46 | 50 | 133 |

A-6 次回も来店（満足度）

84.8%

| | いいえ | どちらかという と「いいえ」 | どちらでもない | どちらかという と「はい」 | はい | 計 |
|-----|------|-------------------|---------|------------------|-------|--------|
| % | 2.4% | 2.4% | 10.4% | 28.0% | 56.8% | 100.0% |
| 回答数 | 3 | 3 | 13 | 35 | 71 | 125 |

ミュージアム・ショップの満足度については、「はい」と「どちらかというとはい」を合わせた肯定的評価は84.8%と平成20年度（80.6%）平成19年度（76.9%）を上回った。

本設問は「美術館カルテ」の「ミュージアム・ショップの満足度」指標に対応している。

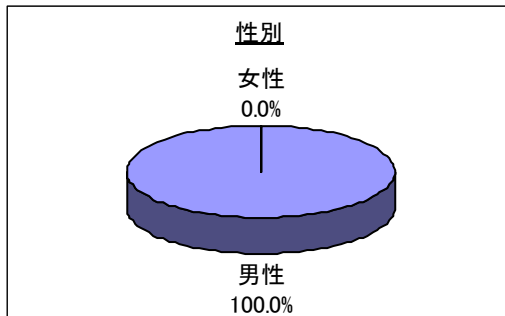
(4) 図書閲覧室

1) アンケートの状況

アンケート数：7

2) 回答者の属性

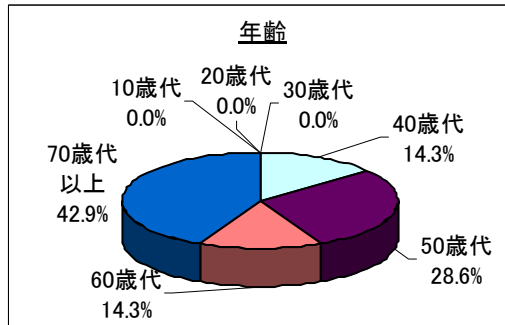
①性別



性別

| | 男性 | 女性 | 計 |
|-----|--------|------|--------|
| % | 100.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数 | 7 | 0 | 7 |

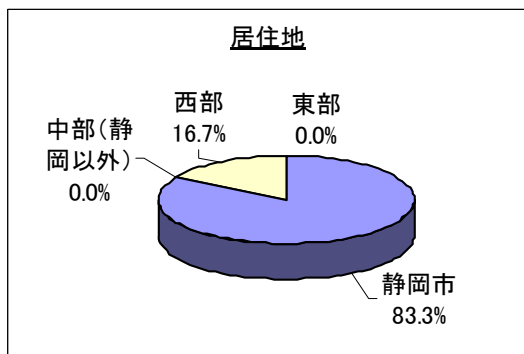
②年齢



年齢

| | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳代以上 | 計 |
|-----|------|------|------|-------|-------|-------|--------|--------|
| % | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 14.3% | 28.6% | 14.3% | 42.9% | 100.0% |
| 回答数 | 0 | 0 | 0 | 1 | 2 | 1 | 3 | 7 |

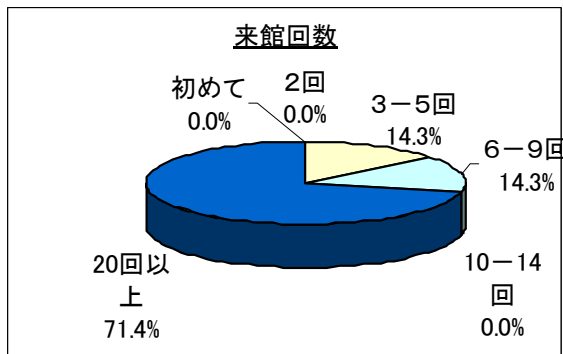
③居住地



居住地

| | 静岡市 | 中部(静岡以外) | 西部 | 東部 | 賀茂 | 県外 | 計 |
|-----|-------|----------|-------|------|------|------|--------|
| % | 83.3% | 0.0% | 16.7% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数 | 5 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 6 |

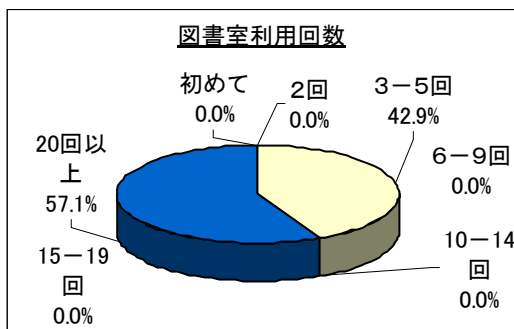
④来館回数



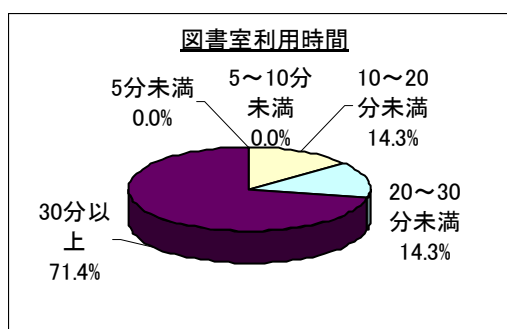
来館回数

| | 初めて | 2回 | 3-5回 | 6-9回 | 10-14回 | 15-19回 | 20回以上 | 計 |
|-----|------|------|-------|-------|--------|--------|-------|--------|
| % | 0.0% | 0.0% | 14.3% | 14.3% | 0.0% | 0.0% | 71.4% | 100.0% |
| 回答数 | 0 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 5 | 7 |

⑤図書閲覧室の利用経験



⑥図書閲覧室の利用時間



図書閲覧室利用回数

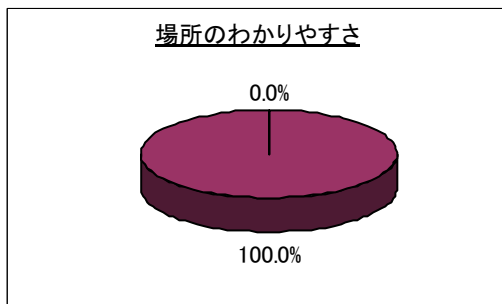
| | 初めて | 2回 | 3-5回 | 6-9回 | 10-14回 | 15-19回 | 20回以上 | 計 |
|-----|------|------|-------|------|--------|--------|-------|--------|
| % | 0.0% | 0.0% | 42.9% | 0.0% | 0.0% | 0.0% | 57.1% | 100.0% |
| 回答数 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 4 | 7 |

図書閲覧室利用時間

| | 5分未満 | 5~10分未満 | 10~20分未満 | 20~30分未満 | 30分以上 | 計 |
|-----|------|---------|----------|----------|-------|--------|
| % | 0.0% | 0.0% | 14.3% | 14.3% | 71.4% | 100.0% |
| 回答数 | 0 | 0 | 1 | 1 | 5 | 7 |

3) 図書閲覧室の利用について

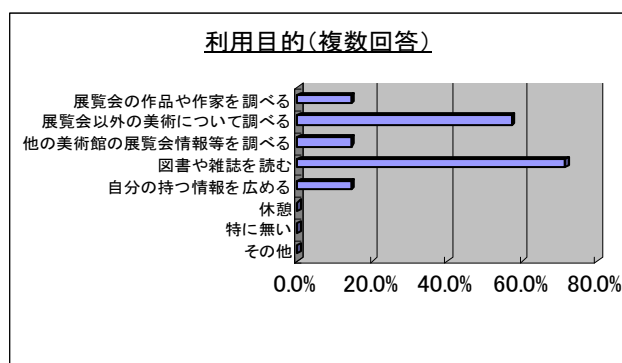
①図書閲覧室の場所のわかりやすさ



場所は分かりやすい。

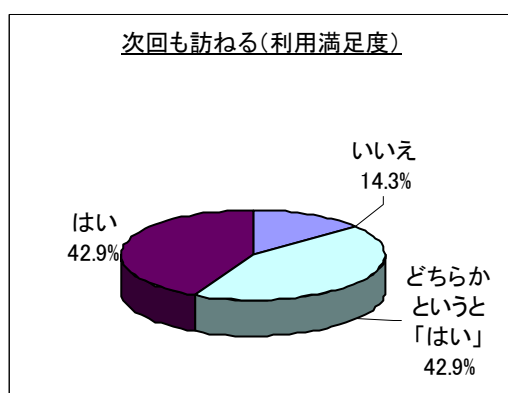
| | いいえ | はい | 計 |
|-----|------|--------|--------|
| % | 0.0% | 100.0% | 100.0% |
| 回答数 | 0 | 7 | 7 |

②利用目的（複数回答）



| 利用目的 | 回答数 | % |
|------------------|-----|-------|
| 展覧会の作品や作家を調べる | 1 | 14.3% |
| 展覧会以外の美術について調べる | 4 | 57.1% |
| 他の美術館の展覧会情報等を調べる | 1 | 14.3% |
| 図書や雑誌を読む | 5 | 71.4% |
| 自分の持つ情報を広める | 1 | 14.3% |
| 休憩 | 0 | 0.0% |
| 特に無い | 0 | 0.0% |
| その他 | 0 | 0.0% |
| 回答者数 | 7 | — |

③次回来館時も図書閲覧室を訪ねるか（満足度）



次回来館時も図書閲覧室を訪ねる。(利用満足度)

| | いいえ | どちらかという「はい」 | どちらでもない | どちらかという「はい」 | はい | 計 |
|-----|-------|-------------|---------|-------------|-------|--------|
| % | 14.3% | 0.0% | 0.0% | 42.9% | 42.9% | 100.0% |
| 回答数 | 1 | 0 | 0 | 3 | 3 | 7 |

図書閲覧室の満足度については、「はい」と「どちらかというはい」を合わせた肯定的評価は85.8%となっている。

本設問は「美術館カルテ」の「図書閲覧室の満足度」指標に対応している。

(5) 美術館ホームページ

1) アンケートの状況

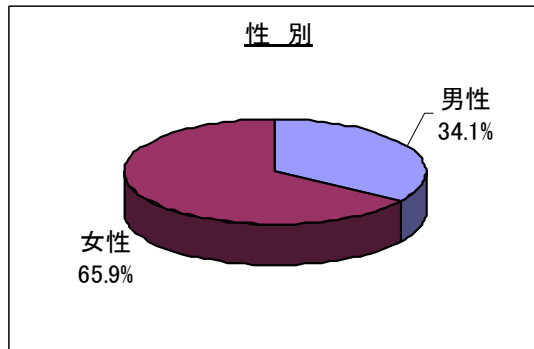
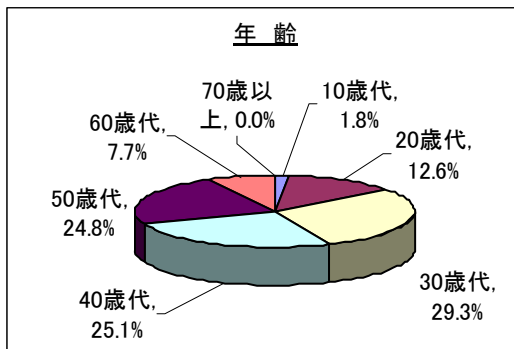
実施期間：平成 21 年 4 月から平成 22 年 2 月

アンケート数：167

2) 回答者の属性

①性別

②年齢



年齢

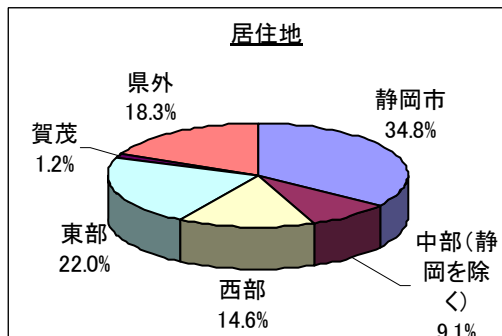
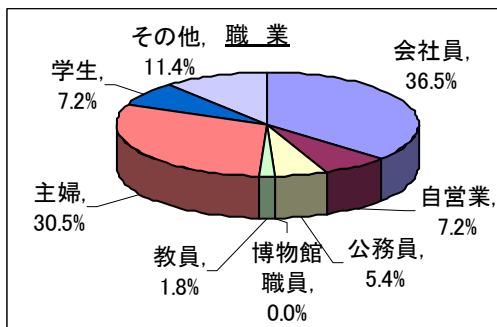
| | 10歳代 | 20歳代 | 30歳代 | 40歳代 | 50歳代 | 60歳代 | 70歳以上 | 計 |
|-----|------|-------|-------|-------|-------|------|-------|--------|
| % | 1.8% | 12.6% | 29.3% | 25.1% | 23.4% | 7.8% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数 | 3 | 21 | 49 | 42 | 39 | 13 | 0 | 167 |

性別

| | 男性 | 女性 | 計 |
|-----|-------|-------|--------|
| % | 34.1% | 65.9% | 100.0% |
| 回答数 | 57 | 110 | 167 |

③職業

④居住地



職業

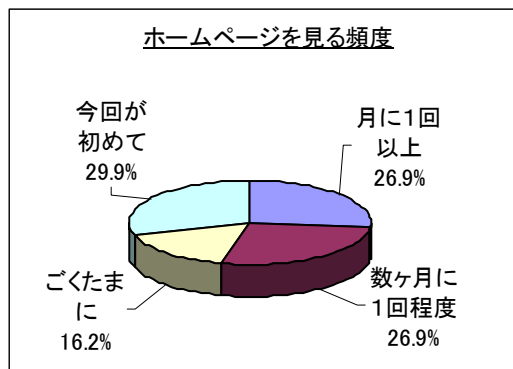
| | 会社員 | 自営業 | 公務員 | 博物館職員 | 教員 | 主婦 | 学生 | その他 | 計 |
|-----|-------|------|------|-------|------|-------|------|-------|--------|
| % | 36.5% | 7.2% | 5.4% | 0.0% | 1.8% | 30.5% | 7.2% | 11.4% | 100.0% |
| 回答数 | 61 | 12 | 9 | 0 | 3 | 51 | 12 | 19 | 167 |

居住地

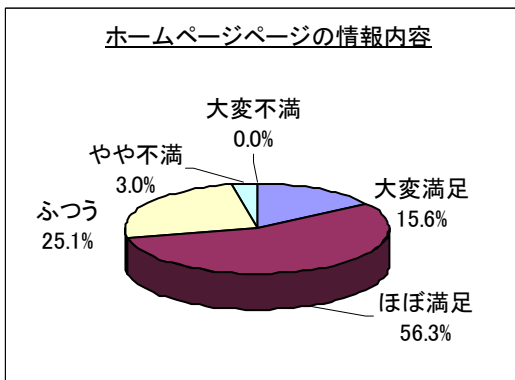
| | 静岡県 | 中部(静岡を除く) | 西部 | 東部 | 賀茂 | 県外 | 計 |
|-----|-------|-----------|-------|-------|------|-------|--------|
| % | 34.8% | 9.1% | 14.6% | 22.0% | 1.2% | 18.3% | 100.0% |
| 回答数 | 57 | 15 | 24 | 36 | 2 | 30 | 164 |

3) ホームページの利用について

① 県立美術館ホームページを見る頻度



② 当ページの情報内容



県立美術館ホームページを見る頻度

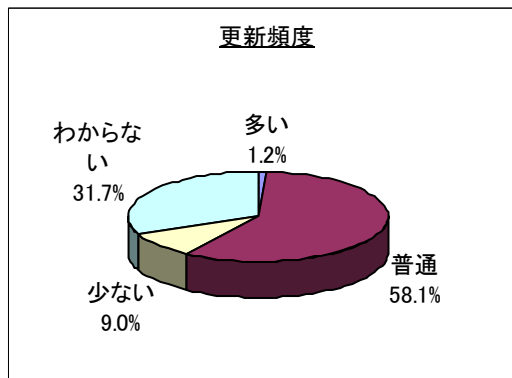
| | 月に1回以上 | 数ヶ月に1回程度 | ごくたまに | 今回が初めて | 計 |
|-----|--------|----------|-------|--------|--------|
| % | 26.9% | 26.9% | 16.2% | 29.9% | 100.0% |
| 回答数 | 45 | 45 | 27 | 50 | 167 |

当ページの情報内容

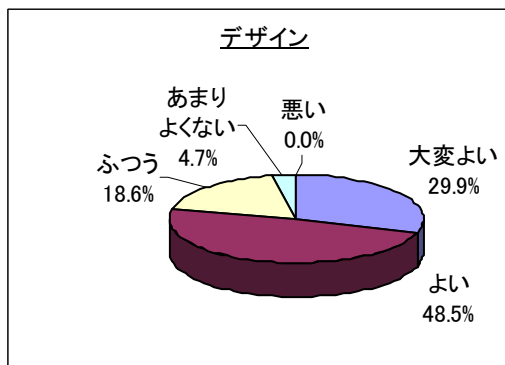
| | 大変満足 | ほぼ満足 | ふつう | やや不満 | 大変不満 | 計 |
|-----|-------|-------|-------|------|------|--------|
| % | 15.6% | 56.3% | 25.1% | 3.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数 | 26 | 94 | 42 | 5 | 0 | 167 |

ホームページの情報内容の満足度について、「はい」と「どちらかというとはい」を合わせた肯定的評価は71.9%となり、平成20年度（74.3%）、平成19年度（70.0%）と推移している。本設問は「美術館カルテ」の「ホームページの満足度」指標に対応している。

③ 更新頻度



④ ホームページ・デザイン



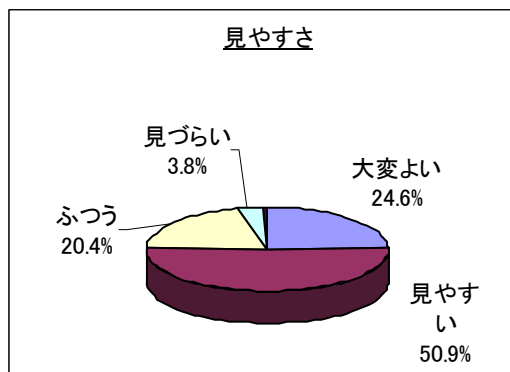
更新頻度

| | 多い | 普通 | 少ない | わからない | 計 |
|-----|------|-------|------|-------|--------|
| % | 1.2% | 58.1% | 9.0% | 31.7% | 100.0% |
| 回答数 | 2 | 97 | 15 | 53 | 167 |

ホームページデザイン

| | 大変よい | よい | ふつう | あまりよくない | 悪い | 計 |
|-----|-------|-------|-------|---------|------|--------|
| % | 29.9% | 48.5% | 18.6% | 3.0% | 0.0% | 100.0% |
| 回答数 | 50 | 81 | 31 | 5 | 0 | 167 |

⑤見やすさ



見やすさ

| | 大変よい | 見やすい | ふつう | 見にくい | 大変見にくい | 計 |
|-----|-------|-------|-------|------|--------|--------|
| % | 24.6% | 50.9% | 20.4% | 3.6% | 0.6% | 100.0% |
| 回答数 | 41 | 85 | 34 | 6 | 1 | 167 |

Ⅱ

県庁の支援体制

総括表

I 平成 21 年度実績

- 1 美術館の基本的業務
- 2 地域や学校教育との連携
- 3 戦略的広報
- 4 施設改修とアメニティについて

Ⅱ 平成 22 年度方針

- 1 美術館と県庁の連絡体制の確保
- 2 庁内・地域・学校教育との連携
- 3 戦略的広報
- 4 施設改修とアメニティについて

県庁の支援体制

「平成 21 年度方針」 総括表

| | H21 方針 | H21 実績 | 達成度 |
|------------------|--|---|-----|
| 1 美術館の基本的業務 | ●通常業務における連携体制の継続 定型的な情報共有機会に引き続き出席、参画 <ul style="list-style-type: none"> ・ 月例打合せ ・ 館長と知事、県民部長による懇談会 ・ 企画展開会式典及び内覧会 ・ 移動美術館 ・ ミュージアムコンサート ・ 美術館協議会 ・ 資料評価委員会 ・ 特別講演会 | ○連携体制の継続 <ul style="list-style-type: none"> ・ 月例打ち合わせ会に参加し、情報の共有化を図った。 ・ 企画展開会式典及び内覧会等の美術館の事業に積極的に参加した。 | B |
| | ●リニューアル後の美術館の魅力づくり、話題づくりに関する検討 | ○リニューアル後の広報支援、料金改定 <ul style="list-style-type: none"> ・ リニューアルオープンの広報を美術館や広報局と連携の上、県民だより 22 年 4 月号に大規模に掲載したところ、リニューアルオープン後に実施した「伊藤若冲展」の集客に貢献した。(21,000 人(見込)→54,937 人(実績)) ・ 夏休み期間に行われた「パウル・クレー展」及び収蔵品展において美術館と調整の上、学生無料化を試行した。その結果をふまえ、22 年度から自主企画展の高校生・大学生の無料化及び常設展の大学生無料化を実施する条例の改正等を行った。 ・ リニューアルオープンの記念として、自主企画展ではない「伊藤若冲展」を実行委員会と調整のうえ、特別に高校生・大学生を無料とした。 | A |
| | ●県職員の美術館への理解拡充 <ul style="list-style-type: none"> ・ 職員向け鑑賞ツアーの実施 ・ 管理部門職員に対し、美術館の機能、役割、将来への可能性を理解共有する場の設定 | ○県職員研修会等の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 県職員研修会(講師：谷川委員)を実施し、美術館の事業について理解を深め、県の業務との連携等について意見交換を行った。 ・ 広報、観光局関係職員と館長との意見交換会を実施し、広報・観光関係職員等を交え第三者評価委員会の懇談会を実施した。 ・ 人事室職員が美術館の視察及び美術館職員の面談を行い、美術館の現状及び課題を把握した。 ・ 定例幹部職員会議及び全庁掲示板(庁内の電子掲示板)を利用して美術館の催事等の案内を行い、幹部職員及び一般の職員に対し美術館の事業の理解の促進を図った。 | B |
| 2 地域や学校教育との連携 | ●休館期間中の県民サービス提供として、教育普及プログラムのうち、出張美術講座など子どもたちのためのアウトリーチ事業におけるプラン策定等の連携体制を強化 | ○休館中の対応 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化政策室で募集を行った「こどもたちの文化芸術鑑賞推進事業」対象校の情報を美術館に迅速に提供し、美術館が休館中に対象校の出張美術講座を円滑に実施できるように努めた。 ・ 移動美術展及び出張美術講座が円滑に実施できるよう、ポスター掲出を依頼する等の広報支援に努めた。 | B |
| | ●私立学校を所管する私学振興室に、教育プログラムの情報を提供、各学校の参加しやすい体制整備 | ○私立学校への情報提供 <ul style="list-style-type: none"> ・ 私学振興室と連携し「こどもたちの文化芸術鑑賞推進事業」の募集について私立中学校への周知に努めた。(私立学校の応募 5 校 (H20) → 8 校 (H21)) | B |
| 3 戦略的広報 | ●企画展単独による告知ばかりでなく、「風景とロダンの静岡県立美術館」のコンセプトを生かした、美術館全体の PR を広報局との連携を図りながら実施 | ○ロダン館新企画の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・ 文化政策室員と美術館職員で構成する広報・観光部会を設置し、広報アドバイザーや観光局顧問等の意見を参考にした上で、観光ルート化モデル事業としてロダン館を活用する「夕暮れロダンツアー」を美術館とともに計画、実施した。(参加者 100 人(見込)→322 人(実績)) | B |
| | ●富士山静岡空港との連携等話題性のある情報を、県民部から観光局に提供し、美術館の存在をアピール | ○富士山静岡空港における広報 <ul style="list-style-type: none"> ・ 観光局顧問との会合の場を設け、富士山静岡空港における広報等、美術館に関する情報を提供した。 ・ 富士山静岡空港における広報の具体的手法として「考える人」のレプリカ 3 体を設置し美術館をアピールするとともに、ターミナルビル 2 階に文化の情報発信スペースを設け、美術館の情報発信に努めた。 | B |

| | | | |
|-------------------------------------|---|---|---|
| | <p>●富士山静岡空港就航先美術館と展覧会内容を相互にPR、連携により効果が期待できる取組について、就航先美術館と協議</p> | <p>○富士山静岡空港就航先美術館との連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・美術館とともに九州国立博物館を訪問し、当該博物館と連携した展覧会の開催について協議を開始した。 ・富士山静岡空港や県内の文化施設に就航先美術館のパンフレットコーナーを設置するとともに、就航先美術館へ県立美術館のパンフレット配架の連絡調整を行った。 | B |
| 4 施設 改修 と アメ ニテ イ | <p>●修繕改修計画において、美術館との連携のもと、必要箇所や緊急性を整理し、適切に実施</p> | <p>○修繕改修計画の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・休館期間を利用して実施する修繕改修計画に基づく改修工事について、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金等を利用して大幅な予算の増額を図り早期に実施し、工事の決算額は143,702千円であった。 ・なお、一部の工事は22年度に実施中で予算額は516,000千円である。 | A |

※ 達成度の説明 A：方針の達成に大いに寄与した。
 B：方針の達成に向けて前進があった。
 C：取組はしたが達成度が低かった。
 D：着手できていない。

県庁の支援体制

「平成 22 年度方針」 総括表

| | H22 方針 | H22 実績 | 達成度 |
|-------------------------------------|--|--------|-----|
| 1 美術館と 県庁の 連絡体制 の確保 | <p>●通常業務における連携体制の継続</p> <p>美術館の運営に対して適切に支援を行うため、前年度に引き続き月例打ち合わせ会や催事等に参画し、課題や情報を共有する。</p> | | |
| | <p>●当面の課題の解決に向けた連携</p> <p>県立美術館の当面の課題において、ワーキンググループを設け美術館と文化政策課職員が協力して対応する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己評価システムの見直し | | |
| 2 庁内・ 地域・ 学校 教育と の連携 | <p>●県職員の美術館への理解促進</p> <p>県職員の美術館への理解を広げ、職員一人一人が美術館の広報マンとなるような取組を実施する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員向け鑑賞ツアーの実施 ・管理部門職員に対し、美術館の機能、役割、将来への可能性について理解と認識を共有する機会を設ける。 | | |
| | <p>●学校への情報伝達の徹底</p> <p>中学生が美術館の鑑賞等を行う「こどもたちの文化芸術鑑賞推進事業」について、各学校への情報伝達の徹底を図る。</p> | | |
| | <p>●他分野（教育、福祉、医療等）との連携</p> <p>美術館の機能の連携という観点から大学や病院等の分野との連携について検討を進める。</p> | | |
| 3 戦略的 広報 | <p>●文化・観光部内組織の一層の連携による広報機能の強化</p> <p>組織改編により同じ部となった観光局と国際・交流局（旧空港局等）との連携を一層進め、広報機能を強化する。</p> | | |
| | <p>●観光客が美術館に立ち寄る仕組みづくりの検討</p> <p>観光局と連携し、観光客が美術館に立ち寄る仕組みづくりを検討する。</p> | | |
| | <p>●就航先美術館との連携</p> <p>県立美術館と富士山静岡空港の路線就航先美術館の展覧会内容を相互にPRする場を検討する。</p> | | |
| | <p>●広報局との連携</p> <p>企画展の開催に合わせて、県庁記者クラブ等への情報提供を行うとともに、広報局の持つラジオ、県民だより等の広報媒体を有効に活用する。</p> | | |
| 4 施設 改修と アメリ ニティ | <p>●修繕改修の適切な実施</p> <p>美術館と協議し必要箇所や緊急性を精査の上、計画的かつ効率的な修繕改修を実施する。</p> | | |
| | <p>●アメニティ機能の一層の充実</p> <p>カフェロダンやレストラン等の利用者の快適性の向上のための方策を美術館とともに検討する。</p> | | |

I 平成 21 年度実績

1 美術館の基本的業務

(1) 連携体制の継続

◎参加した事業

ア 美術館長が出席する月例打合せ会

文化政策室が出席し、美術館運営における情報の共有化を図った。

イ 館長と知事、県民部長による懇談

1月19日に行い、リニューアルオープン等について意見交換を行った。

ウ 企画展覧会開会式典及び内覧会

企画展：4回（各一般公開初日の前日に実施）

展覧会の内容を直接的に把握するとともに、会場での友の会会員等美術館 支援者と話すことにより、展覧会に対する鑑賞者の評価の把握に努めた。

エ 移動美術展

①4月18日～5月17日 浜松市美術館（浜松市）

②1月5日～2月4日 佐野美術館（三島市）

③2月20日～3月28日 掛川市二の丸美術館（掛川市）

①、②に文化政策室担当職員が参加し、実施状況を把握した。

オ 美術館協議会

運営の円滑化のために館長の諮問機関として設置

① 7月1日

平成 20 年度事業報告及び自己評価結果報告、平成 21 年度事業計画及び工事中の休館について

② 9月29日

平成 21 年度事業経過報告、学生等の観覧料無料化試行結果の報告及び意見交換

③ 3月16日

平成 21 年度事業経過報告、平成 22 年度事業計画、観覧料の改定、事業仕分け結果、ボランティア組織の見直しの報告等について

いずれも文化政策室が出席。

カ 資料評価委員会

6月11日

「静岡県美術館資料評価委員会要綱」に基づく専門評価員の算定に基づき、評価額を決定した。

会長：県民部長 副会長：部長代理、委員：美術館副館長、文化学術局長、文化政策室長

◎参加できなかった事業

ア ミュージアムコンサート（ロダン館普及事業）

・8月29日「パウル・クレー展ロダン館コンサート」

・10月25日 国文祭関連事業「ロダン体操」

イ 特別講演会

展覧会毎のテーマにあわせ、年間5回実施。

(2) リニューアル後の広報支援、料金改定

- ・リニューアルオープンの広報を美術館や広報局と連携の上、県民だより 22 年 4 月号に大規模に掲載したところ、リニューアルオープン後に実施した「伊藤若冲展」の集客に貢献した。(21,000 人(見込)→54,937 人(実績))
- ・夏休み期間に行われた「パウル・クレー展」及び収蔵品展において、美術館と調整の上、学生無料化を試行した。その結果をふまえ、22 年度から常設展の大学生無料化及び自主企画展の高校生・大学生の無料化を実施する条例の改正等を行った。
- ・リニューアルオープンの記念として、自主企画展ではない「伊藤若冲展」を実行委員会と調整のうえ、特別に高校生・大学生を無料とした。

(3) 県職員の美術館への理解拡充

- ・県職員研修会を行い(講師:谷川委員)、県民部幹部職員など他部局も含め 21 名が参加し、美術館の事業について理解を深め、県の業務との連携等について意見交換を行った。(10 月 13 日)
- ・広報関係職員及び広報アドバイザーと館長との打ち合わせ会を行った。(5 月 19 日)
- ・広報・観光関係職員等を交え第三者評価委員会委員との懇談会を実施した。(6 月 24 日)
- ・人事室職員が美術館の視察及び美術館職員の面談等を行い、美術館の現状及び課題を把握した。(6 月 17 日)
- ・定例幹部職員会議及び全庁掲示板(庁内の電子掲示板)を利用して美術館の催事等の案内を行い、幹部職員及び一般の職員に対し美術館の事業の理解促進を図った。

2 地域や学校教育との連携

(1) 休館中の対応

- ・文化政策室で募集を行った「こどもたちの文化芸術鑑賞推進事業」対象校の情報を美術館に迅速に提供し、美術館が休館中に対象校の出張美術講座を円滑に実施できるように努めた。
- ・移動美術展が円滑に実施できるよう、ポスター掲出を依頼する等の広報支援に努めた。

(2) 私立学校への情報提供

- ・私学振興室と連携し「こどもたちの文化芸術鑑賞推進事業」の募集について私立中学校への周知に努めた。(私立学校の応募 5 校→8 校)

3 戦略的広報

(1) ロダン館新企画の実施

- ・文化政策室員と美術館職員で構成する広報・観光部会を設置し、広報アドバイザーや観光局顧問等の意見を参考にした上で、観光ルート化モデル事業としてロダン館を活用する「夕暮れロダンツアー」を美術館とともに計画、1 月 30 日に実施した。旅行会社にも参加を促し、一般募集の県民を含め当初見込み 100 人を大幅に上回る 322 人が参加した。

(2) 富士山静岡空港における広報

- ・観光局顧問との意見交換の場を設け、富士山静岡空港における広報等、美術館に関する情報を提供した。

- ・富士山静岡空港における広報の具体的手法として、「考える人」のレプリカ3体を設置し美術館をアピールするとともに、ターミナルビル2階に文化の情報発信スペースを設け、美術館の情報発信に努めた。

(3) 富士山静岡空港就航先美術館との連携

- ・美術館とともに九州国立博物館を訪問し、当該博物館と連携した展覧会の開催について協議を開始した。
- ・富士山静岡空港や県内の文化施設に就航先美術館のパンフレットコーナーを設置するとともに、就航先美術館へ県立美術館のパンフレット配架の連絡調整を行った。

4 施設改修とアメニティ

- ・休館期間を利用して実施する修繕改修計画に基づく改修工事について、国の地域活性化・経済危機対策臨時交付金等を利用して大幅な予算の増額を図り、早期に実施し、工事の決算額は21年度143,702千円であった。
- ・なお、一部の工事については、22年度に実施中であり、予算額は516,000千円である。

II 平成 22 年度方針

1 美術館と県庁の連携体制の確保

(1) 通常業務における連携体制の継続

- ・美術館の運営について適切に支援を行うため、前年度に引き続き月例打ち合わせ会や企画展開会式式典等に参画し、美術館の課題や情報を共有する。

(2) 当面の課題の解決に向けた連携

- ・県立美術館の当面の課題において、ワーキンググループ等を設け美術館と文化政策課職員が協力して対応する。

[検討テーマ]：自己評価システムの見直しに関するワーキンググループの設置（開催：年 4 回程度）

2 庁内・地域・学校教育との連携

(1) 県職員の美術館への理解促進

- ・県職員の県立美術館に対する理解を広げ、職員一人一人が美術館の広報マンとなるような取組を実施する。

ア 職員向け鑑賞ツアーの実施

イ 管理部門の職員に対し、美術館の機能、役割、将来への可能性 q について理解と認識を共有する機会を設ける。

(2) 学校への情報伝達の徹底

- ・中学生が美術館の鑑賞等を行う「こどもたちの文化芸術鑑賞推進事業」について各学校への情報伝達の徹底を図る。

(3) 他分野（教育、福祉、医療等）との連携

- ・美術館の機能の連携という観点から大学や病院等の分野との連携について検討を進める。

3 戦略的広報

(1) 文化・観光部内組織の一層の連携による広報機能の強化

- ・平成 22 年度の組織改編によりそれぞれ違う部の所属であった文化学術局と観光局と空港局（現国際・交流局）が新設された文化・観光部の所属となった。これを機会に、新しく立ち上げた部内広報担当者会議を活用し情報共有をいっそう進め、観光協会等へ美術館のタイムリーな情報提供を行う。

(2) 観光客が美術館に立ち寄る仕組みづくりの検討

- ・観光局と連携し、観光客が美術館に立ち寄る仕組みづくりを検討する。

(3) 就航先美術館との連携

- ・県立美術館と富士山静岡空港の路線就航先美術館の展覧会内容を相互に P R する場を検討する。

(4) 広報局との連携

- ・企画展の開催に合わせて、県庁記者クラブ等へ情報提供を行うとともに、広報局の持つラジオ、県民だより等の広報媒体を有効に活用する。

4 施設改修とアメニティ

(1) 修繕改修の適切な実施

- ・美術館と協議し必要箇所や緊急性を精査の上、計画的かつ効率的な修繕改修を実施していく。

(2) アメニティ機能の一層の充実

- ・カフェロダンやレストラン等の利用者の快適性の向上のための方策を美術館とともに検討する。

Ⅲ

平成 22 年度 静岡県立美術館第三者評価委員会の報告

- 1 平成 21 年度「静岡県立美術館自己評価結果表」（一次評価）に対する二次評価
 - (1) 館長公約に対する二次評価
 - (2) 評価システムに対する評価

- 2 「県庁の支援体制」に対する一次評価
 - (1) 学生無料化について
 - (2) 広報戦略と空港振興・観光政策との連携について

- 3 改善に向けた提言
 - (1) 今後の展覧会の企画について
 - (2) 全体広報について
 - (3) ロダン館の来館者増加策について
 - (4) 施設整備・利活用について

1 平成 21 年度「静岡県立美術館自己評価報告書」(一次評価)に対する二次評価

(1) 館長公約に対する二次評価

『公約 A：人々の感性を磨き、生活に変化をもたらすような魅力的な展覧会を開催します』

- ・ 静岡県立美術館は単に展覧会を実施するだけではなく、調査研究や作品管理の活動の持続的体勢がよい。指定管理者ではできない直営施設のよさが感じられる。
- ・ 企画力が高く、付帯事業も充実しており、がんばっていると思う。
- ・ 展覧会観覧者数が目標値に達していない。目標値の設定が適切だったか、なぜ目標値に達しなかったのか分析が必要である。
- ・ 県西部や東部の利用率が 10% 台であるので、県内からの来館者を伸ばす努力、仕掛けが大切である。
- ・ 企画展の効果的な広報を早めに検討し実施することが大切である。
- ・ 現代美術の展覧会開催というのはどうしても入館者が少なくなってしまうがちであるが、チャレンジし続けるべきである。そうした現代に目を向ける取組が現代社会における美術館の存在意義を生み出し、未来への遺産をもたらす。近年の美術館は来館者増加という実績を出すために、館が独自に企画しない巡回展に大きく依存する傾向にあるが問題である。
- ・ 「狩野派の世界」展の来館者のうち、県外者の割合が 21% にもものぼっているという事実は、大いに注目すべき点である。これは、近世美術のコレクションを中心とした展示が、この美術館のもっとアピールすべき武器になるということである。今、近世美術、あるいは前近代の美術に注目が集まる理由として、スローライフであったり、エコであったり、現代人に訴えるものが強くある。今後とも、この美術館のコレクションの特徴を活かした展覧会を開催してほしい。

『公約 B：地域や学校教育との連携を深め、質の高い教育・普及活動を展開します』

- ・ 「ムセイオン静岡」として他の文化施設等との連携が進んでいるということは素晴らしい。他県では、同じ建物内にあっても連携が行われていないというところもある。文化施設の連携は、美術館が中心となることで成果が上がる。
- ・ 出張美術講座の開催数が多く素晴らしい。一方、子どもたちに実際にこの美術館に足を運んでもらって、この環境の中で鑑賞してもらうことも大切である。

『公約 C：戦略的な広報を展開し、情報発信に努めます』

- ・ 今年度の SPAC（財団法人静岡県舞台芸術センター）との連携事業で朗読会を行うなど、美術館のさまざまな取組は評価できるが、それらが一般の方々に伝わってこないのので、どんどん発信をしていただきたい。
- ・ SPAC は俳優が街まで来てパフォーマンスを行っている。美術館も新しい試みが求められる。
- ・ ロダン館の動線に対する工夫は大事である。ロダン館は例外かと思われたが、他館の常設展と同様リピート率が問題になっている。ただし、コンサートやワークショップなどロダン館を活用した取組は評価したい。

『公約D：施設の改修を推進し、美術館のアメニティを高めていきます。』

- ・ 以前、館内フロアで静岡茶を素敵に味わえるコーナーがあったが、湿気が理由でなくなってしまった。このような問題をクリアして是非復活してもらいたい。
- ・ カフェがあまり活用されていない。カフェで静岡茶を出すなど静岡の特徴を出す工夫してほしい。他館ではレストランやカフェが客を呼ぶ重要なツールとなっているところもある。カフェとレストランは美術館とセットである。
- ・ 館内はだいぶよくなってきたが、館外のアクセスの方の改善をお願いしたい。静岡鉄道の最寄り駅から徒歩で行くと坂が大変である。美術館までシャトルバスを走らせるというアイデアもいいが、既存の路線バスが20分間隔により100円で運行しているという事実が周知されていない感があるので、チラシ・ポスター等で周知させるとよい。

(2) 評価システムに対する評価

①システム全体について

- ・ 現在の指標は以前よりかなり削減されて見やすくなり、美術館の全体像を把握するにはよい。
- ・ 設定された目標値が妥当なのか検証が必要である。また、目標値を下回った場合は、その理由を分析し、今後の事業運営に活用しなければならない。
- ・ 展覧会の内容が違うので展覧会の来館者数の数値目標は必ずしも右肩上がりにならない。

②報告書の記載について

- ・ 「館長公約に対する評価」では成果が強調されているが、問題点は必ずあるはずである。来期の目標が示せるように課題も出すべきである。
- ・ 現状では、重点目標ごとに達成目標の評価が記載されているが、「分析と評価」などで重点目標ごとの総括的な評価がほしい。
- ・ 自己評価全体として、自分たちの取り組んできたことを特出しして、もっとアピールするような記述にすべきである。
- ・ 「アクションプラン」の記載内容について、事業計画を織り交ぜながら具体的にした方がいい。
- ・ 公約Cの重点目標「広報の質を高めます」ということに対し、しっかり「分析と評価」を行い記載することが大切で、ただ広報を行っているというだけではだめである。
- ・ 指標6の「平成19年度から対象を変更」の内容が具体的に分かるようにしてほしい。数値が激減しているのに説明不足である。
- ・ 指標13の「作品の購入価格・件数」について、注意書き等で作品の内容を分かるようにしてほしい。
- ・ 指標20の「講演会等の開催回数」の内容が誤解を招きやすいので整理しなおした方がいい。
- ・ その他、指標が削減され分かりづらくなったため、注意を要する指標には算定式や内訳表を用意してほしい。

2 県庁の支援体制に対する一次評価

(1) 学生無料化について

- ・ 今、財政難でどこの自治体も学生を有料化しようという動きがある中、平成 22 年度から学生無料化の条例改正を行ったことは大変な評価に値する。本来、博物館法では展覧会は無料であるべきで、その精神にのっとっている。これで多くの人が見られるのであれば、税金の還元の仕方としては有効であるのではないか。今後は、無料化した高校生・大学生に対しどうアピールするかが重要である。
- ・ 他館では無料化の範囲を学生という「身分」ではなく「年齢」で区分してところもある。若い勤労者の支援など、もう少し違ったメリットも検討してほしい。

(2) 広報戦略及び空港振興・観光政策との連携について

- ・ 空港関連の広報策は地道に進め 2～3 年ごとに定期的に測定し、県の施策として数値をおさえていくのがよい。また、空港関連だけではなかなか成果が上がらないので、観光客を呼ぶことと地域住民に来ていただくこととのバランスをどう考えて戦略を立てるかということが問われる。
- ・ 富士山静岡空港は稼働率等短期的な側面で論じられがちであるが、まだ開港間もないことから、県政として中長期的に空港や観光政策との連携を重視することは必要で重要なテーマである。また、一般的にも観光政策と文化政策との連携というのは現代の重要なテーマである。
- ・ 観光や空港の振興策のひとつとして、他県と比べ比較的温暖な冬場などに、少々コストがかかっても、県外から集客できるような展示や催事を行うことも検討すべきである。
- ・ 食品産業の集積を目指している県中部地区の立地という特性から、観光政策部署等と連携して、食文化をからめた具体的な施策を検討してはどうか。

3 改善に向けた提言

(1) 今後の展覧会の企画について

- ・ 県立美術館の柱である「風景展」「近世美術展」以外に、新しい視点、切り口でデザイン、建築、写真などの従来の美術を超えていくような方向性を積極的に打ち出したらどうか。たとえば、デザイン、建築、写真の展覧会というのは、今までの客層とは異なる新しい観客を開拓できる可能性が大いにある。また、演劇や大道芸など今静岡でやっていることを活かして、演劇や大道芸のイベント時に衣装や小道具の展示など現代アートとして展示するといったコラボレーションも面白い。
- ・ 財団法人埋蔵文化財調査研究所や県文化財保護課と連携し、静岡県ならではの歴史的建造物、記念物、文化財を扱った博物館的な視点をもった美術展覧会を企画してもいいのではないか。県内の文化財をテーマとした展覧会を行えば、地域の文化財の再発見にもつながり、そこを結ぶツアーを企画すれば観光政策との連携も可能である。また、観光そのものも展覧会のテーマとなりうる。

(2) 全体広報について

- ・ 広報の予算の問題もあるが、チラシやポスターをいいデザイナーに委託した方がいい。
- ・ メーリングリストを作り情報を発信するとよい。チラシを配布することに比べ費用も低廉に実施できる。美術館は年度当初から年間スケジュールがしっかり決まっているが、展覧会ごとのイベントやロダン館普及イベントなどは直前になって分かることも多いので、効果が大きい情報ツールとなる。マスコミにもイベントなどでこまめに情報を流すことが重要で、テーマ性があれば取り上げてくれる可能性が高くなる。また、学生無料化を周知させる取組として、若い世代が読む雑誌やモバイル系の情報サイト等に広報した方がよい。
- ・ ブロガー（ブログを運営している人々）を催事に招待するなど、費用のかからない広報手段であるブロガーを取り込むことは今後重要になってくる。
- ・ 美術館が地域や企業と連携してイベントを行えばインパクトを受ける人は多いはずである。これだけの整った施設はなかなか静岡市内にはない。
- ・ 現代美術の来館者は、ある一定の階層になるので、絞った取組が必要である。デザイン系の先生は、授業の一環として美術館の見学に行かせたがっているが、その際には、ギャラリートークをしていただけるようなことであれば反応もいいはずである。先生方は技術に長けていても必ずしも美術史には詳しくない。また、ギャラリートークは学芸員でなくてもかまわない。
- ・ うまく広報・イベントを行えば、県外からでも来館する。「大岡信ことば館」では、知的階層にターゲットを絞って広報した結果、来館者が増加した。また、浜松などの県西部地域の方は静岡市にはなかなか行かない。県立美術館に行ったら面白いという仕掛けを、時間をかけて作り上げる必要がある。

(3) ロダン館の来館者増加策について

- ・ ツアー会社とタイアップして魅力あふれるオリジナルプランを作成する、レセプションや結婚式場に活用するなどのソフト面での仕掛けが大事である。
- ・ 企画展入場者のロダン館への来場を促進するため、企画展からロダン館に通らないと出られないといったようなロダン館へ誘導する仕掛けや、ミュージアム疲労（観覧者がミュージアムに長時間も滞在することで疲労感を覚えること）に備え、企画展の半券にスタンプを押し、次回来場していただくといったことを検討すべきである。

(4) 施設整備・利活用について

- ・ アメリカやヨーロッパの美術館ではレストランやカフェを昼夜企業や地域団体に貸しているのが実施したらどうか。そこで若干の収入も得られるし、美術館がより身近に感じることができる。
- ・ 狭くてもかまわないので、ロダン作品を一望できる場所にガラス張りのティールームを設置するとよい。

内容に関する問合せ先

静岡県文化・観光部文化政策課

〒420-8601 静岡県静岡市葵区追手町 9 番 6 号

TEL 054-221-3506

静岡県立美術館総務課

〒422-8002 静岡県静岡市駿河区谷田 53 番 2 号

TEL 054-263-5755